

大阪大学総合学術博物館 年報 2019

大阪大学総合学術博物館
The Museum of Osaka University

大阪大学総合学術博物館

年報 2019

はじめに

2019年度の活動の概要『大阪大学総合学術博物館年報2019』ここに刊行し、皆様に公開できますことを嬉しく思います。

2019年度も定例の展覧会として、特別展、夏期特集展覧会、企画展を開催しました。第22回企画展として「四國五郎展～シベリアからヒロシマへ」、第13回特別展「大阪が生んだ稀代の経営者 佐治敬三“百面相”」を開催いたしました。それぞれ当館のみで開催できるものではなく、共催、協力を頂きました関係諸機関、企業の皆様に改めてお礼を申し上げます。また「美術部展」、「阪大生がつくった展覧会」、「体験！こどもミュージアム@大阪大学」、「わくわく学習教室」、「豊中市立小中学校理科展サテライト展示」、「サイエンスカフェ」などを開催いたしました。これらもそれぞれのテーマに基づいた学生展示、体験教室、小中学生展示、ミニレクチャーなどを開催できましたのも関係機関や企業の皆様のご協力の賜物と考えております。どうもありがとうございます。

大阪大学は現在改革の途上にあり、組織再編が進んでいます。従来の大学像から脱し、現代世界の諸課題に向き合う、社会の中の大学を標榜しております。当館を取り巻く組織的な状況も変革を迫られています。大学博物館として、当館は大学の研究成果を学外に発信することや、学内の貴重な資料や遺産を管理し末永く研究調査に堪えるものすることなど、多くの使命を担って来ました。今日、世界中の博物館や美術館に期待されていることはこれらに限らず、より広範囲で多岐に渉るものになって来ています。単に研究成果や遺品を展示公開するだけでよしとするのではなく、社会の中でそれらが活用されることに道筋をつけていくこと、市民との対話や相互関係の中で展示を行うこと、実際の展示スペースだけに頼るのではなく、デジタルスペースでの資料公開を行うことなど、つまり博物館は多様な手法を活用することで世界中の市民に資料活用の道を開くことが今や期待されていると言っても過言ではありません。

そのような現代の期待に当館はどの程度応えられているのでしょうか。まだまだ改革の道は始まったばかりで、いかにもそれは心許ないものであることは承知しております。それでも着実に私たちは日々の研究と社会活動を通して、解決の難しい問題が山積するこれからの世界と向き合って行こうとしております。これからも着実に努力をして参りたいと思いますので、今後ともご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

2020年8月

大阪大学総合学術博物館長

永田 靖

目 次

1. 展覧会報告Ⅰ	5
大阪大学総合学術博物館 第22回企画展 四國五郎展 ～シベリアからヒロシマへ～	
・ 概要	6
・ 報告（大阪大学大学院文学研究科 教授 宇野田 尚哉）	9
2. 展覧会報告Ⅱ	13
大阪大学総合学術博物館 第13回特別展 大阪が生んだ稀代の経営者 佐治敬三 “百面相”	
・ 概要	14
・ 報告（大阪大学共創機構社学共創本部 / 適塾記念センター 准教授 松永 和浩）	18
3. サイエンスカフェ	24
・ 2019年度（サイエンスカフェ@待兼山 No.152～156）	26
・ 2019年度（サイエンスカフェ@中央公民館 No.C-10～C-12）	26
4. 体験！こどもミュージアム@大阪大学	30
5. 2019～繋げる・拡げる～わくわく学習教室 with Osaka University	34
6. 大阪大学美術部 夏部展2019 「園 ～ここは現実か？～」	38
7. 「衣と生活 Kimono and Life」かんさい・大学ミュージアム連携プロジェクト	40
ゴージャスとモダニズム－船場の美意識探訪、塩野家コレクションとその周辺－	
8. 豊中市立小中学生 理科展 サテライト展示	42
9. 阪大生がつくった展覧会2019 ベスト	46
10. 総合学術博物館支援スタッフ（ミュージアム・アシスタント）	47

11. 教員活動報告	49
総合学術博物館 館長 永田 靖	50
総合学術博物館 研究・教育部	
・資料基礎研究系 准教授 高橋 京子	54
特任助教(常勤) 高浦佳代子	60
・資料先端研究系 教授 上田 貴洋	64
准教授 豊田 二郎	68
准教授 宮久保圭祐	69
・資料情報研究系 教授 橋爪 節也	70
助教 横田 洋	78
総合学術博物館 資料部	
特任講師(常勤) 伊藤 謙	79
12. 資料	81
・2019年度の主な活動一覧	82
・入館者数及びアンケート集計結果一覧	85
・団体見学一覧	95
・関連記事一覧	98
・寄贈図書一覧	99
・館内配置図	103

1. 展覧会報告 I

大阪大学総合学術博物館 第 22 回企画展

四國五郎展

～シベリアからヒロシマへ～

概 要

大阪大学総合学術博物館 第 22 回企画展「四國五郎展 ～シベリアからヒロシマへ～」を 2019 年 4 月 26 日（金）から 7 月 20 日（土）の間、大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館において開催した。

本展覧会では、シベリア抑留を経験し、原爆で弟を亡くした広島のパainter 四國五郎（1924-2014）の画業をたどった。四國は、詩人峠三吉と行動をともにするなど、生涯にわたって、広島から絵と詩を通じて反戦平和のメッセージを発し続けるとともに、広島の人を描き続けた。本展覧会では、シベリア抑留の記憶を抱えつつ戦後を生き、弟を奪った原爆への怒りを胸に核の時代と切り結んだ四國五郎の画業の全体像を示した。

本展覧会中の期間中の来場者は、7,822 名であった。

大阪大学総合学術博物館 第 22 回企画展

テーマ：「四國五郎展 ～シベリアからヒロシマへ～」

期 間：2019 年 4 月 26 日（金）～ 2019 年 7 月 20 日（土）

会 場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 3 階多目的ルーム

主 催：大阪大学社会学部共創本部／総合学術博物館、豊中市

共 催：豊中市市民ホール指定管理者、大阪大学大学院文学研究科

協 力：かんさい・大学ミュージアム連携、北大阪ミュージアム・ネットワーク
大阪大学 21 世紀懐徳堂

入館者数：7,822 人

●国際シンポジウム

5 月 19 日（日）「詩人四國五郎の歩んだ道～シベリアからヒロシマへ～」

登壇者：アン・シェリフ（オーバリン大学 教授）

川口 隆行（広島大学大学院教育学研究科 准教授）

岡村 幸宜（原爆の図丸木美術館学芸員）

小沢 節子（近現代史研究者）

会 場：大阪大学会館 アセンブリーホール

来場者数：119 名

●講演と朗読「四國五郎と『絵本 おこりじぞう』」

6 月 22 日（土）

内 容：講演「四國五郎と峠三吉」宇野田 尚哉（大阪大学大学院文学研究科 教授）

朗読「おこりじぞう」木内 みどり（俳優）

対談「四國五郎を語る」木内 みどり×四國 光（四國五郎・長男）

会 場：豊中市立文化芸術センター多目的室

来場者数：146 人



大阪大学総合学術博物館 第22回企画展

四國五郎展

シベリアからヒロシマへ



●シベリア豆日記 1947~48年



●絵本「おこりじぞう」表紙 1979年

会期: 2019年 4月26日[金] → 7月20日[土]

10時30分~17時(入館は16時30分まで) / 日曜・祝日休館 ただし、5月2日(木)、5月3日(金)、5月19日(日)は開館

観覧料
無料

会場: 大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

主催: 大阪大学共創機構 社会学共創本部 / 総合学術博物館、豊中市 共催: 豊中市市民ホール指定管理者、大阪大学大学院文学研究科
協力: かんさい・大学ミュージアム連携、北大阪ミュージアム・ネットワーク、大阪大学21世紀懐徳堂



大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

〒560-0043 豊中市待兼山町1-20 Tel.06-6850-6284

<https://www.museum.osaka-u.ac.jp/>

●阪急電鉄宝塚線・石橋駅より 徒歩約10分 ●大阪モノレール・柴原駅より 徒歩約20分
※公共交通機関をご利用ください。

近年、詩人四國五郎の再評価が進んでいる。シベリア抑留を経験し、その間に原爆で弟を失った四國五郎は、故郷広島に帰還したのち、峠三吉らと反戦文化運動に詩人として身を投じ、『原爆詩集』の表紙絵・挿絵、街頭に展示される辻詩の絵画部分、数々のサークル誌の表紙絵・挿絵などを描き続けた。市民のなかで市民のために描き続けた四國五郎は、反戦平和を主題とする作品を描き続ける一方、1974年に広島で「市民が描いた原爆の絵」を集める運動が始まった際には、市民に自らの被爆体験を描く方法を示唆する役割を果たし、その高揚を支えた。最近では、シベリア抑留体験に基づく絵日記（『わが青春の記録』）が復刻され、シベリア抑留体験を描いた後年の作品が注目を集めてもいる。

画文集『広島百橋』の著者でもある四國五郎は、広島では広く親しまれている存在ではあるものの、全国的には『絵本 おこりじぞう』の画家として記憶されているにとどまるかもしれない。しかし、シベリア抑留体験や被爆体験を描いた画家として、また、詩と絵画をもって深く社会運動と関わった詩人として、さらには市民のなかで市民のために描き続けた画家として、急速に再評価が進んでいる。そのような四國五郎に対する関心は、故郷広島はもちろんのこと、東京などでも高まっているが、残念ながら関西での反応は弱く、作品に触れる機会も少ない。

そこで、四國五郎の再評価を担ってきた研究者の研究成果を集結するかたちで、関西初の四國五郎展を開催し、四國五郎再評価の動向を集大成する機会としたい。

展覧会構成と主な展示作品

第1章 シベリア抑留体験と表現

ナホトカ人物スケッチ (1947～48年 鉛筆、紙)
わが青春の記録 (1949～1950年 冊子)
フルムリ地区107分所1946年2月伐採作業 (1997年 油彩、キャンバス)

第2章 被爆地ヒロシマの反戦文化運動

辻詩 なぜに (1950年頃 コラージュ、紙)
われらの詩 (1949～53年 冊子)
峠三吉像 (1977年 油彩、キャンバス)

第3章 反戦平和のために

鳩と少女 (1963年 油彩、キャンバス)
ヴェトナムの母子 (1965年 油彩、キャンバス)
黒い雨 (1984年 油彩、キャンバス)

第4章 被爆体験を描く／ひろしまを描く

絵本 おこりじぞう 原画 (1979年)
相生橋 (1984年 油彩、キャンバス)
自画像 (1967年 油彩、板)



● ナホトカ人物スケッチ



● 辻詩 巷にて



● 峠三吉像



● 署名



● ヴェトナムの母子

関連企画

◆ 国際シンポジウム 詩人四國五郎の歩んだ道 ～シベリアからヒロシマへ～

日時: 2019年5月19日(日) 13時～16時30分 会場: 大阪大学会館 アセンブリーホール 使用言語: 日本語
登壇者: アン・シェリフ (オーバリン大学教授) / 川口 隆行 (広島大学准教授) / 岡村 幸宣 (原爆の国丸木美術館学芸員) / 小沢 節子 (近現代史研究者)

入場無料、事前申込不要(先着順)

※シンポジウム当日は、総合学術博物館 待兼山修学館が臨時開館いたしますので、展示をご覧いただくことができます。
なお、シンポジウムは、総合学術博物館 待兼山修学館から徒歩5分の大阪大学会館で開催されますので、ご注意ください。

◆ 講演と朗読 四國五郎と『絵本 おこりじぞう』

日時: 2019年6月22日(土) 14時～15時30分 **入場無料**
会場: 豊中市立文化芸術センター多目的室
〒561-0802 豊中市曾根東町3-7-2 Tel.06-6864-5000 (10:00～19:00)
阪急電鉄宝塚線・曾根駅より徒歩約5分

内容: 講演「四國五郎と峠三吉」宇野田 尚哉 (大阪大学教授)
朗読『おこりじぞう』木内 みどり (俳優)
対談「四國五郎を語る」
木内 みどり×四國 光 (四國五郎・長男)



木内 みどり

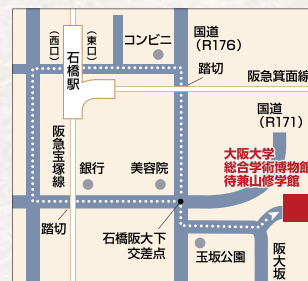
応募方法

電子メールもしくは往復ハガキにてお申し込み願います。
複数名でお申し込みの場合、同伴者全員の情報をご記入ください。
応募者多数の場合は抽選を行います。
応募締切: 6月5日(水) 必着

《電子メール》 豊中市ホームページよりお申し込みください。

《往復ハガキ》 往信面に住所、氏名、連絡が取りやすい電話番号または携帯番号、年齢を、
返信宛名面に住所・氏名を明記の上、下記までお送りください。
〒561-8501 豊中市中桜塚3-1-1 豊中市都市活力部文化芸術課 四國五郎展係

※「講演と朗読 四國五郎と『絵本 おこりじぞう』」についてのお問い合わせ
豊中市都市活力部文化芸術課 Tel.06-6858-2551



大阪大学総合学術博物館
待兼山修学館
MOU Museum of Osaka University

〒560-0043 豊中市待兼山町1-20 Tel.06-6850-6284
<https://www.museum.osaka-u.ac.jp/>

● 阪急電鉄宝塚線・石橋駅より 徒歩約10分
● 大阪モノレール・柴原駅より 徒歩約20分
※公共交通機関をご利用ください。

表面の作品

左側上より、「フルムリ地区107分所1946年2月伐採作業」(1997年) / 「1946年5月フルムリ地区ゴーリン病院「最初の一枚」」(1997年) / 「1946年埋葬者を搬ぶ私を写生する1993年の私」(1993年)
右側上より、「相生橋」(1984年) / 「3月6日」(1951年) / 「影」(1990年)

報 告

大阪大学総合学術博物館 第22回企画展

「四國五郎展 ～シベリアからヒロシマへ～」

大阪大学大学院文学研究科

教授 宇野田 尚哉

正規の美術教育を受ける機会に恵まれないまま独学で絵画を学び、生涯にわたって故郷広島を活動の場とした詩画人四國五郎（1924-2014）は、全国的には『絵本 おこりじぞう』の画家として記憶されるにとどまってきたといえるかもしれない。しかし、本展会期中にNHKにより「BS1 スペシャル ヒロシマの画家四國五郎が伝える戦争の記憶」（99分番組）が制作され2019年8月5日に放送されるなど、四國五郎に対する関心はさまざまな文脈で急速に高まっており、近年の研究成果を集大成して四國五郎の全体像を提示した本企画展は、時宜を捉えた展覧会として、多くの観覧者の来場を得ることができた。

四國五郎は、20歳で召集されて満洲に送られ、敗戦後はシベリア抑留を経験した。日本に戻れたのは1948年のことである。故郷広島に戻った四國は、戦争が終わったら一緒に絵を描こうと約束していたすぐ下の弟直登が被爆死したことを知り、衝撃を受ける。四國が生涯にわたって広島の地にとどまり反戦平和のための表現を続けることになった背景としては、弟を原爆に奪われたという経験が決定的な意味を持った。本展覧会では、シベリア抑留の記憶を抱えつつ戦後を生き、弟を奪った原爆への怒りを胸に核の時代と切り結んだ四國五郎の画業の全体像を、4章に分けて展示した。

第1章「シベリア抑留体験と表現」で展示したのは、シベリアからひそかに持ち帰られた記録やスケッチ、帰国直後に書かれた絵日記風の『わが青春の記録』、1990年代のシベリア再訪後に描かれた油彩画などである。第1章で展示した作品は、シベリア抑留中からその直後にかけての時期に描かれた作品と、1990年代以後に描かれた作品とに大別される。シベリアに送られた四國は、強制労働と飢えと寒さといういわゆる「シベリア三重苦」に苦しむこととなり、一時は栄養失調、凍傷、吐血により生死の境をさまよった。一命をとりとめたのち、四國は、病院勤務となり、そこで「民主運動」に参加し、壁新聞を作成したり、文芸誌を発行したり、演劇を上演したりといった活動を経験することになる。四國は、捕虜収容所において軍隊の秩序から解放され民主主義を学ぶというきわめて逆説的な経験をするとともに、そのなかでみずからの表現が人々に迎えられ人々を動かす喜びも経験したといえる。

第1章で展示した作品のうち、シベリア抑留中からその直後にかけての時期に描かれた作品は、そのような経験を背景として描かれた作品であるが、その後四國が油彩画などのかたちで本格的にシベリア抑留体験を描くまでには長い時間が必要であった。四國は、1991年に「捕虜体験を記録する会」が呼びかけた「墓参・鎮魂の旅」に参加してシベリアを訪問し、1994年にも再訪した。第1章の中心をなす油彩画は、1990年代にシベリア抑留体験を振り返って描かれたものであり、シベリアでの仲間たちとの苦難の体験が長い時間をかけて熟成されたのち表現された作品である。

第2章では、「被爆地ヒロシマの反戦文化運動」と題して、四國五郎が盟友峠三吉らと朝鮮戦争下の被爆地広島で取り組んだ反戦文化運動関係の資料と作品を展示した。戦後広島の文化運動の左派のリーダーであった峠三吉は、若い仲間たちと詩サークルわれらの詩の会を組織して詩誌『われらの詩』を創刊し（1949年11月）、詩作を通じて社会に働きかけていった。四國五郎は、このサークルに中心的活動家の一人として加わり、『われらの詩』の表紙絵・挿絵を描くとともに、詩作品や評論も寄稿した。峠三吉『原爆詩集』（1951年）の表紙絵・挿絵を描いたのも四國五郎であった。

われらの詩の会は、朗読・群読・シュプレヒコールなど、詩を運動として展開するためのさまざまな方法を試みているが、そのなかでもっとも特徴的であったのが「辻詩」である。辻詩とは、新聞紙1～2頁大の紙に詩と絵を組み合わせ描いて街頭や集会に掲げるという方法の運動であるが、占領軍批判が罪に問われる可能性のあった占領下でわれらの詩の会はゲリラ的にこの運動に取り組んだ。その際に最も重要な役割を果たしたのは、シベリアでの文化運動の経験を持つ画家にして詩人の四國五郎で、辻詩の運動は、朝鮮戦争勃発（1950年6月）前後の、3度目の原爆使用が危惧された時期にさかんに展開された。今回の展覧会では、現存する辻詩8点のすべてを展示した。

1953年7月に朝鮮戦争が休戦を迎えて東アジア情勢が安定化し、1954年3月のビキニ事件をうけて原水爆禁止運動が高揚し、1955年8月に広島で第1回原水爆禁止世界大会が開かれると、それに呼応して、四國五郎らは、広島平和美術展を創設し、以後毎年開催していく。第3章「反戦平和のために」として展示したのは、この時期以後に描かれた油彩画である。広島から反戦平和のメッセージを発することを自らの課題とした四國五郎が生涯にわたって取り組んだ画題は、母子像であった。この第3章の主要な部分を構成したのは、さまざまなかたちで描かれた母子像である。また、四國は、深川宗俊、御庄博実らわれらの詩の会以来の仲間たちをはじめ、より若い世代の平和運動の担い手たちにも、本や雑誌、パンフレットの表紙絵・挿絵を提供し続けた。この第3章では、四國五郎が表紙絵を描いた本や雑誌を、スペースの許す限り展示した。

第4章「被爆体験を描く／ひろしまを描く」では、四國五郎の次の3つの側面に光を当て

た。①四國は、広島を街と人を広島の市民のために描き続けた画家でもあった。この方面の仕事としては画文集『広島百橋』（春陽社、1975年）などが知られ、アトリエには広島を街と人を描いた膨大な量のスケッチが残されている。原爆投下前の広島を町並を描いた作品も少なくなく、広島を街の記憶とも密接に関わる作品群となっている。②1974年、その四國のもとに、NHKから出演の依頼があった。広島のある被爆者がみずからの描いた絵をNHKに持参したことをきっかけに、NHKの呼びかけで「市民の手で原爆の絵を」残そうという運動が始まり、この運動への参加を呼びかける番組で絵の描き方を指導してほしいという依頼を受けたのである。この依頼を引き受けた四國は、番組内で満州での忘れ得ない経験を描くことで、被爆した市民にみずからの被爆体験を描くよう呼びかけた。今回の展示では、残念ながら映像が残っていないこの番組の台本を四國の書き込みがわかるかたちで展示し、いまや世界的にも広く知られている市民による原爆の絵の運動の起点で四國五郎が重要な役割を果たしたことを示した。③四國が最もよく知られているのは、児童文学作家山口勇子の作品を俳優沼田曜一が語りなおし平和教育の教材として広く読まれている『絵本 おこりじぞう』（金の星社、1979年）の画家としてであろう。本展示会および豊中市立文化芸術センターでの小展示では、『絵本 おこりじぞう』の原画も展示した。

今回の展示を準備するに際しては、度重なるアトリエ訪問にご対応くださるなど、四國五郎ご遺族の四國光さん、松浦美絵さんから全面的なご協力を賜った。記して謝意を表したい。また、今回の展示は、近年高まりつつある四國五郎への研究関心を集大成するかたちで構成したものであり、2019年5月19日に開催した国際シンポジウム「詩画人四國五郎の歩んだ道～シベリアからヒロシマへ～」にご登壇くださった方々、アン・シェリフさん（オーバリン大学教授）、川口隆行さん（広島大学准教授）、岡村幸宜さん（原爆の図丸木美術館学芸員）、小沢節子さん（近現代史研究者）の業績に多くを負っていることをあらためて明記しておきたい。なお、アン・シェリフさんは、前述したNHKの番組の主要登場人物の一人であり、本展示および本国際シンポも同番組のなかで紹介された。

俳優木内みどりさんの『おこりじぞう』朗読を核として豊中市とともに企画・開催した2019年6月22日のイベント「講演と朗読 四國五郎と『絵本おこりじぞう』」には、定員を超える申し込みが殺到し、『おこりじぞう』と木内さんの取り組みの人気を再確認することとなった。当日木内さんの朗読にあわせて画像を切り換える役割は私が担当したのであるが、そのときの緊張感は今でも忘れられない。木内さんは、その後も国立広島原爆死没者追悼平和祈念館で現在



開催中の企画展「時を超えた兄弟の対話—ヒロシマを描き続けた四國五郎と死の床でつづった直登の日記—」の制作に参加なさるなど精力的に活動しておられたが、同企画展の展示映像作品の吹き込みを終えた直後の2019年11月18日、滞在先の広島のホテルで急逝された。本展示関連イベントに賜ったご協力にあらためて謝意を表するとともに、ご冥福をお祈りする次第である。

2. 展覧会報告Ⅱ

大阪大学総合学術博物館 第13回特別展

大阪が生んだ稀代の経営者
佐治敬三 “百面相”

概 要

大阪大学総合学術博物館 第 13 回特別展「大阪が生んだ稀代の経営者 佐治敬三 “百面相”」を 2019 年 10 月 25 日（金）から 12 月 26 日（木）の間、大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館において開催した。

この展覧会では、サントリー第 2 代社長・佐治敬三生誕 100 周年記念展として、敬三(1919～1999)の生涯を振り返った。敬三は大阪帝国大学理学部を卒業後、寿屋（のちサントリー）の経営者として洋酒文化を定着させ、学術・文化に幅広く貢献した。敬三が見せた宣伝マン、財界人、文化人、大旦那といった多彩な「顔」を、様々な資料から紹介した。本展覧会の期間中の来場者は、6,455 名と好評であった。

大阪大学総合学術博物館 第 13 回特別展

テーマ：「大阪が生んだ稀代の経営者 佐治敬三 “百面相”」

期 間：2019 年 10 月 25 日（金）～ 2019 年 12 月 26 日（木）

会 場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 3 階多目的ルーム

主 催：大阪大学共創機構社会学共創本部／総合学術博物館／適塾記念センター

共 催：大阪大学大学院理学研究科化学専攻

協 力：尚醸会、大阪大学 21 世紀懐徳堂

特別協力：サントリーホールディングス株式会社

入館者数：6,455 人

〈ミュージアム・レクチャー〉

【会 場】大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

【定 員】各 30 名

11 月 2 日（土）「佐治敬三と有機化学」

講 師：深瀬 浩一（大阪大学大学院理学研究科 教授）

来場者数：24 名

11 月 16 日（土）「大阪大学の醸造学・発酵工学研究とサントリー
～ビール酵母の神泡のお話～」

講 師：大政 健史（大阪大学大学院工学研究科 教授）

金子 嘉信（同特任研究員）

来場者数：25 名

12 月 14 日（土）「ジャパニーズ・ウイスキーのレジェンド 3/4」

講 師：松永 和浩（大阪大学共創機構社会学共創本部/適塾記念センター
准教授）

来場者数：55 名

〈スペシャルトーク+ワークショップ〉

11月14日(木)「佐治敬三の企業家精神」

講 師：伊木 稔（元サントリー文化財団専務理事）

会 場：大阪大学会館アセンブリーホール

定 員：100名

来場者数：90名

12月5日(木)「佐治敬三と“ものづくり”」

講 師：柳 謙三（元サントリー生命科学財団理事長）

会 場：大阪大学中之島センター 佐治敬三メモリアルホール

定 員：100名

来場者数：85名

大阪大学総合学術博物館 第13回特別展
サントリー第2代社長・佐治敬三生誕100周年記念展

大阪が生んだ稀代の経営者

佐治敬三 “百面相”

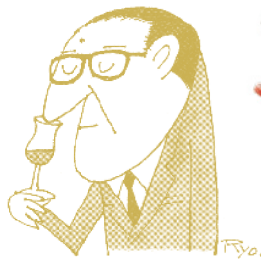
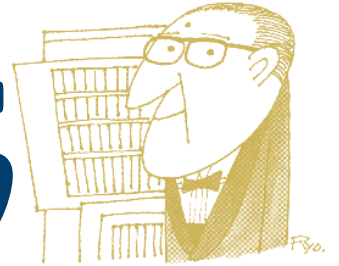
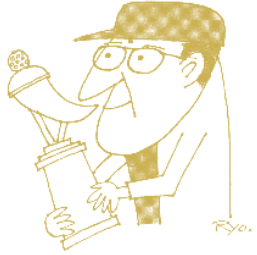
2019年
10月25日(金)～
12月26日(木)

10時30分～17時

日曜・祝日は休館
ただし11/3(日・祝)、11/4(月・休)は開館

大阪大学総合学術博物館
待兼山修学館

入館料
無料



大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-20
Tel:06-6850-6284

<https://www.museum.osaka-u.ac.jp/>

●阪急電鉄宝塚線・石橋大前駅より徒歩約10分

●大阪モノレール・柴原阪大前駅より徒歩約20分

※公共交通機関をご利用ください。

主催：大阪大学共創機構社会学共創本部／総合学術博物館／適塾記念センター
共催：大阪大学大学院理学研究科化学専攻 協力：尚醸会、大阪大学 21 世紀懐徳堂
特別協力：サントリーホールディングス（株）

写真はウイスキーをテイスティングする佐治敬三（1980年頃、サントリー提供）と柳原良平直筆のアンクル・トリス爪楊枝入れ（サントリーバー露口所蔵）。イラストは柳原良平が描いた佐治敬三（廣澤昌「新しきこ 面白きこと サントリー・佐治敬三伝」より転載）。

戦後日本の経済発展を牽引した経営者のひとりである佐治敬三(1919-1999)は、今からちょうど100年前に大阪で誕生しました。父・鳥井信治郎が創業した寿屋(現・サントリー)を継承し、ウイスキーブームやワインブームを巻き起こし、戦後の日本人の生活文化を創造してきました。

佐治敬三は学術・文化にも造詣が深く、研究所・財団の設立や美術館・音楽ホール開設など、幅広い社会貢献活動で利益を還元しました。その背景の一つに、彼が大阪帝国大学(現・大阪大学)理学部で学び、化学者になることを夢みていたことがあります。

本特別展では生誕100周年を記念し、佐治敬三が見せた多彩な「顔」を、様々な資料から紹介します。才気煥発、八面六臂、「やってみなはれ」の精神で常にチャレンジを続けてきた彼の生き様を振り返ることで、地盤沈下が叫ばれて久しい大阪経済に少しでも活気を取り戻すことができれば幸いです。

展覧会構成と主な展示資料

第1章

北摂を駆け、中之島で学ぶ少年

- (1) ゴンタ・佐治敬三
- (2) 浪高生・佐治敬三
- (3) 阪大生・佐治敬三
- (4) 海軍技術士官・佐治敬三



浪高11回理乙卒業アルバム
1940年(大阪大学総合学術博物館所蔵)



写真「大阪帝大理学部で実験する佐治敬三」
1942年(サントリー生命科学財団所蔵)

第2章

市場に挑み、流行を生む経営者

- (1) 啓蒙家・佐治敬三
- (2) 宣伝マン・佐治敬三
- (3) プレンダー・佐治敬三
- (4) 挑戦者・佐治敬三
- (5) 騎士・佐治敬三
- (6) 財界人・佐治敬三



「洋酒天国」1950年代後半
(サントリーバー露口所蔵)



佐治敬三オリジナルブレンド「プレジデンツチョイス」(個人蔵)

第3章

学術・研究になずみ、文化・芸術を愛でる教養人

- (1) 研究所長・佐治敬三
- (2) 美術館長・佐治敬三
- (3) 音楽ホール館長・佐治敬三
- (4) 文化財団理事長・佐治敬三
- (5) 大旦那・佐治敬三



科学啓蒙雑誌「ホームサイエンス」創刊号
1946年(ケンショク「食」資料室所蔵)



実現不可能とされた「青いバラ」
2004年開発(サントリー提供)
※展示期間: 11月1日(金)~4日(月)
11月13日(水)~16日(土)
12月23日(月)~26日(木)

終章

夢、大きく膨らませてみなはれ!

関連イベント

ミュージアムレクチャー

● 2019年11月2日(土)

「佐治敬三と有機化学」

講師: 深瀬 浩一(大阪大学大学院理学研究科教授)

● 2019年11月16日(土)

「大阪大学の醸造学・発酵工学研究とサントリー ~ビール酵母の神泡のお話~」

講師: 大政 健史(大阪大学大学院工学研究科教授)
金子 嘉信(同特任研究員)

● 2019年12月14日(土)

「ジャパニーズ・ウイスキーのレジェンド 3/4」

講師: 松永 和浩(大阪大学共創機構社会学共創本部/
適塾記念センター准教授)

会場: 大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

定員: 各30名(先着順・申込不要、参加費無料)

いずれも14:00~15:30(入場受付は30分前から開始)

スペシャルトーク+ワークショップ

講演「佐治敬三の企業家精神」

伊木 稔(元サントリー文化財団専務理事)

ワークショップ(ビール試飲あり)

● 2019年11月14日(木) 17:30~19:15

会場: 大阪大学豊中キャンパス
大阪大学会館アセンブリー・ホール
〒560-0043 豊中市待兼山町1-13

定員: 100名(要事前申込、参加費無料)

講演「佐治敬三と“ものづくり”」

柳 謙三(元サントリー生命科学財団理事長)

ワークショップ(ビール試飲あり)

● 2019年12月5日(木) 17:30~19:15

会場: 大阪大学中之島センター10階
佐治敬三メモリアルホール
〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-53

定員: 100名(要事前申込、参加費無料)

応募方法は総合学術博物館ホームページにてお知らせいたします。

<https://www.museum.osaka-u.ac.jp/>

※いずれもワークショップのみご参加はご遠慮いただいております。
※ビールの試飲は20歳以上の方のみとさせていただきます。



問い合わせ先

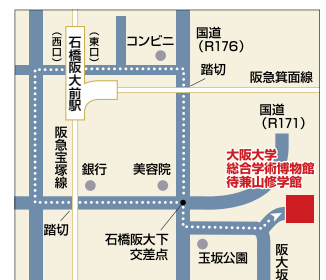
大阪大学総合学術博物館

〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-20

Tel:06-6850-6714 Fax:06-6850-6720

<https://www.museum.osaka-u.ac.jp/>

フェスタ
国立大学2019



- 阪急電鉄宝塚線・石橋
阪大前駅より徒歩約10分
- 大阪モノレール・柴原
阪大前駅より徒歩約20分
- ※公共交通機関をご利用ください。

報 告

大阪大学総合学術博物館 第13回特別展

「大阪が生んだ稀代の経営者 佐治敬三 “百面相”」

大阪大学共創機構社会学共創本部/適塾記念センター
准教授 松永 和浩

大阪帝国大学（現・大阪大学）出身の佐治敬三(1919～1999)は、戦後日本の社会経済に大きな足跡を残した。本展覧会では佐治敬三生誕100周年を記念し、彼が見せた多彩な「顔」に焦点を当ててその生涯を振り返った。展示構成はチラシの通りである。

第1章では寿屋（現・サントリー）入社以前を対象に、(1)幼稚園・小学校、(2)旧制高校、(3)帝国大学、(4)海軍の時代を取り上げた。佐治敬三は大阪の洋酒メーカー・寿屋を創業し「赤玉ポートワン」をヒットさせていた鳥井信治郎(1879～1962)の次男として、大正8年に大阪市で生まれた。鳥井家は雲雀丘に転居し、敬三は「家なき幼稚園」、池田師範学校附属小学校（現・大阪教育大学附属池田小学校）、旧制浪速高等学校、大阪帝国大学理学部化学科へと進んだ。幼少期は「ゴンタ」（大阪弁で「いたずらっ子」の意）だったが、病弱でもあった。

浪高では勉学に目覚めさせた恩師・佐谷正や、佐野正一（建築家。サントリーホールを設計）をはじめとする学友との出会い、自主・自由な校風が、平和主義・自由主義経済を信奉する後の人格を形成することとなった。編纂会がサントリー内に置かれた『佐谷先生追想』

（1967年）、当時の学生に影響を与え敬三も共鳴した河合栄治郎の「学生叢書」、敬三が所属した理科乙類11期卒業アルバム（大阪大学総合学術博物館所蔵「浪高資料」）等を展示した。

大学では父と知己であった小竹無二雄に師事し、「エトヴァス ノイエス」（ドイツ語で「何か新しいことはないか」）の金言を賜り、常に革新を目指す姿勢を学び取った。卒業論文では「キヌレニン誘導体の合成」をテーマに取り組み、実験に励む敬三をとらえた写真（サントリー生命科学財団所蔵）を展示した。学友では、和辻



浪高理科乙類11期卒業アルバム

哲郎『古寺巡礼』を案内書に奈良を巡ってサントリー美術館開館のきっかけをつくった平山健三、年末の風物詩となった「サントリー1万人の第九」で隣り合って歌い続けた富樫英一（塩野香料社長）、敬三の支援も受けて西播磨にシンクロトン放射光施設（現・Spring8内）を設置した角戸正夫等、後々までお互いを刺激し合った。

だが第二次世界大戦の末期という時局柄、敬三の学年は繰り上げ卒業となり、敬三は大船（現・鎌倉市）の第一海軍燃料廠で航空燃料の研究開発に従事した。昭和19年(1944)からは松根油生産のために埼玉の野山を駆けまわり、終戦の詔勅（玉音放送）は鎌倉の自宅で聞

いた。

第2章は寿屋・サントリーにおける本業、酒類の製造・販売への関わりと、経営者としての財界における活動を取り上げた。

(1)の「啓蒙家」とは、復員後の昭和20年(1945)9月に入社して取り組んだ家庭向け科学啓蒙雑誌『ホームサイエンス』の編集者としての一面を指し、同誌(サントリーおよびケンシヨク「食」資料室所蔵)を展示した。敬三の夢は化学者であったが、兄の吉太郎が早世したため父の仕事を継ぐことを余儀なくされた。入社後も夢は捨てきれず、食品化学研究所(現・サントリー生命科学財団)を起ち上げ同誌を発刊するが、終戦直後の人々が生活に窮する時代にあってほとんど売れなかった。

敬三は昭和24年に専務に就任し、多士済々の人材を集めて宣伝部を再建した。開高健は当時全国に叢生した「トリスバー」「サントリーバー」で頒布して高度経済成長期のサラリーマンを虜にしたPR誌『洋酒天国』(1956~63)の編集、名キャッチコピー「人間らしくやりたいナ」を生んだ。イラストレーターの柳原良平は名キャラクター「アンクル・トリス」をデザインし、テレビCM



寿屋宣伝部

で活躍させた。(2)宣伝マンの敬三率いる宣伝部は、戦後の洋酒ブームの火付け役となった。展示では、現存最古のサントリーバー「露口」および神戸・灘の酒小売店「岡本屋」から、『洋酒天国』や宣伝部が開発したノベルティグッズ(サントリーバー露口および岡本屋所蔵)を出品いただいた。とりわけ、柳原が試作品として手描きし、露口を訪れた際にサインしたアンクル・トリスの爪楊枝入れは、今回の目玉の一つであった(チラシ参照)。

(3)ブレンダーとしての敬三は、昭和36年(1961)に信治郎から社長職とともにマスターブレンダーの地位を引き継いだ。マスターブレンダーとは、ウイスキーメーカーの製品のレシピを最終的に決定する最高責任者である。ただし信治郎からはブレンドについて一度も教わることはなく、「自らの思いのまま試行錯誤」の末にたどり着いたのが、「日本のウイスキー」



ウイスキーボトル

という理想であった。昭和45年から日本料理にウイスキーの水割りを合わせる「二本箸作戦」を展開した。創業90周年記念製品として平成元年(1989)に発売した「響17年」は、いずれも阪大出身の蒸留技師・嶋谷幸雄、チーフブレンダー・稲富孝一と敬三が手がけた最高傑作であった。敬三の功績もあり、ジャパニーズ・ウイスキーは世界の五大ウイスキーに数えられ、21世紀に入ってからは世界的コンペティションで上位を席

巻している。展示では、敬三が世に送り出したウイスキーのボトルを並べた。

(4)挑戦者とは、麒麟、アサヒ、サッポロのビールメーカー3社の寡占市場に参入したこ

とを指す。昭和 38 年(1963) 3 月に社名をサントリーに変更し、4 月から「サントリービール」を発売した。敬三は昭和 34・37 年の 2 度、ヨーロッパへの「ビアライゼ」(ビールの旅)を敢行し、日本にはないデンマークタイプの「クリーン・アンド・マイルド」を目標に定めた。特約店制度の前に長らく苦境が続いたが、昭和 42 年発売の「純生」で生ビールを定着させ、家庭でも瓶ビールが一般的だったところに缶ビールへの転換を進め、昭和 52 年にはプレミアムビール「サントリーメルツェン」、平成 6 年(1994)には発泡酒「ホップス〈生〉」を初めて販売するなど、現在まで影響を与える革新的試みを続けた。サントリーは業界シェアで万年 4 位を強いられていたが、平成 20 年に 3 位に浮上し、初めてビール事業が黒字となった。(5)騎士とは、ボルドーのシャトーオーナーからなる「ボンタン騎士団」の正会員に、昭和 59 年から入会したことを指す。敬三は前年にボルドーのシャトー・ラグランジュを買収し、再生に導いた。平成 2 年には、ブルゴーニュのシュバリエ・ド・タートバン(利き酒の騎士団)の正会員にも叙任されている。翌々年に同地のドメヌ・ド・ラ・ロマネ・コンティと提携し、ワインブームを牽引して日本にワインを定着させた。展示では昭和 47 年の「金曜日はワインを買う日」キャンペーンの新聞広告、登美農園(甲斐市の現・登美の丘ワイナリー)で生産に成功した日本初の貴腐ワインのボトル、シャトー・ラグランジュの外観(いずれもサントリー提供)をパネルで紹介した。

(6)財界人としての活動で特筆すべきは、訪中関西財界代表団の派遣と、自由社会研究会の発足である。前者は昭和 46 年(1971)に米中が接近して中国の国際社会復帰が問題となるなか、関西経済同友会代表幹事の任にあった敬三が主張して実現したもので、日中国交正常化につながった。後者の発足は昭和 52 年、大阪帝大理学部の 2 年後輩に当たる盛田昭夫(ソニー)とともに、自由主義経済を守るために結成した。同会からは竹下登から安倍晋三・麻生太郎に至る 9 名の総理大臣を輩出し、「首相の孵卵器」の異名で政界に影響力を及ぼした。ここでは周恩来と訪中団の記念写真(『社団法人関西経済同友会五十年史』1997 年)、昭和 62 年の自由社会研究会懇親会の集合写真(清宮龍『盛田昭夫・竹下登・フルシチョフ』1987 年)を展示した。

第 3 章では文化・芸術や学術・研究に関する事業・支援を紹介した。

(1)研究所長とは、食品化学研究所(前述)のそれを指す。理事長には恩師・小竹無二雄を迎え、実験室は大阪帝大理学部地下室の仮住まいからスタートした。展示では、設立当時の食品化学研究所の看板等を、サントリー生物有機科学研究所前の展示ケースから拝借した。同研究所はポストドクター制度、スカラーシップといった若手研究者を中心とする支援に積極的に取り組んだ点に特色がある。ところでサントリー本体も製品開発や新事業進出のために研究部門が充実しているが、敬三が熱心だったのが「青いバラ」の開発であった。バラには青色の色素がなく、「blue rose」は「不可能」「存在しないもの」を意味する。「青いバラ」への挑戦は父譲りのチャレンジ精神「やってみなはれ」



にふさわしいとして平成2年(1990)に開発を指示した。平成14年に青色色素100%近くを蓄積するバラの開発に成功したが、敬三は既にこの世になく、夢の実現を目にすることは叶わなかった。展示では、「青いバラ」の生花を一階のエントランスに、期間限定で飾った(サントリー提供)。

(2)美術館長とは、東京・丸の内のサントリー美術館と、大阪・天保山ハーバービレッジ(大阪市港区)のサントリーミュージアム[天保山]の二つの美術館のことである。前者は昭和36年(1961)の開発だが、そのきっかけは前述のピアライゼにおいて、ヨーロッパでは小さな町にも美術館や博物館があり、人々が伝統と文化を愛し楽しんでいることを目の当たりにしたことにある。この美術館が特異なところは、通常は核となる所蔵品があって開館するところ、「ただいま収蔵品ゼロ」からスタートしたことだ。しかし「生活の中の美」をコンセプトにしたことで、かえって性格が鮮明となった。発足後まもなく国宝「浮線綾螺鈿蒔絵手箱」を敬三が「清水の舞台から飛び降りる」気持ちで3千万円(当時)で購入した。収蔵品は2019年現在まで、国宝1件、重要文化財15件、重要美術品21件含む約3千件に至った。後者は平成6年、サントリー創業90周年記念事業として開設された。建物の設計は大阪出身の世界的建築家・安藤忠雄に敬三自らが依頼し、ユニークな造形美を呈している。収蔵品は「アート&デザイン」をテーマに、ロートレックをはじめとする有名作家のポスターコレクション1万5千点超を誇った。ここでは展覧会図録等を展示した。

(3)音楽ホール館長とは、日本が世界に誇るサントリーホールである。サントリーは昭和44年(1969)に創業70周年を記念して、敬三を理事長に、鳥井音楽財団を設立した。洋楽の発展と文化の向上に寄与する目的で、表彰制度やコンサート開催、出版事業を行った。そのうち「サントリー音楽叢書」全5巻(1982~84年。国立民族学博物館「梅棹文庫」所蔵)と総合音楽文化評論誌『ポリフォーン』全13巻(1987~93年。サントリー芸術財団所蔵)を展示した。財団関係者には東京にクラシック専用音楽ホールを待ち望む声が強く、敬三は世界最高峰のホール建設を目指した。設計担当の浪高同級生・佐野正一と世界的なホールを視察し、「楽壇の帝王」こと指揮者のカラヤンに助言を求めた。昭和61年10月に落成式典が挙行され、最初に敬三がパイプオルガンのA音の鍵盤を押してオーケストラのチューニングの音を取った。カラヤンが「音の宝石箱」と評したサントリーホールは、日本のクラシック音楽界の中心的役割を担い、サントリーを「世界銘柄」に押し上げた。

(4)文化財団理事長とは、昭和54年(1979)に創業80周年を記念して設立されたサントリー文化財団のことである。同財団の特色ある活動に、「サントリー学芸賞」と「サントリー地域文化賞」の表彰がある。特に後者は、地域の文化向上に貢献した個人・団体を対象とするもので、東京一極集中への対抗の意味もあり、これまで全国すべての都道府県から受賞者を出している。なおサントリー本体の事業で、文化に直接関わるものとして、「生活文化企業」と「不易流行研究所」に言及しておきたい。昭和55年策定の第二次五ヵ年計画で標榜された「生活文化企業」は、人々の豊かでゆとりある生

活を実現する企業活動を進むべき方向とし、サントリーホールや「美感遊創」に象徴される。平成元年に創業 90 周年記念事業の一環として設立された「不易流行研究所」は、21 世紀に向けての豊かな生活像を探ることを目的に、衣食住・遊び・付き合い・自然や芸術の楽しみ等、生活のなかのさまざまな楽しみにスポットを当て、研究・調査活動を展開した。ここではサントリー文化財団が刊行した『アステイオン』1～52（1986～99 年）、『サントリー学芸賞選評集』（2009 年）、サントリー不易流行研究所『酒の文明学』（1999 年）等、これら活動の成果物である書籍を展示した。

(5)大旦那とは、近世大坂で学問・文化に物心両面から支援した町人のことで、小説家の司馬遼太郎は敬三を最後の「船場の大旦那」と評した。広告業界では、大阪広告協会の会長（1964～99 年）に就任し「大阪広告協会サントリー奨励賞」（現・「やってみなはれ佐治敬三賞」）を制定、総合デザイナー協会（DAS）では理事長（1962～99 年）を務め、昭和 46 年（1971）に公共広告機構（AC ジャパン）の前身となる関西公共広告機構の設立を呼びかけ理事長となった。研究者・研究機関に対しては、昭和 35 年の創業 60 周年記念事業として大阪大学へ酵素化学研究所を、日本化学会へ図書館を寄贈し、10 年後には再び阪大に「サントリー記念館」を寄付しており、浪高同窓の経済学者でロンドン大学の森嶋通夫にはトヨタと協力して経済学国際研究センター設立の基金を拠出した。作家に対しては、昭和 56 年にサントリーミステリー大賞、平成 4 年（1992）に開高健賞を創設した。スポーツ界では、男子バレーやラグビーの実業団チーム（現・サントリーサンパーズおよびサントリーサンゴリアス）を創部し、昭和 56 年には第 1 回サントリー北京国際マラソン（中国陸上競技会主催）に協賛、平成 5 年発足のサッカー J リーグではオフィシャルスポンサーを務めた。その他、社会福祉法人「邦寿会」および学校法人「雲雀丘学園」を父から継承し理事長となり、平成 3 年にはアメリカのコミュニティ財団を模して大阪コミュニティ財団を創設して会長となった。展示では大阪広告協会、DAS、AC ジャパンの各年史、サントリーから大阪大学理学部化学高分子学教室へ質量分析計が寄贈されたことを示す銘板（大阪大学大学院理学研究科所蔵）等を並べた。

終章では、自ら嗜む文化人としての創作と、21 世紀を生きる世代に託したメッセージを紹介した。俳句では、仕事の隙を見つけてはメモ用紙に書き付け、佐治玄鳥の名で 3 冊の句集を出版した。『自然薯』（1995 年）、『仙翁花』（1998 年）、『千年の葡萄』（2008 年）を出品し、それぞれの句集で跋文を書いた大岡信と森澄雄が選んだ敬三らしい十句を展示した。その作風は、大岡によれば「初めから一貫して、作者たる佐治敬三の地金まる出しの句」という。会長に退いた平成 2 年（1990）にはヒマラヤを旅行し、上空からエベレストをカメラに収め、帰国後は会長室にイーゼルを立て 100 号キャンバスに油絵に描いた（未完）。平成 11 年 4 月に大阪城ホールで開催されたサントリー創業 100 周年記念式典の懇親会では「21 世紀は君たちのものだ、ガンバレ！」とエールを贈ったという。しかしこの年の 11 月 3 日、大阪大学附属病院で亡くなった（享年 80 歳）。葬儀参列者は 7500 名、『佐治敬三追想録』（2000 年）への追想文寄稿者は 159 名に上り、しかもその顔ぶれは酒類業界・広告業界をはじめとする財界人、メディア関係者、政治家、研究者、音楽関係をはじめとする文化・芸術関係者と多岐にわたり、国際色も豊かで

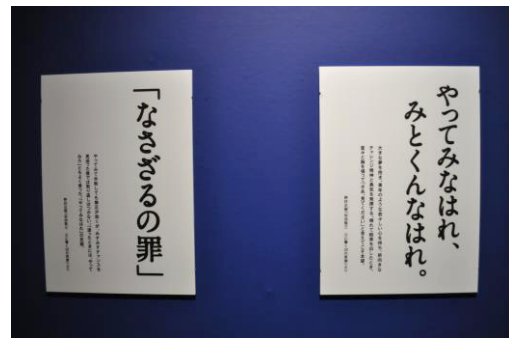
あった。生前の交流の広さと、いかに慕われていたかがよく分かる。

なお会場では、柳原良平が描いた敬三のイラスト（廣澤昌『新しきこと面白きこと—サントリー・佐治敬三伝』掲載。チラシ参照）9点を自立式パネルにして賑わし、敬三の名言（野村正樹『佐治敬三 心に響く33の言葉』より）を各所に散りばめた。展示物のみでは伝えきれない人物像に、親しみを込めて迫ることを意図したものであった。

また関連企画ではミュージアム・レクチャー3本と、スペシャルトーク＋ワークショップ2回を開催した（チラシ参照）。前者の講師について、深瀬浩一氏は敬三が所属した小竹研究室の流れを汲む大阪大学大学院理学研究科教授で、敬三が研究に取り組んだ有機化学を平易に紹介した。大政健史・金子嘉信両氏は大阪高等工業学校醸造科を前身とする大阪大学大学院工学研究科生命先端工学専攻に所属し、阪大の醸造学・酵母研究とサントリーとの関わりを述べた。松永は2012年にウイスキーマガジン社が発表した「世界のウイスキー、100人のレジェンド」に選ばれた日本人4名と阪大・サントリーとの関わりを紹介した。後者では、敬三の下でそれぞれサントリーの文化事業・ビール製造に携わっていた伊木稔氏と柳謙三氏から見た敬三の実像を語っていただき、敬三が目指したプレミアムビール「ザ・プレミアム・モルツ」を試飲した。敬三の企業家精神やものづくりへの思いを知り、それが現在のサントリービールにどのように受け継がれているのかを探りながらの喉ごしは、普段とは違った味わいだったように思う。

本展示は、長らく停滞する大阪経済の復興と、敬三のような大旦那の再来への期待を込めたものでもあった。大阪大学総合学術博物館として、卒業生の業績を振り返る企画は直近の「洋画家 中村貞夫」展はじめ、継続的に取り組むべきものであろう。また今回、主催に加わった大阪大学適塾記念センターとしては、大阪学研究部門の研究成果を披露する貴重な機会となった。本学の歴史に携わる両組織が、今後も密接に連携しながら様々な企画を打ち出していきたい。

以上が佐治敬三展の概要であるが、詳細は拙著『大阪大学総合学術博物館叢書 17 佐治敬三“百面相”大阪が生んだ稀代の経営者』（大阪大学出版会、2019年）を参照されたい。



佐治敬三の名言

3. サイエンスカフェ@待兼山 サイエンスカフェ@豊中市立中央公民館

期 間：サイエンスカフェ@待兼山

2020年1月25日（土）～2020年3月21日（土） カフェ No.152 ～ 156

サイエンスカフェ@豊中市立中央公民館

2020年1月18日（土）～2020年3月14日（土） カフェ No.C-10 ～ C-12

主 催：大阪大学共創機構社会学共創本部／総合学術博物館

共 催：豊中市立中央公民館

協 力：大阪大学 21世紀懐徳堂

大阪大学で行われている最新の研究を広く社会に紹介するとともに、普段、接する機会が少ない専門家と一般の方々とのコミュニケーションの場となることを目指して「サイエンスカフェ@待兼山」、「サイエンスカフェ@豊中市立中央公民館」を開催した。「サイエンスカフェ@待兼山」は2008年度から豊中市と連携して開催し、文系、理系を問わず様々な分野のテーマを扱ってきた。また、2016年度からは、豊中市立中央公民館との共催で、「サイエンスカフェ@豊中市立中央公民館」を実施している。両方とも現在では総合学術博物館のイベントとして定着し、幅広い年代に参加していただいている。家族や友人と一緒に参加される方もおり、実施当日には会場が大いに盛り上がっている様も見られる。

ただし、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、下記講座については実施を中止した。

・サイエンスカフェ@待兼山 カフェ No.154～156

・サイエンスカフェ@豊中市立中央公民館 カフェ No.C-12

サイエンスカフェの実施状況：

2008年度	前期	カフェ No. 1 ～ 13	実施13回
	後期	カフェ No. 14 ～ 27	実施14回
2009年度	前期	カフェ No. 28 ～ 37	実施10回
	後期	カフェ No. 38 ～ 46	実施 9回
2010年度	前期	カフェ No. 47 ～ 55	実施 9回
	後期	カフェ No. 56 ～ 65	実施10回
2011年度	前期	カフェ No. 66 ～ 80	実施15回
	後期	カフェ No. 81 ～ 88	実施 8回
2012年度	前期	カフェ No. 89 ～ 99	実施11回
	後期	カフェ No.100 ～ 107	実施 8回
2013年度	前期	カフェ No.108 ～ 112	実施 5回
	後期	カフェ No.113 ～ 116	実施 4回
2014年度	通年	カフェ No.117 ～ 126	実施10回
2015年度	通年	カフェ No.127 ～ 134	実施 8回
2016年度	通年	カフェ No.135 ～ 141	実施 7回
		カフェ No.C-1 ～ C-3	実施 3回
2017年度	通年	カフェ No.142 ～ 147	実施 6回
		カフェ No.C-4 ～ C-6	実施 3回
2018年度	通年	カフェ No.148 ～ 151	実施 6回
		カフェ No.C-7 ～ C-9	実施 3回
2019年度	通年	カフェ No.152 ～ 153	実施 2回
		カフェ No.C-10～ C-11	実施 2回

サイエンスカフェ@待兼山（2019年：2020年1月25日～2020年3月21日 No.152～156）

No.	実施日	タイトル	要 旨
		コーディネーター	
152	1/25 (土)	ブラジルと日本人—海を渡った人々の100年の歴史	みなさんにとってブラジルとはどのような国でしょうか。コーヒーやサッカー、アマゾン川といったキーワードが思い浮かぶかもしれません。では、1908年を皮切りに、ブラジルに数多くの日本人が移住したことはご存知でしょうか。今回の講演では、100年に渡るブラジル日本移民の物語りについて、みなさんにお話したいと思います。
		山本 晃輔 氏	
153	2/1 (土)	昆虫の交尾体位の進化	動物の行動は強い自然淘汰にさらされています。特に、生殖行動の変化は、残せる子孫の数に直接影響するため、新しい種を生み出す働きがあります。昆虫の交尾のスタイルもどんどん進化しており、この進化は、オスの生殖器の向きと関連しています。昆虫の交尾スタイルの進化の世界を覗いてみましょう。
		松尾 健治 氏	
154	2/22 (土)	匂いを感じるしくみ	街を歩いていて感じる芳ばしい焼きたてのパンの香り。途端に幸福感を感じたり、かつての記憶が蘇ったりという経験はありませんか？匂いを感じるしくみは細胞や分子レベルで説明できます。今回は匂いを感じる細胞の情報伝達機構を紹介します。
		竹内 裕子 氏	
155	3/7 (土)	「音楽のまち」はどのように創られたのか	日本の「音楽のまち」といえば、どこを思い浮かべますか？実は、日本には「音楽のまち」をうたう都市がたくさんあります。日本各地の「音楽のまち」は、いつ頃から、どのようにして「音楽のまち」と名乗るようになったのか、いくつかの都市を取り上げお話しします。
		肥後 楽 氏	
156	3/21 (土)	対話型調停の会話分析－紛争解決の営みを解きほぐす－	「当事者たちだけで」話し合うことで紛争を解決する調停スタイルをとる対話型調停。それは本当にありうるのでしょうか。この講義では、具体的な事件処理のデータをもとに、会話分析の手法で、調停参加者たちの発言を一行ずつ細かく分析することで、「当事者たちだけ」の紛争解決の営みをみていきます。
		李 英 氏	

サイエンスカフェ@豊中市立中央公民館（2019年：2020年1月18日～2020年3月14日 No.C-10～C-12）

No.	実施日	タイトル	要 旨
		コーディネーター	
C-10	1/18 (土)	フィールド栄養学から考える食と健康	食と健康長寿との関連は広く関心が寄せられるテーマですが、「何をどれだけ食べるべきか」という問いに答えるのは簡単ではありません。iフィールド栄養学」では、食べることを栄養摂取だけでなく多角的にとらえ、地域環境、家族関係や社会との関わりにも注目して国内外でフィールド研究をしています。現代日本の生活とは遠く離れた、ヒマラヤ高地のチベット族の食や健康、幸福感について紹介するとともに、日本の超高齢化社会における健康な生活へのヒントを、皆様と一緒に探求したいと思います。
		木村 友美 氏	
C-11	2/15 (土)	「鉱物（いし）語り～採集（フィールド）から教育（ワークショップ）まで～」	40年にわたって鉱物を収集し、産経新聞夕刊で「宝の石図鑑」を7年間連載した筆者が、人間と切っても切れない関係にある地球のお宝についての文化的、科学技術的な逸話やフィールドでのエピソードを楽しく語ります。
		藤浦 淳 氏	
C-12	3/14 (土)	磁石の力で観る蛋白質のはたらき	蛋白質は我々の体の中で様々な姿を示すことで、多様な機能を生み出しています。本講演では、強力な磁石を利用して蛋白質の姿を捉える研究を紹介いたします。
		宮ノ入洋平 氏	

Science Café at Machikaneyama

大阪大学総合学術博物館で、サイエンスカフェを楽しみませんか。コーヒーを片手にゆったりとした雰囲気、「科学する」とはどういうことか、研究者とともに考えていきます。それを通して、専門家と一般の方々の間のコミュニケーション不全を少しでも改善したいと思っています。お気軽にご参加ください。

No. 152

2020年1月25日(土)

ブラジルと日本人—海を渡った人々の100年の歴史
山本 晃輔 (人間科学研究科附属未来共創センター)
時間:14:00~15:30
対象:高校生以上

No. 155

2020年3月7日(土)

「音楽のまち」はどのように創られたのか
肥後 楽 (21世紀懐徳堂)
時間:14:00~15:30
対象:高校生以上

No. 153

2020年2月1日(土)

昆虫の交尾体位の進化
松野 健治 (理学研究科)
時間:14:00~15:30
対象:中学生以上

No. 156

2020年3月21日(土)

対話型調停の会話分析—紛争解決の営みを解きほぐす—
李 英 (法学研究科)
時間:14:00~15:30
対象:高校生以上

No. 154

2020年2月22日(土)

匂いを感じるしくみ
竹内 裕子 (生命機能研究科)
時間:14:00~15:30
対象:高校生以上

サイエンスカフェ@待兼山

開催場所: 大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館3階セミナー室
定員: 各回とも30名
参加費用: 無料
主催: 大阪大学共創機構社会学共創本部/総合学術博物館
共催: 豊中市立中央公民館
協力: 大阪大学21世紀懐徳堂

申込方法

Webフォームあるいは往復ハガキにてお申し込みください。

Webフォーム

以下URLの「申込受付期間確認ページ」内リンクからお申し込みください。

<https://www.museum.osaka-u.ac.jp/2019-12-03-13568/>

往復ハガキ

カフェ1タイトル、住所、氏名、電話番号、年齢を明記してください。ご家族でお申込の場合、同伴者のお名前、年齢をご記入の上、下記宛にご送付ください。

〒560-0043 豊中市待兼山町1-13 大阪大学総合学術博物館

申込期間

各カフェ開催日の2か月前から1ヶ月前までです (No. 153のみ締め切りは1/6です)。期間は各カフェで異なりますので確認をお願いします。往復ハガキについては締切日必着をお願いします。

※応募多数の場合、原則として抽選で決定します。抽選結果はメール、もしくはハガキでお知らせします。

Science Café at Chuo Kominkan

コーヒーやドリンクを片手に、ゆったりとした雰囲気です「科学する」とはどういうものか、研究者とともに考える「サイエンスカフェ」を楽しみませんか。この機会を大阪大学の研究者と市民の皆様とのコミュニケーションの場にしたいと思っています。ぜひ一度ご参加ください。(中央公民館でマチカネワニとその他のワニの骨の模型を展示します。)

No. C-10

2020年1月18日(土)

フィールド栄養学から考える食と健康

木村 友美 (大阪大学人間科学研究科)

対象:高校生以上

受付開始:2020年1月6日(月)14:00より

No. C-11

2020年2月15日(土)

「鉱物(いし)語り ～採集(フィールド)から教育(ワークショップ)まで～」

藤浦 淳 (大阪大学総合学術博物館研究員)

対象:高校生以上

受付開始:2020年2月4日(火)14:00より

No. C-12

2020年3月14日(土)

「磁石の力で観る 蛋白質のはたらき」

宮ノ入 洋平 (大阪大学蛋白質研究所)

対象:高校生以上

受付開始:2020年3月4日(水)14:00より

サイエンスカフェ@豊中市立中央公民館

開催場所: 豊中市立中央公民館
時 間: 各回14:00~15:30
定 員: 各回30名
参加費用: 無料
主 催: 大阪大学共創機構社会学共創本部/総合学術博物館
共 催: 豊中市立中央公民館
協 力: 大阪大学21世紀懐徳堂

申込方法

電話による事前申込の受付をいたします。

06-6866-0555

(豊中市立中央公民館)

※各カフェの受付開始日をご確認の上お申し込みください。

※定員に達し次第受付を終了させていただきます。

No. C-10

2020年1月18日(土)

フィールド栄養学から考える食と健康

木村 友美 (大阪大学人間科学研究科)

【講演内容】

食と健康長寿との関連は広く関心が寄せられるテーマですが、「何をどれだけ食べるべきか」という問いに答えるのは簡単ではありません。「フィールド栄養学」では、食べることを栄養摂取だけでなく多角的にとらえ、地域環境、家族関係や社会との関わりにも注目して国内外でフィールド研究をしています。現代日本の生活とは遠く離れた、ヒマラヤ高地のチベット族の食や健康、幸福感について紹介するとともに、日本の超高齢化社会における健康な生活へのヒントを、皆様と一緒に探求したいと思います。

No. C-11

2020年2月15日(土)

「鉱物 (いし) 語り ～採集 (フィールド) から教育 (ワークショップ) まで～」

藤浦 淳 (大阪大学総合学術博物館研究員)

【講演内容】

40年にわたって鉱物を収集し、産経新聞夕刊で「宝の石図鑑」を7年間連載した筆者が、人間と切っても切れない関係にある地球のお宝についての文化的、科学技術的な逸話やフィールドでのエピソードを楽しく語ります。

No. C-12

2020年3月14日(土)

磁石の力で観る 蛋白質のはたらき

宮ノ入 洋平 (大阪大学蛋白質研究所)

【講演内容】

蛋白質は我々の体の中で様々な姿を示すことで、多様な機能を生み出しています。本講演では、強力な磁石を利用して蛋白質の姿を捉える研究を紹介いたします。

サイエンスカフェ @ 豊中市立中央公民館

豊中市立中央公民館 〒561-0802 豊中市曾根東町3-7-3 TEL: 06-6866-0555

大阪大学総合学術博物館 〒560-0043 豊中市待兼山町1-13 URL: <http://www.museum.osaka-u.ac.jp>

4. 体験！こどもミュージアム@大阪大学

期 間：2019年8月21日（水）～23日（金）

会 場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 3階セミナー室

主 催：株式会社新興出版社啓林館

大阪大学共創機構社学共創本部／総合学術博物館

後 援：豊中市教育委員会、池田市教育委員会、箕面市教育委員会、大阪市教育委員会

協 力：大阪大学21世紀懐徳堂

文系、理系を問わず様々な分野に対する興味や関心を、子どもたちに持ってもらうことを目指して「体験！こどもミュージアム@大阪大学」を開催した。自由応募制（小学校3～6年生対象）という形をとり、豊中市教育委員会、池田市教育委員会、箕面市教育委員会、大阪市教育委員会からの後援と大阪大学21世紀懐徳堂の協力を得て開催した。いずれも実験・実演を交えた体験型授業行い、参加した子どもたちからも好評であった。

（当日の参加者数は延べ51名、保護者含まず）



「浮沈紙・時計反応(ヨウ素液)」



「シロクロワールド

～水墨×うちわをつくろう！～」



「簡単リニアモーターカーを作ろう」

授業内容

8月21日(水)

タイトル：「浮沈紙 時計反応 (ヨウ素液)」

講師：十河 秀敏 氏 (箕面自由学園中学校・教育顧問)

参加人数：15人

概要：【浮沈紙】

Cartesian diver (デカルトの潜水夫) を作ってみよう。ペットボトルに水をいれて、その中のお魚を自由に浮き沈みさせることができるおもちゃを作ってみよう。このようなおもちゃを浮沈子といいます。ペットボトルを押すとお魚が沈んでいき、はなすと浮いていきます。なぜ、そんなことができるのか？考えてみましょう。表題は浮沈子を英語ではこう言うそうです。

【時計反応 (ヨウ素液)】

時計反応を体験しよう。時間とともに色が変わりだす反応を体験してみよう。薬品の濃さ、その時の温度、量を工夫するだけで変化の時間が変わります。君は思い通りに薬品たちをあやつれるかな？やってみましょう！

8月21日(火)

タイトル：「シロクロワールド～水墨×うちわをつくろう！～」

講師：都築 茉莉、佐藤 優 (文学研究科 文化表現論 専攻博士前期課程1年
日本・東洋美術史研究室)

参加人数：16人

概要：みなさんは墨だけで描かれた絵を見たことがありますか？鎌倉時代に禅という仏教と一緒に墨と筆を使って絵を描く方法が中国から伝えられました。そのような絵を水墨画とよびます。

昔の人はどんな風に墨と筆だけで絵を描いたのかな。昔の人の気持ちになって水墨画を描いてみよう。また、その絵をうちわに変身させよう！

8月22日(水)

タイトル：「簡単リニアモーターカーを作ろう」

講師：豊田 二郎 (大阪大学社会学共創本部 総合学術博物館 准教授)

参加人数：20人

概要：みなさん小学校の理科の授業で、磁石を近づけると引き合う(ひつつく)モノと、引き合いも反発もしないモノがあることを習った方もいると思います。でも強い磁石を近づけると世の中のすべてのモノは、引き合うか反発する(遠ざかる)かのどちらかです。磁石の性質を詳しく調べ、最後に100円ショップで手に入る材料で、電池と磁石、巻いた銅線だけで動くリニアモーターカーを作製します。

2019
体験!

こども

参加者
募集!

参加費
無料

ミュージアム



大阪大学
公式マスコットキャラクター
ワニ博士

@大阪大学

対象: 小学3~6年生
定員: 各コースとも20名

コース①



コース②



コース③

簡単リニア
モーターカーを
作ろう



※コースの詳細は
裏面をご覧ください

8月21日(水)
14:00~15:30

講師 箕面自由学園中学校・教育顧問
十河 秀敏

8月22日(木)
14:00~16:00

講師 文学研究科 文化表現論専攻
博士前期課程1年 日本・東洋美術史研究室
都築 茉莉、佐藤 優

8月23日(金)
14:00~15:30

講師 大阪大学社会学部共創本部総合学術博物館
准教授
豊田 二郎

ところ: 大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館3階セミナー室
豊中市待兼山町 1-20 (大阪大学豊中キャンパス内) (阪急宝塚線・石橋駅より徒歩約10分)

主催: 大阪大学共創機構社会学部共創本部 / 総合学術博物館・株式会社新興出版社啓林館
協力: 大阪大学21世紀懐徳堂
後援: 豊中市教育委員会、池田市教育委員会、箕面市教育委員会、大阪市教育委員会



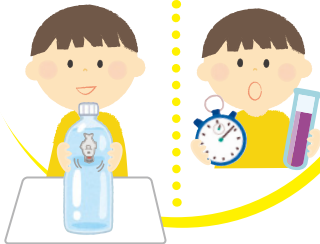
大阪大学総合学術博物館
<https://www.museum.osaka-u.ac.jp/>



株式会社新興出版社啓林館
<https://www.shinko-keirin.co.jp/>

コース①

8月21日(水)
14:00~15:30



浮沈子



カルテシアンダイバー
Cartesian diver (デカルトの潜水夫)を作ってみよう。
ペットボトルに水をいれて、その中のお魚を自由に浮き沈みさせることができるおもちゃを作って考えよう。
このようなおもちゃを浮沈子といいます。
ペットボトルを押すとお魚が沈んでいき、はなすと浮いていきます。
なぜ、そんなことができるのか?考えてみましょう。
表題は浮沈子を英語ではこう言うそうです。

定員
20名

時計反応 (ヨウ素液)

時計反応を体験しよう。時間とともに色が変わりだす反応を体験してみよう。薬品の濃さ、その時の温度、量を工夫するだけで変化の時間が変わります。君は思い通りに薬品たちをあやつれるかな?やってみましょう!

講師 箕面自由学園中学校・教育顧問 十河 秀敏

定員
20名

シロクオワールド ~水墨xうちわをつくろう!~

みなさんは墨だけで描かれた絵を見たことがありますか?鎌倉時代に禅という仏教と一緒に墨と筆を使って絵を描く方法が中国から伝えられました。そのような絵を水墨画とよびます。
昔の人はどんな風に墨と筆だけで絵を描いたのかな。昔の人の気持ちになつて水墨画を描いてみよう。また、その絵をうちわに変身させよう!

講師 文学研究科 文化表現論専攻

博士前期課程1年 日本・東洋美術史研究室 都築 茉莉、佐藤 優

コース②

8月22日(木)
14:00~16:00



コース③

8月23日(金)
14:00~15:30



簡単リニアモーターカーを作ろう

みなさん小学校の理科の授業で、磁石を近づけると引き合う(ひつつく)モノと、引き合いも反発もしないモノがあることを習った方もいると思います。
でも強い磁石を近づけると世の中のすべてのモノは、引き合うか反発する(遠ざかる)かのどちらかです。磁石の性質を詳しく調べ、最後に100円ショップで手に入る材料で、電池と磁石、巻いた銅線だけで動くリニアモーターカーを作製します。

講師 大阪大学社会学共創本部 総合学術博物館 准教授 豊田 二郎

定員
20名

申込方法

<https://www.museum.osaka-u.ac.jp/2019-kodomo/>

(お預かりした個人情報は適切に管理し、本事業以外には使用いたしません。)

申込締切日: 7月26日(金) 17:00

※応募多数の場合は抽選を行います。ご希望に添えない場合もございますので、ご了承ください。

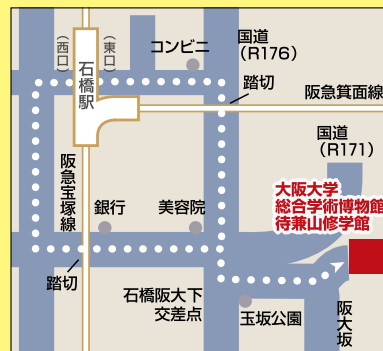
※必ず保護者の方同伴で参加をお願いします。

※インターネット環境がない方は、「ご希望のコース番号・参加者の住所・氏名・よみがな・学校名・学年・保護者の氏名・電話番号」を明記し、FAXで申してください。受領後、受付担当より確認のお電話を致します。

●保護者の方へ ※ご来館の際には公共交通機関をご利用ください。
※保護者の方は見学のみでお願いします。



交通のご案内



阪急宝塚線「石橋駅」下車 徒歩 10分
※公共交通機関をご利用ください。

大阪大学総合学術博物館

<問合せ先> 〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-13 大阪大学総合学術博物館
TEL. 06-6850-6714 FAX. 06-6850-6720

5. 2019～繋げる・広げる～わくわく学習教室 with Osaka University

期 間：2019年11月9日（土）

会 場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 3階セミナー室

主 催：株式会社新興出版社啓林館、大阪大学共創機構社会学共創本部／総合学術博物館

後 援：豊中市教育委員会、大阪市教育委員会、箕面市教育委員会、池田市教育委員会

小学生を対象とした体験型講座として「～繋げる・広げる～わくわく学習教室 with Osaka University」を開催した。本企画は、株式会社新興出版社啓林館がCSR活動として実施している「～繋げる・広げる～わくわく学習教室」を、大阪大学を会場とし、本館と共催して行った企画であり、今回で2回目の開催となる。開催にあたっては、豊中市教育委員会、大阪市教育委員会、箕面市教育委員会、池田市教育委員会からの後援と大阪大学21世紀懐徳堂の協力を得た。「理科」に特化した取り組みであるが、学外から講師を招へいするなど、これまでの「体験！こどもミュージアム@大阪大学」とは異なる新しい試みも実施した。小学校3・4・5・6年生を対象とした講座はいずれも実験・実演を交えた体験型授業で、子どもたちが楽しんで参加できるイベントとなった（当日の参加者数は延べ36名、保護者含まず）。



「考古学者になってみよう」

授業内容

コース①

タイトル：「トンボの大冒険～プログラミングに必要な考え方を体験しよう～」

講師：萩原 憲二 氏（大阪青山大学 健康科学部 子ども教育学科 教授）

参加人数：18人

概要：簡単な命令を組み合わせて課題をクリアするボードゲーム「トンボの大冒険」でプログラミングを作るもとなる考えを育みます。「トンボの大冒険」とは、命令を組み合わせた、新しい命令を作ってコマをゴールさせたりするボードゲーム型の教育教材です。2人1組となり、ペアで話し合い考えながらカードを動かし、ゴールを目指そう！
協力して活動する中で、プログラミングを組み立てる能力を自然と身に付けましょう。

コース②

タイトル：「考古学者になってみよう！」

講師：上田 直弥（大阪大学 埋蔵文化財調査室 助教）

参加人数：18人

概要：今年、「百舌鳥・古市古墳群」が大阪ではじめての世界遺産に登録されました。この講座ではまず、写真や博物館で展示しているホンモノの資料をみながら、「古墳」がつくられた時代について学びます。そして、実際に古墳時代の遺跡から出土した土器に触りながら、考古学者さながらの“観察レポート”をつくってみましょう！

2019

～繋げる・広げる～

わくわく 学習教室

with Osaka University

参加者
募集!

コース1 13:00～14:30

トンボの大冒険

～プログラミングに必要な
考え方を体験しよう～



大阪青山大学 健康科学部
子ども教育学科 教授
萩原 憲二



大阪大学
公式マスコットキャラクター
「ワニ博士」

コース2 15:00～16:30

考古学者に なってみよう!



大阪大学 埋蔵文化財調査室 助教
上田 直弥



日時 2019 **11/9** 土

対象 小学校3年生～6年生

定員 20名 (参加費無料)

場所 大阪大学総合学術博物館
待兼山修学館 3階セミナー室
豊中市待兼山町1-20 (大阪大学豊中キャンパス内)
(阪急宝塚線・石橋阪大前駅より徒歩約10分)

主催: 株式会社新興出版社啓林館・
大阪大学社会学共創本部 / 総合学術博物館

後援: 豊中市教育委員会・大阪市教育委員会・
箕面市教育委員会・池田市教育委員会



株式会社新興出版社啓林館
<https://www.shinko-keirin.co.jp/>



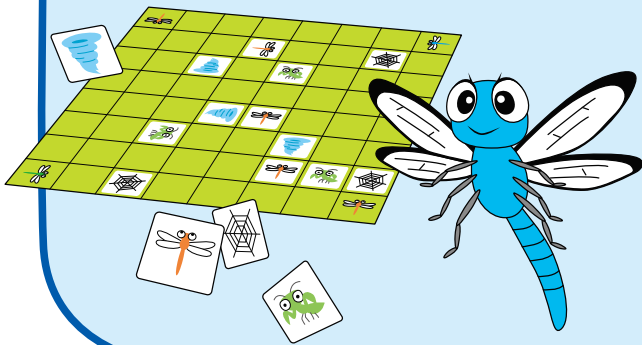
大阪大学総合学術博物館
<https://www.museum.osaka-u.ac.jp/>

2019～繋げる・広げる～わくわく学習教室 with Osaka University

コース1 11/9(土)
13:00～14:30

トンボの大冒険

～プログラミングに必要な考え方を体験しよう～



簡単な命令を組み合わせて課題をクリアするボードゲーム「トンボの大冒険」でプログラミングを作るもとなる考えを育みます。「トンボの大冒険」とは、命令を組み合わせたたり、新しい命令を作ってコマをゴールさせたりするボードゲーム型の教育教材です。2人1組となり、ペアで話し合い考えながらカードを動かし、ゴールを目指そう！協力して活動する中で、プログラミングを組み立てる能力を自然と身に付けましょう。

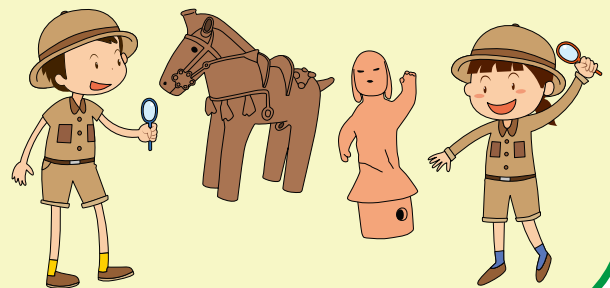
大阪青山大学 健康科学部 子ども教育学科 教授 萩原 憲二

コース2 11/9(土)
15:00～16:30

考古学者になってみよう！

今年、「もず ふるいち こふんぐん百舌鳥・古市古墳群」が大阪ではじめての世界遺産に登録されました。この講座ではまず、写真や博物館で展示しているホンモノの資料をみながら、「古墳」がつくられた時代について学びます。そして、実際に古墳時代の遺跡から出土した土器に触りながら、考古学者さながらの“観察レポート”をつくってみましょう！

大阪大学 埋蔵文化財調査室 助教 上田 直弥



申込み方法

定員 20名 ※コース1、コース2の両コースをご受講いただけます。

下記申し込みURLか、QRコードよりお申し込みください。

<申込URL>

<https://reserve.be/toyonakawakuwaku>

(お預かりした個人情報は適切に管理し、本事業以外には使用いたしません。)

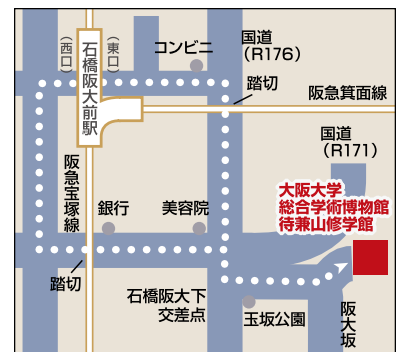
<お問い合わせ先>

株式会社新興出版社啓林館

電話 **06-6775-6518**



交通のご案内



阪急宝塚線「石橋阪大前駅」下車 徒歩10分
※公共交通機関をご利用ください。

申込期間:2019年10月9日(水)～11月2日(土) ※応募者多数の場合は抽選を行います。

※必ず保護者の方同伴でお願い致します。

- 保護者の方へ ※ご来館の際は公共交通機関をご利用ください。
※保護者の方は見学のみでお願い致します。



大阪大学総合学術博物館

6. 大阪大学美術部 夏部展 2019 「園～ここは現実か?～」

期 間：2019年8月31日（土）～2019年9月7日（土）

※9月1日（日）は館

会 場：大阪大学総合学術博物館

待兼山修学館 3階多目的ルーム



【概要】

園、それは現実を切り取ったもの。しかし現実を超えた世界を見せる枠。

阪大美術部の部室は自由な活動と多様な価値観が認められるオープンな空間です。その自由さは作品にもあらわれ、題材はもちろん表現方法も多岐にわたる様々な作品が生み出されます。しかしどの作品にも言えることがあるのではないかと、思うのです。それは、作者ならではの現実の切り取り方によって個性豊かな作品—新しい現実—を見せること。

現実と新たな現実が入り混じる、私たちに身近なもの。それが園でした。特定の性質をもったものを集めた場所である園は現実世界の縮図です。しかしそこでの経験は私たちの認識を変える新しいものでしょう。

今回の部展では「園」をテーマとし、現実への問いを4つの園に託しました。この展示が一つの園としてあなたの現実を揺るがすように。

【テーマ】

「生態園」

当企画では、架空の動植物についての展示を行います。私たちとは異なる世界の生き物を作り、その生き物たちの住む場所を地図として制作しました。

私たちが普段博物館などでみる展示は、現実の一部を切り取ったものです。移されたそれは、現実の模倣をする虚構と捉えることができます。私たちは博物館の展示から現実について学び、想像します。展示の内容が架空のものだとしても、そこからあるかもしれない世界を想像できるのではないのでしょうか。展示をみながら、目の前にはない世界に思いを馳せてみてください。

「肉体園」

生きていて、身体に限界を感じたことのない人はいないでしょう。技術も何もなかったら、私たちは身体という枷によって何をするにも不便です。高いところのものはとれないし、ずっと遠くにいくのも叶いません。

身体は私たちの精神を束縛する、自由を奪う檻。簡単な図式ですが、もしかしたら、私たちがその自由を求め、崇める精神さえも、自分たちで作り出したまやかしに過ぎないかもしれません。

肉体園では、こうした身体に無意識に取り囲まれている自分を意識させる展示を目指しました。

「脳内園」

当企画では、私達を閉じ込めている脳について考えてもらいます。未だに脳の中に私達の全てが詰まっていて、脳が作った架空の園内で私達は一生を過ごすしかありません。

脳はどうやって「私達」を作り出し、この鮮やかな現実を見せてくれているのでしょうか？ また、作り出された「私達」はどのようなものなのでしょうか？ これらの問題を様々な角度から捉えた作品を展示することで、みなさんと一緒に考えていきたいと思います。

「夢現園」

誰もが一度は願ったことがあるのではないのでしょうか？「この夢のような時間がいつまでも続けばいいのに…」と。

架空のキャラクター、架空の設定、現実離れした体験ができるアトラクション、煌びやかなショーやパレード…これらの要素を詰め込んだ「遊園地」という空間は、まさにフィクションのような現実を提供してくれます。

当企画では「遊園地」での体験をさまざまな角度から切り取り、作品という形に残すことで、あのひとときが蘇ってくるような展示を目指しました。

「夢現園-インアドリームパーク-」へようこそ。夢のような現実をお楽しみください。

7. ゴージャスとモダニズム

—船場の美意識探訪、塩野家コレクションとその周辺—

期 間：2019年9月24日(火)～10月18日(金)

会 場：大阪大学総合学術博物館 歴史展示室（大阪大学会館3階）

主 催：大阪大学共創機構社会学共創本部／総合学術博物館
武庫川女子大学附属総合ミュージアム設置準備室

共 催：かんさい・大学ミュージアム連携実行委員会

協 力：大阪大学 21世紀懐徳堂

きものや和装小物を身につけた生活。現代日本人の日常から忘れられつつあるライフスタイルかも知れません。しかし、かつて大阪は繊維の街として栄え、日本第一の経済都市として、贅沢ともいえる独自の服飾文化を誇っていました。

近畿の大学博物館が参加する「かんさい・大学ミュージアム連携」では、「衣と生活 Kimono and Life」をテーマに共同で多彩な展覧会やシンポジウムを企画していますが、大阪大学総合学術博物館では、武庫川女子大学附属総合ミュージアム設置準備室と連携して、ミニ展示とシンポジウムを開催しました。

大正12（1923）年設立の塩野香料株式会社の源流は、文化4（1808）年、道修町に創業された塩野薬種問屋であり、明治41（1908）年に香料を商うようになりました。“外見は地味に”を暮らしの主旨としたという当主夫人のことばから伺えるように、当時の暮らしを伝える塩野家コレクションからは、北船場の商家として堅実な伝統を引き継ぐ一方、明治から大正昭和初期のモダニズムの香りがたちのぼります。

ミニ展示では、ふくよかな当時の女性を髣髴とさせるゴージャスな婚礼打掛や、大阪で活躍した日本画家・森関山や庭山耕園が描いた塩野家の袱紗を中心に展示し、品格にあふれ贅沢でモダンな船場を中心とした近代大阪の美意識を探ります。またシンポジウムでは「大大阪」の賑わいや船場のくらし、きもの歴史や魅力について掘り下げます。



〈シンポジウム 大大阪モダニズム再考〉

日 時：2019年10月5日（土）

会 場：大阪大学会館 アセンブリー・ホール

タイトル：「塩野家コレクションと船場の美意識」

1. 基調講演

近江 晴子 氏（大阪天満宮文化研究所/船場大阪を語る会 顧問）

「船場の暮らしについて思うこと」

2. 講演

船越 幹央 氏（地方独立行政法人大阪市博物館機構 学芸員）

「モダン大阪のおもかげ」

横川 公子 氏（武庫川女子大学名誉教授/附属総合ミュージアム設置準備室長）

「塩野家コレクションとその周辺」

橋爪 節也（大阪大学共創機構社会学共創本部/総合学術博物館 教授）

「船場の画家と大阪の美意識」

3. 討論

近江 晴子 氏（大阪天満宮文化研究所/船場大阪を語る会 顧問）

船越 幹央 氏（地方独立行政法人大阪市博物館機構 学芸員）

横川 公子 氏（武庫川女子大学名誉教授/附属総合ミュージアム設置準備室長）

橋爪 節也（大阪大学共創機構社会学共創本部/総合学術博物館 教授） 司会

8. 大阪大学総合学術博物館・豊中市教育センター コラボレーション企画 豊中市立小中学生 理科展 サテライト展示

期 間：2019年11月30日（土）～2019年12月7日（土）

会 場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 3階セミナー室

主 催：大阪大学共創機構社会学共創本部／総合学術博物館

共 催：豊中市教育委員会/豊中市教育センター

協 力：大阪大学 21世紀懐徳堂

後 援：豊中市

【展示概要】

大阪大学総合学術博物館では毎年、豊中市立小中学生理科展に出品された作品の中で、特に優秀な作品を選び表彰しています。今年の豊中市立小中学生理科展に出品された児童・生徒の自由研究作品約530点から各賞を受賞した優秀作品12点を大阪大学総合学術博物館で展示します。子供たちの努力の結晶をどうぞご覧ください。

【展示作品】

- ・合成着色料と天然着色料の性質の違いについて
（南部洋一郎賞・大阪府学生科学賞 優秀賞 受賞）
- ・レーズンから天然酵母を作る
（大阪大学総合学術博物館長賞）
- ・「ミウラ折り」大研究
（大阪大学総合学術博物館長賞・大阪府学生科学賞優秀賞 受賞）
- ・風車の羽根はなぜ3枚なの？
（大阪大学総合学術博物館待兼山賞 受賞）
- ・足の形調べ
（大阪大学総合学術博物館待兼山賞 受賞）
- ・台風が近づいた時の気圧の変化は？
（豊中市教育センターあすなる賞 受賞）
- ・紙コップのもれない工夫
（豊中市教育センターあすなる賞 受賞）

- ・ダンゴムシ
(大阪府学生科学賞 佳作 受賞)

- ・ペットボトル大森林～植物の循環～
(大阪府学生科学賞 佳作 受賞)

- ・メジロの観察
(大阪府学生科学賞 佳作 受賞)

- ・海の住人
(大阪府学生科学賞 佳作 受賞)

- ・太陽の動きと熱量
(大阪府学生科学賞 佳作 受賞)

【イベント】受賞者による発表会

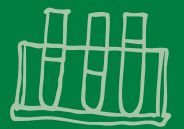
日 時：2019年12月7日（土）

会 場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 3階 セミナー室

参加者：31名



大阪大学総合学術博物館・豊中市教育センター



コラボレーション企画



豊中市立小中学生 理科展



サテライト展示

今年の豊中市立小中学生理科展に出品された

児童・生徒の自由研究作品約530点から選ばれた

優秀作品12点を大阪大学総合学術博物館で展示します！

最終日には作者による発表もあります！



大阪大学
公式SNSアカウントキャラクター

会場

大阪大学総合学術博物館
待兼山修学館 3階セミナー室
★入場無料

作品展示

2019
11/30[±]~12/7[±]
開館時間 10:30 ~ 17:00

(入館は16:30まで) (1日(日)は休館)

発表会

2019
12/7[±]
13:00~14:30
定員 30名
当日先着順
予約不要

問合せ先

〒560-0043
大阪府豊中市待兼山町 1-13 大阪大学総合学術博物館
Tel. 06-6850-6714

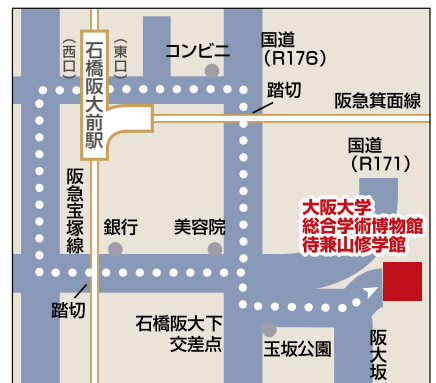
アクセス

阪急電鉄 宝塚線 石橋阪大前駅 (徒歩10分)



大阪大学総合学術博物館

<http://www.museum.osaka-u.ac.jp/>



▲会場アクセス MAP

※ご来館の際には公共交通機関をご利用ください。

主催：大阪大学共創機構社学共創本部 / 総合学術博物館
共催：豊中市教育委員会 / 豊中市教育センター 協力：大阪大学21世紀懐徳堂
後援：豊中市

豊中市立小中学生理科展 サテライト展示

大阪大学総合学術博物館では、豊中市立小中学生理科展に出品された作品の中で特に優秀な作品を選び、表彰をしています。今回、展示されている作品は以下の各賞を受賞された作品です。子供たちの努力の結晶をどうぞご覧ください。

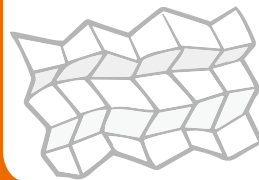
南部陽一郎賞

合成着色料と天然着色料の性質の違いについて



大阪大学総合学術博物館長賞

レーズンから天然酵母を作る



「ミウラ折り」大研究

大阪大学総合学術博物館待兼山賞

風車の羽根はなぜ3枚なの？



足の形調べ



豊中市教育センターあすなろ賞

台風が近づいた時の気圧の変化は？



紙コップのもれない工夫

大阪府学生科学賞 作品名

- ☀ ダンゴムシ
- ☀ ペットボトル大森林 ～植物の循環～
- ☀ 「ミウラ折り」大研究
- ☀ 太陽の動きと熱量
- ☀ 足の形調べ
- ☀ 紙コップのもれない工夫
- ☀ Xジロの観察
- ☀ レーズンから天然酵母を作る
- ☀ 台風が近づいた時の気圧の変化は？
- ☀ 海の住人
- ☀ 合成着色料と天然着色料の性質の違いについて
- ☀ 風車の羽根はなぜ3枚なの？



9. 阪大生がつくった展覧会 2019 ベスト 「台詞が見た戦争～森本薫『女の一生』から～」

期 間：2019年11月21日（木）～2019年12月10日（火）

会 場：大阪大学会館3階 歴史展示室

【開催趣旨】

2010年度より開講している博物館学（学内実習）では、実習の一環として受講生がいくつかの班に分かれて、大阪大学が所蔵する資料を活用して模擬展示を企画実施しており、2014年度からは、模擬展示のうち優秀な展示を一般に公開しています。今年度は、教員・受講生による投票によりA・B各日程から最優秀班を選出し、両班で新たに企画したものを合同展示として発表いたします。



【展示概要】

表現を生業とする人びとは戦争のさなか、何を考えどのように作品を生み出したのでしょうか。森本薫(1912～1946)は、大阪府出身の新劇を代表する劇作家です。彼は1946年に34歳という若さでこの世を去る直前、代表作となる『女の一生』を書き上げました。『女の一生』は、情報局からの依頼で国民の戦意高揚のために制作された作品であり、様々な制限のもと書かれたのにもかかわらず、そこには森本の戦争に対する秘めた想いが見え隠れします。

本展覧会は、森本薫の『女の一生』を紐解くことで、ある表現者が戦争という現実直面したとき、それをどう捉え何を表現するかに迫ります。まずは、森本の生涯を概観し、第1章では『女の一生』のあらすじを紹介するとともに、彼が登場人物に喋らせた台詞や脚本改訂によって生じた変更点から、この作品に込めた真の想いを読み解きます。第2章では自己＝表現者と社会＝戦争のはざままで、森本は劇作家としてどのような選択をしたのか、もしくは、せざるを得なかったのかについて、彼の直筆書簡や彼を知る人物の証言をもとに紹介します。第3章では、『女の一生』という演目のあり方が、戦中の初演から現代に至るまでいかに変容してきたかを辿るため、上演ポスターなどを中心に展示し、私たちがいま森本薫と『女の一生』に向き合うことの意味を検討します。

【主な展示品】

- ・森本薫遺品(直筆書簡、ロイド眼鏡、万年筆)
- ・『女の一生』舞台関連資料(チラシ、ポスター、パンフレット、舞台写真ほか33点)

10. 総合学術博物館支援スタッフ (ミュージアム・アシスタント)

大阪大学総合学術博物館では、教育的視点および総合学術博物館活性化のため、本学学生を博物館事業の業務に従事させることにより、社会との接点を実践的に学ぶ機会等を提供し、当該学生のコミュニケーション能力向上の一助にすること、経済的な援助を行うことにより当該学生の学生生活を支援させることを目的として、総合学術博物館支援スタッフ（ミュージアム・アシスタント）を2017年7月から雇用しています。

総合学術博物館支援スタッフ（ミュージアム・アシスタント）は具体的には、常設展の解説（ミュージアムトーク）や、総合学術博物館主催イベントの準備対応など、総合学術博物館に関する業務を担当しています。

2019年度のミュージアム・アシスタントの活動実績

活 動 月	活 動 日 (人 数)
2019年4月	6日(1名)、13日(2名)、20日(2名)、27日(1名)
5月	2日(1名)、3日(1名)、8日(1名)、11日(3名)、18日(7名)、19日(6名)、25日(5名)、29日(1名)
6月	1日(3名)、8日(4名)、15日(4名)、19日(1名)、25日(1名)、29日(2名)
7月	6日(3名)、11日(1名)、12日(1名)、13日(1名)、19日(1名)、25日(1名)、27日(1名)
8月	3日(1名)、5日(1名)、17日(2名)、21日(3名)、22日(4名)、23日(3名)、24日(4名)、31日(1名)
9月	7日(1名)、14日(2名)、21日(1名)、28日(1名)
10月	19日(3名)、26日(3名)
11月	2日(3名)、3日(2名)、4日(1名)、9日(3名)、14日(3名)、16日(3名)、30日(2名)
12月	7日(5名)、14日(2名)、21日(2名)、
2020年1月	11日(3名)、18日(4名)、25日(4名)
2月	1日(2名)、8日(1名)、15日(1名)、21日(1名)、25(1名)、29(1名)
3月	21日(2名)

活動の様子（常設展の解説）



11. 教員活動報告

2019 年度 教員実績表

(2019 年 4 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日)

総合学術博物館 館長 永田 靖

〈研究・教育部〉

資料基礎研究系	准教授 特任助教(常勤)	高橋 京子 高浦佳代子
---------	-----------------	----------------

資料先端研究系	教授 准教授 准教授	上田 貴洋 豊田 二郎 宮久保圭祐
---------	------------------	-------------------------

資料情報研究系	教授 助教	橋爪 節也 横田 洋
---------	----------	---------------

〈資料部〉	特任講師(常勤)	伊藤 謙
-------	----------	------

【教育活動】

担当授業

学期・学部・学年	科目名
2 学期・共通教育科目[全学部・全学年]	演劇学入門
1 学期・文学部	演劇学講義
2 学期・文学部	演劇学講義
1 学期・文学部	演劇学演習
2 学期・文学部	演劇学演習
1 学期・文学部	演劇学演習
1 学期・文学部	演劇学演習
2 学期・文学部	演劇学演習
1 学期・文学研究科修士課程	芸術環境論講義
1 学期・文学研究科修士課程	芸術環境論講義
通年・文学研究科修士課程	アート・プロデュース論演習
通年・文学研究科修士課程	修士論文作成演習
1 学期・文学研究科博士前期課程	演劇学講義
2 学期・文学研究科博士前期課程	演劇学講義
1 学期・文学研究科博士前期課程	演劇学演習
2 学期・文学研究科博士前期課程	演劇学演習
2 学期・文学研究科博士前期課程	演劇学演習
通年・文学研究科博士前期課程	芸術計画論演習
通年・文学研究科博士前期課程	修士論文作成演習
1 学期・文学研究科博士後期課程	演劇学特殊講義
2 学期・文学研究科博士後期課程	演劇学特殊講義
1 学期・文学研究科博士後期課程	演劇学特殊演習
2 学期・文学研究科博士後期課程	演劇学特殊演習
通年・文学研究科博士後期課程	演劇学博士論文作成演習

学生指導

学生数（留学生含む）	留学生数	共同・分担した指導教官人数
32 名	6 名	0 名

学位論文審査等（修士論文・卒業論文省略）

学位申請者および論文名	主査・副査の別
松本俊樹 劇作家・演出家堀正旗の宝塚における作品研究	主査
金裕彬 飯沢匡作品研究	主査
須田悦生 幸若舞の展開-芸能伝承の諸相-	主査
上畑史 セルビアのポピュラー音楽「ターボフォーク」における民族的アイデンティティの表出とその文化的実践	副査

【研究活動】

執筆活動（論文、総説、評論、辞典項目、各種記事など）

タイトル等	掲載誌他	報道年月
<i>Modernization of Asian Theatres: Process and Tradition,</i>	pp.1-262, Springer,	2019, May
「震災後の身体」	『Arts and Media』Vol. 9, 大阪大学文学研究科文化動態論アート・メディア論コース、	2019年7月、pp. 286-289
「アレクサンドル・タイロフ」「ニコライ・エブレイノフ」「ユージェニオ・バルバ」	『西洋演劇アンソロジー』山下純照・西洋比較演劇研究会編、月曜社、	2019年9月
「演劇における日露交流」	『ロシア文化事典』丸善出版、	2019年10月、pp. 716-717
「演劇のアジア的転回-ポスト・グローバリゼーション時代に向けて」	『適塾』No. 52、適塾記念会、	令和元年、pp. 83-94
「演劇と社会の間-『ポーギーとベス』の顛末」	『後進曲』創刊号、「後進曲」出版局	2019年12月、pp. 24-27
「極東退屈同情#010 公演『ジャンクション』」	Enoco, 21, 江之子島文化芸術創造センター、	p. 7、2020年1月
『三人の姉妹』翻訳	『ベスト・プレイズII』共訳、論創社、	2020年2月
「外地のチェーホフ」	『Time Capsule』「徴しの上を鳥が飛ぶ」アーティスト・レジデンス報告書、	2019年9月 2020年3月13日、p. 27
『記憶の劇場 大阪大学総合学術博物館の試み』共編著	大阪大学出版会	2020年月、pp. 1-247

研究（学会）発表など

タイトル	場所	年月日	備考
「森本薫と文学座」	大阪大学青雲塾第67回	中之島センター	講演会
‘Bridge across Asia’,	Theatre Olympics Forum ‘Vultural Bridges in Theatre World’, Hermitage General Staff, St. Petersburg, Russia,	14, November, 2019	Conference
「潮州歌劇を考える」	尼崎青少年創造劇場	2019年10月19日	レクチャー
「忠臣蔵・破 エートス／死」	伊丹アイホール	2019年10月12日	12月2日アフタートーク
「シンガポールの社会風土と潮州歌劇」	日本演劇学会研究集会「演劇と風土」西和賀町銀河ホール	2019年10月6日	シンポジウム
‘Modernization of Asian Theatres’	IFTR Annual Conference, <i>Theatre, Performance and Urbanism</i> , Shanghai Theatre Academy, China	12 July, 2019	Booklaunch,
‘Japanese Dialects Plays or Multilingualism?’	IFTR Annual Conference, <i>Theatre, Performance and Urbanism</i> , Shanghai Theatre Academy	12 July, 2019	研究発表

【学会等企画運営】

学会名	開催地	役割	期間
Asian Theatre WG Meeting, IFTR Annual Conference Shanghai	Shanghai Theatre Academy	Organizer	8-12, July, 2019
日本演劇学会研究集会「演劇と風土」	西和賀町銀河ホール	会長	2019年10月6日
The 7 th International Asian Theatre Studies Conference	Shanghai Theatre Academy	Co-Organizer	1~4, November, 2019

【共同研究および外部資金獲得状況】

科学研究費補助金およびその他の外部資金

補助金の種類および研究題目	研究代表者	期間	継続/新規
科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（B）	永田靖	平成25年～平成28年	継続
文化庁大学を活用する文化芸術推進事業	永田靖	令和元年～	継続

【社会貢献、管理運営等】

委員会あるいはWG名	就任年月	退任年月	継続/新規
日本演劇学会会長	2013年6月		継続
International Federation for Theatre Research Asian Theatre Working Group Convener	2009年6月		継続
副学長	2018年8月	2019年8月	
21世紀懐徳堂学主	2018年8月	2020年3月	継続
総合学術博物館長	2019年8月		継続
兵庫県立尼崎青少年創造劇場企画委員長	2013年4月		継続
吹田市文化振興事業団理事	2014年4月		継続
社会学共創本部長	2017年8月	2019年8月	
豊中市立文化芸術審議会委員	2015年6月		継続

【教育活動】

担当授業

学期・学部・学年	科目名
1 学期・薬学部・4 回生・薬学研究科	漢方薬学（分担）
薬学部・薬学科（6 年制）・6 回生	長期課題研究
薬学部・薬科学科（4 年制）・4 回生	卒業研究
1 学期 薬学研究科	伝統医薬解析学特別講義

学生指導

学生数（留学生含む）	留学生数	共同・分担した指導教官人数
3 名	0 名	0 名

学位論文審査等

学位申請者および論文名	主査・副査の別
上田大貴、大和・森野旧薬園の生態保存機能と環境植物学的意義	主査
木村康人、非破壊的医療文化財分析法の開発と実践：緒方洪庵の薬箱研究	主査
國見依利佳、芍薬(PAEONIAE RADIX)の潜在的資源探査と6次産業化	主査

学外での教育活動（集中講義等）

授業科目名	機関名	期間
専門科目 生活と福祉 漢方今昔物語：生薬国産化	放送大学 大阪学習センター	2019 11/9-10

【研究活動】

学術論文

論文名	著者名	雑誌	号・巻・頁	発行年月
Transition in longgu surface associated with decoction process of Keishikaryukotsuboreito	Kazuki Oguri, Takahiro Ueda, Kyoko Takahashi,	Chem Pharm Bull	67 (7) 693-698	2019
生薬原料委員会調査報告 (Committee for Raw Materials of Crude Drugs) 医師の湯液処方に対する認識及び生薬使用料の実態に関する調査	高橋京子、上田大貴、針ヶ谷哲也、高浦(島田)佳代子、山田亨弘、山岡傳一郎	日本東洋医学雑誌	70(4) 399-408	2019
緒方洪庵の薬箱研究を可能にした大阪大学所蔵ケン標本の意義	高橋京子	日本医史学雑誌	65 (3) 4-5	2019
文献資料と現地調査によるサフラン栽培法の変遷検証：竹田式栽培法の特質	高浦(島田)佳代子、高橋京子、渡部親雄	薬史学雑誌、	54 (1) 31-38	2019
桃仁 PERSICAE SEMEN の潜在的資源探査：地域特産果樹活用	高橋京子、善利佑記、高浦(島田)佳代子、末元吹季、後藤一寿	薬用植物研究	41 : 10-27	2019
緒方洪庵の壮年期使用薬箱所蔵生薬「撒尔」の基原と史的深化	善利佑記、高橋京子、高浦(島田)佳代子	薬史学雑誌	In press	2020
『緒方洪庵の薬箱 (大阪大所蔵)』研究：土茯苓の基原と実地臨床	木村康人、高橋京子、高浦(島田)佳代子	薬史学雑誌	In press	2020

著書

著書名	著者名	出版社	頁数	発行年月
科研研究成果公開促進費 (学術図書) 緒方洪庵の薬箱研究～マテリアルサイエンスから見る東西融合医療～	高橋京子	大阪大学出版会	291 頁	2020、2/28

学術講演会など

講演タイトル	場所	年月日	備考
原料委員会ワークショップ	新宿プリンスホテル	6/29-30 2019	日本東洋医学会 70 年会
漢方のあゆみ Part 5～次世代につなぐ経験知の真髄	新宿プリンスホテル	6/29-30 2019	日本東洋医学会 70 年会 ツムラスポンサードセミナー (オーガナイザー)
薬草のタイムカプセル 森野旧薬園 大和薬種の伝統を守る	中之島フェスティバルタワー 1 8 階	7/6 2019	朝日カルチャーセンター 中之島公開講座

講演タイトル	場所	年月日	備考
大和薬種の伝統 種苗を守り続ける	大阪大学会館 講堂・歴史展示室・総合学術博物館待兼山修学館展示場	7/23 2019	農林水産省委託プロジェクト研究「薬用作物の国内生産拡大に向けた技術開発」の公開セミナー 「令和の薬草政策を語る 伝統知と共に育む篤農技術確立の道」
近世医療文化財の普遍的価値創成：『薬箱』の包括的保存技術の確立と実践	日本科学博物館（上野）	7/27-28 2019	第1回文理融合シンポジウム量子ビームで歴史を探る～加速器が紡ぐ文理融合の地平
薬食同源の実践：竹田式サフラン栽培を活かした地域性の強化	茨城県南学習センター	12/1 2019	アグリセラピー公開セミナー「身土不二と健康長寿」
緒方洪庵の薬箱研究：非破壊的医療文化財分析法の開発と実践	大阪大学中之島センター	12/25-26 2019	第1回文理融合シンポジウム量子ビームで歴史を探る～加速器が紡ぐ文理融合の地平

研究（学会）発表など

タイトル	場所	年月日	備考
大和大学陀・史跡森野旧薬園所蔵の古石薬資料の復元	帝京大学	6/22-23 2019	文化財保存修復学会
緒方洪庵の薬箱由来薬物「依」「蘭苔」の特性解明と保存研究	帝京大学	6/22-23 2019	文化財保存修復学会
江戸期医療文化財・ガラス容器の非破壊的方法による材質研究	秋田大学	6/27-28 2019	博物科学会
緒方洪庵の晩年期使用薬箱：製剤化された現存薬品の特性解明	秋田大学	6/27-28 2019	博物科学会
緒方洪庵の壮年期薬箱：『加斯』の基原に関する史的深化と実地臨床	新宿プリンスホテル	6/29-30 2019	日本東洋医学会
Significance of Kampo medication complying with the clinical demand: the investigation by questionnaire survey to Japan Society for Oriental Medicines (JSOM) member doctors	Hann. Munden, Germany	9/6-7 2019	5th International Symposium for Japanese Kampo Medicine (ISJKM)
The Historic Morino Herb Garden (Morino-Kyuyakuen): Sowing seeds for the future	Hann. Munden, Germany	9/6-7 2019	ISJKM

タイトル	場 所	年 月 日	備 考
Kaki Calyx: Asian specific medication for hiccups	Hann. Munden, Germany	9/6-7 2019	ISJKM
国産柿蒂市場品の生産研究：品質保証に基づくブランド性強化	富山国際会議場	8/31-9/1 2019	第36回和漢医薬学会学術大会
緒方洪庵の晩年期使用薬箱由来植物「酒」の特性解明と臨床応用	富山国際会議場	8/31-9/1 2019	第36回和漢医薬学会学術大会
桃仁 PERSICAE SEMEN の潜在的資源探査：育種シーズの可能性	北里大学	9/22-23 2019	日本生薬学会第66回年会、
大和芍薬の篤農技術：伝統的加工環境の数値化と試作栽培検証	北里大学	9/22-23 2019	日本生薬学会第66回年会、
薬用シャクヤク栽培における灌水同時施肥が定植後3年目までの生育に及ぼす影響	高知市文化プラザ かるぼーと	11/26-27 2019	薬用植物栽培研究会、
ゲッティンゲン大学植物園の現状調査：Albrecht von Haller の植物	高知市文化プラザ かるぼーと	11/26-27 2019	薬用植物栽培研究会、
芍薬(PAEONIAE RADIX)の潜在的資源探査：遺伝的背景と花の形質	高知市文化プラザ かるぼーと	11/26-27 2019	薬用植物栽培研究会、
大分県竹田市のサフラン栽培：栽培支援につなぐ伝統的栽培法と栽培環境の検証	高知市文化プラザ かるぼーと	11/26-27 2019	薬用植物栽培研究会、
医療文化財の非破壊分析の新展開：ミュオンビーム応用の基礎検討	京都国際会議場	3/26-28 2020	日本薬学会第140年会
国産柿蒂市場品の生産研究：安定供給に向けた実践モデルの検討	京都国際会議場	3/26-28 2020	日本薬学会第140年会
芍薬(PAEONIAE RADIX)の篤農技術発掘、伝統的加工環境の数値化による解析	京都国際会議場	3/26-28 2020	日本薬学会第140年会

報道

タイトル	場 所	年 月 日	備 考
みちものがたり宇陀松山 薬草の道（奈良県）癒やしの草木人生を捧げ（読む）	朝日新聞 be on saturday	11/16 2019	みちものがたり宇陀松山 薬草の道（奈良県）（読む）
Cycle Around Japan Nara-Discovering Ancient Ways	NHK World Japan	2/8 2020	Cycle Around Japan Nara-Discovering Ancient Ways

【共同研究および外部資金獲得状況】

科学研究費補助金およびその他の外部資金

補助金の種類および研究題目	研究代表者	期 間	継続 / 新規
日本学術振興会科学研究補助金基盤研究 A 近世医療文化財の普遍的価値創 成：『薬箱』の包括的保存技術の確立と実践	高橋京子	2017-2019	継続
日本学術振興会科学研究補助金基盤研究 B (特設分野研究) 薬食同源を実現する特産園芸作物の歴史的探索評価お よび多角的総合利用技術の開発	後藤一寿	2017-2020	継続
日本学術振興会科学研究補助金基盤研究 C 農業・農村を基盤としたアグリ セラピーを契機とした共生福祉社会の展開可能性	中川光弘	2017-2019	継続
日本学術振興会科学研究補助金基盤研究 C 博物資料利活用のパラダイムシ フト：なにわ発・生薬遺産アーカイブ	高浦佳代子	2018-2020	新規
農水省委託プロジェクト研究「薬用作物の国内生産拡大に向けた技術の開 発」 分担	川嶋浩樹	2016-2020	継続

寄付

寄 付 名	寄付者名	金額	受入年月	継続 / 新規
高橋京子薬用資源・伝統医薬研究助成金 (J127503001)	長江義明	200 万円	2019 年 7 月	新規 (総合学術博物館)

【社会貢献、管理運営等】

講演会、サイエンスカフェ、ミュージアムレクチャーなど

講演名・題目	場 所	主催者名	年 月 日
2019 年春季展覧会「森野旧薬園の守人たち～歴 代藤助と薬業創業者の里～」	森野旧薬園 奈良県・宇陀市	森野旧薬園・大阪大学総合学 術博物館資料基礎研究系主催	3/31～6/9 2019
農林水産省委託プロジェクト研究「薬用作物の国 内生産拡大に向けた技術開発」の公開セミナー 「令和の薬草政策を語る 伝統知と共に育む篤農 技術確立の道」 ミニ展覧会 「森野家と森野旧薬園のあゆみ」	大阪大学会館・歴 史展示室	国立研究開発法人農業。食品 産業技術総合研究機構	7/23 2019
2020 年春季展覧会「森野旧薬園～共に時を刻む」	森野旧薬園 奈良県・宇陀市	森野旧薬園・大阪大学総合学 術博物館資料基礎研究系主催	3/29～6/21 2020

団体見学の説明等

団体名 (人数)	説明日	備 考
平成 31 年度 新入職員研修	2019/4/16	27 名
株式会社 ツムラ 医薬営業本部、生薬本部	2019/5/17	2 名
学校法人奈良学園 奈良学園登美ヶ丘高等学校	2019/12/10	32 名

相談

相談分類	開始年月	終了年月
高知県立牧野植物園 アドバイザー	2014年4月	継続中～
史跡・森野旧薬園保存管理計画策定委員会 副委員長(宇陀市教育委員会文化財課)	2015年11月	継続中～

学内の各種委員等

委員会あるいはWG名	就任年月	退任年月	継続/新規
大阪大学適塾記念センター	2011年4月		継続
大阪大学男女協働推進センター	2015年4月	2020年3月	継続
総合学術博物館・企画調整委員会	2016年4月	2020年3月	継続
同 グローバル・情報委員会	2016年4月	2020年3月	継続
同 博物館教育推進委員会	2016年4月	2020年3月	継続
適塾記念会 幹事	2015年		継続

学外各種委員等（地方公共団体や学協会など）

委員会名	役職	期間	継続/新規
日本薬理学会	学術評議員	2006年～2019年12月	継続
富山大学和漢医薬総合研究所	特任研究員	2011年～	継続
日本薬学会近畿支部会	委員	2007年～2020年3月	継続
高知県立牧野植物園	上席客員研究員～アドバイザー	2013年～	継続
日本東洋医学会生薬原料委員会	委員	2014年～	継続
日本薬史学会	評議員	2015年～	継続
東大阪文化財保護審議委員会	委員	2017年～	継続
大学博物館等協議会	会員	2008年～2020年3月	継続

【教育活動】

担当授業

学期・学部・学年	科目名
春～夏学期・薬学部・4年	漢方薬学(共担)
夏学期・大学院薬学研究科	伝統医薬解析学特別講義(共担)
冬学期・大学院横断科目・学際融合教育科目	実践ミュージアムコミュニケーション学(共担)(不実施)

【研究活動】

学術論文

論文名	著者名	雑誌	号・巻・頁	発行年月
文献資料と現地調査によるサフラン栽培法の変遷検証：竹田式栽培法の特質	高浦(島田)佳代子、高橋京子、渡部親雄	薬史学雑誌	54, 31-38	2019年6月
生薬原料委員会調査報告 (Committee for Raw Materials of Crude Drugs) 医師の湯液処方に対する認識および生薬使用量の実体に関する調査	高橋京子、上田大貴、針ヶ谷哲也、高浦(島田)佳代子、山田享弘、山岡傳一郎	日本東洋医学雑誌	70, 399-408	2019年10月
桃仁 PERSICAE SEMEN の潜在的資源探査：地域特産果樹活用	高橋京子、善利佑記、高浦(島田)佳代子、末元吹季、後藤一寿	薬用植物研究	41, 10-27	2019年12月
緒方洪庵の壮年期使用薬箱収蔵生薬「撒尔」の基原と史的深化	善利佑記、高橋京子、高浦(島田)佳代子	薬史学雑誌		accepted
『緒方洪庵の薬箱(大阪大所蔵)』研究：土茯苓の基原と実地臨床	木村康人、高橋京子、高浦(島田)佳代子	薬史学雑誌		accepted

著書

著書名	著者名	出版社	頁数	発行年月
緒方洪庵の薬箱研究 マテリアルサイエンスで見る東西融合医療(執筆協力)	高橋京子	大阪大学出版会	300	2020年2月

その他の執筆活動(総説、評論、辞典項目、各種記事など)

タイトル等	報道機関名	報道年月
安全・高品質な国産サフラン生産拡大のためのアクションリサーチ：アグリセラピーへの応用と地域健康力の向上	日本食品化学研究振興財団 第25回(平成30年度)研究成果報告書, 53-59	2019年

学術講演会など

講演タイトル	場所	年月日	備考
安全・高品質な国産サフラン生産拡大のためのアクションリサーチ:アグリセラピーへの応用と地域健康力の向上	公益財団法人 日本食品化学研究振興財団 平成31年度研究助成金贈呈式(大阪)	2019年5月20日	
森野旧薬園関連資料にみる黄連	日本漢方生薬ソムリエ協会主催 第1回公開シンポジウム「黄連シンポジウム」(金沢)	2019年11月10日	

研究(学会)発表など

タイトル	場所	年月日	備考
大和天宇陀・史跡森野旧薬園所蔵の古石薬資料の復元	文化財保存修復学会第41回大会(東京)	2019年6月22-23日	ポスター発表
緒方洪庵の薬箱由来薬物「依」「蘭苔」の特性解明と保存研究	文化財保存修復学会第41回大会(東京)	2019年6月22-23日	ポスター発表
江戸期医療文化財・ガラス容器の非破壊的方法による材質研究	第14回博物科学会(秋田)	2019年6月27-28日	口頭発表
緒方洪庵の晩年期使用薬箱:製剤化された現存薬品の特性解明	第14回博物科学会(秋田)	2019年6月27-28日	口頭発表
緒方洪庵の壮年期薬箱:『加斯』の基原に関する史的深化と実地臨床	第70回日本東洋医学会学術総会(東京)	2019年6月29-30日	ポスター発表
緒方洪庵の晩年期使用薬箱由来薬物「酒」の特性解明と臨床利用	第36回和漢医薬学会学術大会(富山)	2019年8月31日-9月1日	口頭発表
国産柿蒂市場品の生産研究:品質保証に基づくブランド性強化	第36回和漢医薬学会学術大会(富山)	2019年8月31日-9月1日	口頭発表
Kaki Calyx: Asian Specific Medication for Hiccups.	5 th International Symposium for Japanese Kampo Medicine (ISJKM) (Hann. Münden, Germany)	2019年9月6-7日	口頭発表
The Historic Morino Herb Garden (Morino-Kyuyakuen): Sowing Seeds for the Future.	5 th International Symposium for Japanese Kampo Medicine (ISJKM) (Hann. Münden, Germany)	2019年9月6-7日	口頭発表
Significance of Kampo medication Complying with the Clinical Demand: Results of a Questionnaire Survey among Japan Society for Oriental Medicines (JSOM) Member Doctors.	5 th International Symposium for Japanese Kampo Medicine (ISJKM) (Hann. Münden, Germany)	2019年9月6-7日	ポスター発表
桃仁 PERSICAE SEMEN の潜在的資源探査: 育種シーズの可能性	日本生薬学会第66回年会(東京)	2019年9月22日-23日	口頭発表

タイトル	場所	年月日	備考
大和芍薬の篤農技術：伝統的加工環境の数値化と試作栽培検証	日本生薬学会第66回年会（東京）	2019年9月22日 -23日	ポスター発表
緒方洪庵の医療教育「適々齋薬室膠柱方」写本の調査検証	日本薬史学会2019年会（岐阜）	2019年10月26日	ポスター発表
森野旧薬園伝来史料の保全と公開：森野家文書に埋蔵される学術情報の学際的活用	日本薬史学会2019年会（岐阜）	2019年10月26日	口頭発表
大分県竹田市のサフラン栽培：栽培支援になく伝統的栽培法と栽培環境の検証	薬用植物栽培研究会第2回研究総会（高知）	2019年11月23日-24日	口頭発表
薬用シヤクヤク栽培における灌水同時施肥が定植後3年目までの生育に及ぼす影響	薬用植物栽培研究会第2回研究総会（高知）	2019年11月23日-24日	ポスター発表
芍薬（PAEONIAE RADIX）の潜在的資源探索：遺伝的背景と花の形質	薬用植物栽培研究会第2回研究総会（高知）	2019年11月23日-24日	ポスター発表
ゲッティンゲン大学植物園の現状調査：Albrecht von Hallerの植物	薬用植物栽培研究会第2回研究総会（高知）	2019年11月23日-24日	ポスター発表
国産柿蒂市場品の生産研究：安定供給に向けた実践モデルの検討	日本薬学会第140年会（京都→誌上開催）	2020年3月25日 -28日	口頭発表→誌上発表
芍薬(PAEONIAE RADIX)の篤農技術発掘：伝統的加工環境の数値化による解析	日本薬学会第140年会（京都→誌上開催）	2020年3月25日 -28日	ポスター発表→誌上発表
医療文化財の非破壊分析の新展開：ミュオンビーム応用の基礎検討	日本薬学会第140年会（京都→誌上開催）	2020年3月25日 -28日	ポスター発表→誌上発表

【共同研究および外部資金獲得状況】

科学研究費補助金およびその他の外部資金

補助金の種類および研究題目	研究代表者	期間	継続 / 新規
農林水産省 委託プロジェクト研究 市場開拓に向けた取組を支える研究開発 「薬用作物の国内生産拡大に向けた技術の開発」	川嶋 浩樹	2016年度-2020年度	継続
公益財団法人 日本食品化学研究振興財団 平成31年度研究助成金「安全・高品質な国産サフラン生産拡大のためのアクションリサーチ：アグリセラピーへの応用と地域健康力の向上」	高浦 佳代子	2019年4月-2020年3月	継続
日本学術振興会 科研費 基盤研究(C)「博物資料利活用のパラダイムシフト：なにわ発・薬業遺産アーカイブ」	高浦 佳代子	2018年4月-2021年3月	継続

【社会貢献、管理運営等】

講演会、サイエンスカフェ、ミュージアムレクチャーなど

講演名・題目	場所	主催者名	年月日
医療文化財の研究	豊中市中央公民館	豊中市中央公民館	2019年4月20日

団体見学の説明等

団体名（人数）	説明日	備考
平成31年度 新入職員研修（27人）	2019年4月16日	
株式会社 ツムラ 医薬営業本部 生薬本部（2人）	2019年5月17日	
自然あそび工房（15人）	2019年7月12日	
大阪府立八尾高等学校（52人）	2019年7月12日	
昭和薬科大学附属高等学校（30人）	2019年8月21日	
中国・中国薬科大学（8人）	2019年11月25日	JST さくらサイエンスプランによる 訪問・英語解説
タイ・スワンクラブ高校（13人）	2019年12月6日	JST さくらサイエンスプランによる 訪問・英語解説

学内の各種委員会等

委員会あるいはWG名	就任年月	退任年月	継続/新規
総合学術博物館・グローバル教育委員会	2018年4月		継続

【教育活動】

担当授業

学期・学部・学年	科目名
1 学期・共通教育・専門基礎科目[理学部・1 年生]	化学基礎論 BI
1 学期・共通教育・専門基礎科目[理学部・1 年生]	化学基礎論 BII
通年・理学部化学科・4 年生	化学特別研究
通年・理学部化学科・4 年生	化学文献調査
1 学期・理学研究科博士前期課程（化）	核磁気共鳴分光学(I)（共担）
1 学期・理学研究科博士前期課程（化）	核磁気共鳴分光学半期セミナー(I)（共担）
1 学期・理学研究科博士前期課程（化）	核磁気共鳴分光学半期セミナー(II)（共担）
2 学期・理学研究科博士前期課程（化）	核磁気共鳴分光学半期セミナー(I)（共担）
2 学期・理学研究科博士前期課程（化）	核磁気共鳴分光学半期セミナー(II)（共担）
通年・理学研究科博士後期課程（化）	核磁気共鳴分光学特別セミナーI
通年・理学研究科博士後期課程（化）	核磁気共鳴分光学特別セミナーII
通年・理学研究科博士後期課程（化）	核磁気共鳴分光学特別セミナーIII
大学院横断科目・学際融合教育科目（集中）	実践ミュージアムコミュニケーション学（共担）
通年・理学部化学科・4 年生	化学特別研究

学生指導

学生数（留学生含む）	留学生数	共同・分担した指導教官人数
1 名（理学部化学科）	0	1

学位論文審査等（修士論文・卒業論文省略）

学位申請者および論文名	主査・副査の別
Gong Wanyun（理学研究科化学専攻） Single Nanoparticle Tracking at the Liquid/Liquid Interface by Total Internal Reflection Fluorescence Microscope （全内部反射蛍光顕微法を用いた液／液界面における単一ナノ粒子の動きの追跡）	副査
鬼塚 裕也（理学研究科化学専攻） 表面・界面物性の制御と極低反射化結晶シリコン太陽電池の特性向上	副査
Gong Wanyun（理学研究科化学専攻） Single Nanoparticle Tracking at the Liquid/Liquid Interface by Total Internal Reflection Fluorescence Microscope （全内部反射蛍光顕微法を用いた液／液界面における単一ナノ粒子の動きの追跡）	副査
鬼塚 裕也（理学研究科化学専攻） 表面・界面物性の制御と極低反射化結晶シリコン太陽電池の特性向上	副査

【研究活動】

学術論文

論文名	著者名	雑誌	号・巻・頁	発行年月
The first evaluation of the dynamic hydration number of hydrated ions confined in mesoporous silica MCM-41	Ryota Ogura, Takahiro Ueda*	Adsorption	25 (6), 1057-1066	2019. 08
Dynamic Gate Opening of ZIF-8 for Bulky Molecule Adsorption as Studied by Vapor Adsorption Measurements and Computational Approach	Takahiro Ueda*, Tatsuya Yamatani, and Mitsutaka Okumura	J. Phys. Chem. C	123, 27542-27553	2019. 11

著書

論文名	著者名	雑誌	号・巻・頁	発行年月
『PCP/MOF および各種多孔質材料の 作り方, 使い方, 評価解析』 第5章 第4節 ナノ空間に閉じ込められた分子集合体の固体 NMR 分光法による動的構造解析	上田貴洋	技術情報協会	pp. 531-541 (全 639 頁)	2019. 10

研究 (学会) 発表など

タイトル	場所	年月日	備考
NMR Study of the Dynamic Structure of Hydrated Ions Formed in Mesoporous Silica MCM-41	Japan adsorption 2019, 千葉・幕張	2019. 5. 21-23	ポスター
Kinetic Study of Adsorption Behavior of ZIF-8 for Bulky Molecules	13th International Conference on Fundamentals of Adsorption (#13FOA), Cairns, Australia	2019. 5. 26-31	ポスター
In-situ X-ray Diffraction Evidenced GO/H ₂ O Concerted Nanoporosity	13th International Conference on Fundamentals of Adsorption (#13FOA), Cairns, Australia	2019. 5. 26-31	口頭
Transient dynamic pore expansion in ZIF-8 -The unique mechanism of adsorption for bulky molecules-	Okinawa Colloids 2019, 沖縄・名護	2019. 11. 3-8	口頭
メソ孔内に生成した水和イオンのNMR法による動的構造評価	第33回日本吸着学会研究発表会、愛知県名古屋市	2019. 11. 14-15	口頭
1次元ナノチャンネルに取り込まれた水分子集団のテラヘルツ分光スペクトル	第33回日本吸着学会研究発表会、愛知県名古屋市	2019. 11. 14-15	ポスター

研究（学会）発表の世話人、座長、受賞審査など

学会・研究集会など（場所）	年月日	件数	備考
Japan adsorption 2019（千葉・幕張）	2019年5月21-23日	1件（座長）	招待
Okinawa Colloids 2019（沖縄・名護）	2019年11月16-19日	3件（座長）	

【共同研究および外部資金獲得状況】

寄付

寄付名	寄付者名	金額	受入年月	継続/新規
社学術相談必要経費	LG Japan Lab 株式会	55万円	2018年7月12日	継続

【社会貢献、管理運営等】

講演会、サイエンスカフェ、ミュージアムレクチャーなど

講演名・題目	場所	主催者名	年月日
大阪大学理学部化学科新入生研修・大阪大学総合学術博物館の教育・研究・社会貢献	理学J棟2階 南部陽一郎ホール	大阪大学理学部化学科	2019年4月13日
第65回豊中市立小中学生理科展表彰式 理科研究に関する講演	豊中市教育センター	豊中市教育センター	2019年11月16日

団体見学の説明等

団体名（人数）	説明日	備考
大阪大学理学部化学科（新入生研修）（78名）	2019年4月13日	

相談

相談分類	開始年月	継続/新規
社学術相談必要経費	LG Japan Lab 株式会	継続

学内の各種委員等

委員会あるいはWG名	就任年月	退任年月	継続/新規
図書館委員会委員	2012年4月		継続
総合図書館図書選定小委員会委員	2012年4月		継続
計画・評価委員会 委員	2014年4月		継続
21世紀懐徳堂運営委員会 副委員長	2015年11月	2019年8月26日	継続
大阪大学創立90周年・大阪外国語大学創立100周年記念事業 記念出版・展示実行委員会委員	2017年1月		継続
大阪大学共創機構社会学共創本部副本部長	2018年1月	2019年8月26日	継続
大阪大学共創機構社会学共創本部 インターウィーブ共創部門長	2018年1月	2019年8月26日	継続

学外各種委員等（地方公共団体や学協会など）

委員会名	役職	期間	継続/新規
日本吸着学会 運営委員会	運営委員長	2019年4月～	継続
日本吸着学会	理事（企画担当）	2019年4月～	新規
豊中市学校教育審議会委員	副委員長	2019年4月～	継続
大阪大学生協	教職員理事	2014年5月～	継続
大阪大学生協	教職員常任理事	2017年5月～	新規

【教育活動】

担当授業

学期・学部・学年	科目名
春学期・工・1	化学基礎論 AI
夏学期・工・1	化学基礎論 AII
春～夏学期・歯、基礎工・2	化学実験
春～夏学期・理・M1	核磁気共鳴分光学(I)
夏学期・理・M1	核磁気共鳴分光学(I)
冬学期・医・歯・基礎工・2	基礎化学実験

学外での教育活動（集中講義等）

授業科目名	機関名	期間
大学ミュージアムで学ぶ歴史と文化	関西大学	6月1日

【社会貢献、管理運営等】

団体見学の説明等

団体名（人数）	説明日	備考
阪大工学部 溶接（20名）	4月15日	
上宮高校（120名）	7月16日	
宝塚北高校（20名）	10月23日	
奈良学園登美ヶ丘中学校（50名）	11月12日	
三郷町人権教育推進協議会（50名）	11月14日	

学内の各種委員等

委員会あるいはWG名	就任年月	退任年月	継続 / 新規
ODINS 運用部会 部局ネットワーク担当者	2002年4月1日		継続

【教育活動】

担当授業

学期・学部・学年	科目名
春夏学期・歯学部・2年 基礎工学部・2年	共通教育科目 化学実験（共担）
夏学期・理学部・2年	共通教育科目 自然科学実験2（化学）（共担）
夏学期・理学部・1年	共通教育科目 基礎化学実験（共担）
秋学期・工学部・1年	共通教育科目 化学基礎論 BI
冬学期・工学部・1年	共通教育科目 化学基礎論 BII
1学期・理学研究科・博士課程前期	核磁気共鳴分光学（共担）

【社会貢献、管理運営等】

講演会、サイエンスカフェ、ミュージアムレクチャーなど

講演名・題目	場所	主催者名	年月日
2019年度小学生サイエンススクール 「-196℃に冷やして調べる分子の動き」	シグマホール セミナー室	千里ライフサイエンス 振興財団	2019/8/16

団体見学の説明等

団体名（人数）	説明日	備考
大阪大学体育会自動車部昭和44年卒業OB50周年記念同期会（10）	2019/6/17	
近畿大学附属高等学校（80）	2019/7/18	
日本画像学会 電子写真技術部会（10）	2019/10/11	
電子工学科8期生（昭和44年学部卒）有志（19）	2019/10/25	
基礎工学部材料工学科4期生関東同窓会（8）	2019/11/13	

学内の各種委員会等

委員会あるいはWG名	就任年月	退任年月	継続/新規
全学教育推進機構 専門基礎教育部門 化学部会	2018/04		継続
豊中地区安全衛生委員会	2015/04		継続
総合学術博物館湯川記念室	2015/04		継続

【教育活動】

担当授業

学期・学部・学年	科目名
春夏・全学教育推進機構	東洋美術史
春夏・全学教育推進機構	博物館体験コース
秋冬・文学部	日本美術史講義
秋冬・博士前期課程	日本美術史講義
秋冬・博士前期課程	世界のなかの日本美術
秋冬・博士後期課程	日本美術特殊講義
春夏・文学部	日本美術史演習
秋冬・文学部	日本美術史演習
春夏・博士前期課程	日本美術史演習
秋冬・博士前期課程	日本美術史演習
春夏・博士後期課程	日本美術史特殊演習
秋冬・博士後期課程	日本美術史特殊演習
通年・文学部	日本美術史演習
通年・博士前期課程	日本美術史演習
通年・博士後期課程	日本美術史特殊演習
春夏・文学部	東洋美術史演習
秋冬・文学部	東洋美術史演習
通年・文学部	博物館学(学内実習)
通年・文学部	芸術計画論演習
春夏・博士前期課程	東洋美術史修士論文作成演習
秋冬・博士前期課程	東洋美術史修士論文作成演習
春夏・博士後期課程	東洋美術史博士論文作成演習
秋冬・博士後期課程	東洋美術史博士論文作成演習
通年・修士課程	芸術計画論演習
秋・工学研究科地球総合工学科・学部1年	学外研修
社会人・学生	徴しの上を鳥が飛ぶー文学研究科におけるアート・プラクシス 人材育成プログラム

学生指導

学生数(留学生含む)	留学生数	共同・分担した指導教官人数
15名	2名	3名

学位論文審査等（修士論文・卒業論文省略）

学位申請者および論文名	主査・副査の別
BANG Mina (バン ミナ) 美術史学「在朝鮮日本人画家・加藤松林人」	副査
林下 真奈 「片岡球子の「面構」シリーズと戦後の「日本画」	主査
山本 千夏 「歌川国貞の背景描写について―揃物「詠織当世島」を中心に―	主査
小原 由子 「河鍋暁斎筆「花鳥図」（東京国立博物館所蔵）をめぐって」	主査
市川 萌 『諸国瀧廻り』と『芥子園画伝』―北斎の中国画学習をめぐって―	副査
片岡 寛杜 「長谷川等伯の晩年期の様式について」	副査
見学 知都世 「蓮華王院本堂二十八部衆像について」	副査
村上 香澄 「狗子図について―応挙・芦雪を中心に―	副査

学外での教育活動（集中講義等）

授業科目名	機関名	期間
古美術研究旅行	愛知県立芸術大学	2019年10月
大阪学	帝塚山学院大学	2019年4月5月
美術館論	放送大学	2019年12月
古美術研究旅行	広島市立大学	2019年11月

【研究活動】

学術論文

論文名	著者名	雑誌	号・巻・頁	発行年月
「平林静斎『吟餘清興』一卷 （大阪大学総合学術博物館所蔵）」	橋爪節也	「美術フォーラム 21」	第40号 4～9頁	2019年 11月30日
「大大阪と画家たち 第四回 前田藤四郎 と「昭和エピナール」の版画世界」	橋爪節也	『やそしま』関西・大阪 21世紀協会、上方文化芸 能運営委員会	第13号 76～129頁	2019年
「『白い巨塔』と戦後復興から高度成長期 の大阪の都市イメージ」	橋爪節也	大阪商業大学商業史博物 館紀要		2020年 3月31日

論文名	著者名	雑誌	号・巻・頁	発行年月
「水の回廊から空堀街あるきへー地域文化の発信・顕彰とメディアリテラシー」	橋爪節也	大阪大学社会学共創叢書 3 永田靖・山崎達哉編『記憶の劇場 大阪大学総合学術博物館の試み』大阪大学出版会	15 頁～51 頁	2020 年 3 月 31 日

著書

著書名	著者名	出版社	頁数	発行年月
『木村兼葭堂全集』第 2 巻 本草・博物学（辰馬考古資料館蔵）	水田紀久・橋爪節也 監修	藝華書院	監修、 執筆 1～2 頁、 88～130 頁	2019 年 12 月
『はたらく浮世絵 大日本物産図会』	橋爪節也・曾田めぐみ 監修	青幻舎	全 256 頁	2019 年 12 月
『橋爪節也の大阪百景』	橋爪節也	創元社	全 302 頁	2020 年 2 月

その他の執筆活動（総説、評論、辞典項目、各種記事など）

タイトル等	報道機関名	報道年月
あの日・あの味 200 「グローバルな関東煮」	「望星」2019 年 7 月号	2019 年 7 月
「大大阪って何だ？」	仲野徹『仲野教授の そろそろ大阪の話をしよう』ちいさいミシマ社 273～297 頁	2019 年 7 月 20 日
巻頭言（横光利一『時計』と寺山修司『書を捨てよ、町へ出よう』）	「大阪大学書評対決 ブックコレクション 教員 VS 学生団体」 巻頭言、大阪大学生活協同組合 2～3 頁	2019 年 10 月 30 日
「大阪心齋橋専門商店案内」	「大阪春秋」第 178 号 四條畷 —サンタクロースと出会うまち— 104 頁	2019 年 4 月 10 日
「大阪心齋橋専門商店案内」付記	「大阪春秋」第 176 号—お父さんはお人好し—長沖一の作品世界—	2019 年 11 月 20 日
「連載も 100 回となりました」 「おおさか KEY わーど」第 100 回	「いちょう並木」No.432、表紙と 3 頁、大阪市生涯学習センター編 集、大阪市教育委員会発行	2019 年 4 月 10 日

タイトル等	報道機関名	報道年月
「あなたもフェルメールになれます「モリメール」 森村泰晶の美術館」「おおさかKEYワード」第101回	「いちよう並木」No.433、大阪市生涯学習センター編集、大阪市教育委員会発行 表紙と3頁	2019年5月10日
「青春の道頓堀 若き芸術家たちのカフェーでの出会い」 「おおさかKEYワード」第102回	「いちよう並木」No.434、大阪市生涯学習センター編集、大阪市教育委員会発行 表紙と3頁	2019年6月10日
「浪花百景の謎がわかった 揃いのゆかたの模様の意味は？」 「おおさかKEYワード」第103回	「いちよう並木」No.435、大阪市生涯学習センター編集、大阪市教育委員会発行 表紙と3頁	2019年7月10日
「雲の峰は大阪焼ける煙かな 子どもたちの笑顔が秘めたもの」 「おおさかKEYワード」第104回	「いちよう並木」No.436、大阪市生涯学習センター編集、大阪市教育委員会発行 表紙と3頁	2019年8月10日
「水都の祭りにアジアを思う」 「おおさかKEYワード」第105回	「いちよう並木」No.437、大阪市生涯学習センター編集、大阪市教育委員会発行 表紙と3頁	2019年9月10日
「森君はどこに行った？ 名月と頼春水の大阪」 「おおさかKEYワード」第106回	「いちよう並木」No.438、大阪市生涯学習センター編集、大阪市教育委員会発行 表紙と3頁	2019年10月10日
「佐伯敬三の“百面相”」 「おおさかKEYワード」第107回	「いちよう並木」No.439、大阪市生涯学習センター編集、大阪市教育委員会発行 表紙と3頁	2019年11月10日
「“巨石壺庭” ミレイの庭 尖端の造形美」 「おおさかKEYワード」第108回	「いちよう並木」No.440、大阪市生涯学習センター編集、大阪市教育委員会発行 表紙と3頁	2019年12月10日
「鍋井克之『大阪ざらい物語』—実は大阪大好き」 「おおさかKEYワード」第109回	「いちよう並木」No.411、大阪市生涯学習センター編集、大阪市教育委員会発行 表紙と3頁	2020年2月10日
「EXPO'70 大阪万博から五〇年」 「おおさかKEYワード」第110回	「いちよう並木」No.412、大阪市生涯学習センター編集、大阪市教育委員会発行 表紙と3頁	2020年3月10日
「絵を飾る人のキモチ」第20回『『白い巨塔』における絵の飾り方 ～教授のお宅拝見』いきかたのカタチ	いきかたのカタチ 積水ハウス株式会社 住ムフムラボ（うめきたグランフロント大阪 ナレッジキャピタル） http://www.sumufumulab.jp/sumufumulab/	2019年6月27日
「絵を飾る人のキモチ」第21回「モダニズム心齋橋ふたたび“大大阪時代”へのタイムマシーン・大丸心齋橋店」	いきかたのカタチ 住ムフムラボ	2019年9月26日

タイトル等	報道機関名	報道年月
「絵を飾る人のキモチ」第22回「空飛ぶ船と山水画-絵には入り口がある」	いきかたのカタチ 住ムフムラボ	2019年12月26日
「絵を飾る人のキモチ」第23回「創業100年、河内洋画材料店の“カワチ-ガタ”は、魔法の正方形」	いきかたのカタチ 住ムフムラボ	2020年3月26日
「なにわの画伯 成瀬國晴氏に聞く 28 ジャケットを描く CD・レコード・テープ」聞き手 橋爪節也+古川武志/構成 長山公一	『大阪春秋』第174号戦国私部城と星のまち交野-新田開発と新田会所-、新風書房	2019年5月
「なにわの画伯 成瀬國晴氏に聞く 30 おおさかの風景-「いま」を描く-」聞き手 橋爪節也+古川武志/構成 長山公一	『大阪春秋』第176号-お父さんはお人好し-長沖-の作品世界-、新風書房	2019年11月
「なにわの画伯 成瀬國晴氏に聞く 31 」聞き手 橋爪節也+古川武志/構成 長山公一	『大阪春秋』第177号-世界遺産登録記念 おおさかの古墳と古墳群-	2020年1月
美の十選 なにわの街角 商都・大阪のモダン文化 (1)「大阪案内」	日本経済新聞	2020年2月3日
美の十選 なにわの街角 商都・大阪のモダン文化 (2) 島成園「祭りの装い」	日本経済新聞	2020年2月4日
美の十選 なにわの街角 商都・大阪のモダン文化 (3) 堂本印象「いの字絵本 恋の都大阪の巻」	日本経済新聞	2020年2月5日
美の十選 なにわの街角 商都・大阪のモダン文化 (4) 岡本一平「大大阪君の似顔の図」	日本経済新聞	2020年2月6日
美の十選 なにわの街角 商都・大阪のモダン文化 (5) 小出檜重「街景」	日本経済新聞	2020年2月7日
美の十選 なにわの街角 商都・大阪のモダン文化 (6)「梅田-大丸地下鉄開通記念のペーパークラフト」	日本経済新聞	2020年2月11日
美の十選 なにわの街角 商都・大阪のモダン文化 (7) 木谷千種「浄瑠璃舟」	日本経済新聞	2020年2月12日
美の十選 なにわの街角 商都・大阪のモダン文化 (8) 島野三秋「漆螺鈿装飾扉」	日本経済新聞	2020年2月17日
美の十選 なにわの街角 商都・大阪のモダン文化 (9) 北野恒富「いとさんこいさん」	日本経済新聞	2020年2月3日
美の十選 なにわの街角 商都・大阪のモダン文化 (10) 前田藤四郎「香里風景」	日本経済新聞	2020年2月18日
「美人画ときもの/絵をどう読み解くか、北野恒富の場合」	シンポジウム「きもの意匠の近代化」報告、武庫川女子大学附属ミュージアム設置準備室	2020年2月

学術講演会など

講演タイトル	場所	年月日	備考
ワールド・アート・デー記念講演「ワールド・アート・デーと大阪ミナミの芸術家たち—小出楯重、北野恒富から、森村泰昌まで」	大大阪藝術劇場	2019年 4月14日	主催・日本美術家連盟近畿地区
はびきの市民大学 万博と大阪・関西「EXP070 と大阪のアート」	羽曳野市立生活文化情報センター (LICはびきの)	2019年 6月15日	主催 はびきの市民大学
講演「木村兼葭堂の世界」	大阪市立生涯学習センター	2019年 8月24日	主催 いちよう大学同窓会

研究（学会）発表など

タイトル	場所	年月日	備考
第14回日本博物科学会発表「大阪大学総合学術博物館の鉱物標本とその活用」	秋田大学	6月28日	石橋隆、伊藤謙ほか（共同研究発表者として） 主催 日本博物科学会
公開シンポジウム・パネリスト「博学連携事業の展望と課題—多様な所蔵資料とその可能性—」	大阪歴史博物館講堂	9月28日	【主催】かんさい・大学ミュージアム連携実行委員会 【共催】大阪商業大学、大阪歴史博物館。平成31年度 文化庁 地域と共働した博物館創造活動支援事業「ようこそ大学ミュージアムへ—つなぐ・つなげる・つながる—」
講演「船場の画家と大阪の美意識」	大阪大学会館アセンブリーホール	2019年 10月5日	シンポジウム 大大阪モダニズム再考「塩野家コレクションと船場の美意識」
講演「美人画ときもの／絵をどう読み解くか、北野恒富の場合」とパネルディスカッション	武庫川女子大学 学術研究交流館	2019年 10月23日	2019年秋季展覧会「ハレの日のきもの—近代の裾文様—」関連シンポジウム「きもの意匠の近代化」

報道

タイトル	場所	年月日	備考
もっと関西 大阪万博に感銘 美術の道 大阪大学教授 橋爪節也さん(私のかんさい) 再誘致は芸術振興目線で	日本経済新聞	2019年 9月6日	

タイトル	場所	年月日	備考
「中村壺太郎のうえほんまち夜カフェ ～知のおおさか塾～」	MBS 毎日放送・ ラジオ	2019 年 11 月	4 週連続放送 1「大大阪って何?」、2「大大阪時代の 文化」、3「橋爪節也さんについて、“大 大阪観光”とは?」、4「大大阪の終焉と 大阪の未来」
ありがとう浜村淳です	MBS 毎日放送・ ラジオ	2020 年 3 月	
ビーバップ!ハイヒール	朝日放送テレビ	2020 年 3 月	

【共同研究および外部資金獲得状況】

科学研究費補助金およびその他の外部資金

補助金の種類および研究題目	研究代表者	期間	継続/新規
科学研究費補助金 基盤研究(B) 木村兼葭堂“知” のネットワークの解析—絵画・本草学資料から探る 歴史文化の再構成	橋爪節也	2017～2019 年度	継続

【社会貢献、管理運営等】

講演会、サイエンスカフェ、ミュージアムレクチャーなど

講演名・題目	場所	主催者名	年月日
展示と解説「こたつ会議 未来の OMOSIRO を考 える みんなの 2025 年大阪・関西万博」	グランフロント大阪 北館 ナレッジプラザ	【主催】一般社団法人ナ レッジキャピタル、株式 会社 KMO 【後援】一般社団法人 2025 年日本国際博覧会協 会	2019 年 9 月 21 日
北野恒富筆塚建立 60 周年記念事業・講演会「北野 恒富の芸術と筆塚」	高津宮	高津宮	2019 年 6 月 2 日
“大大阪モダニズム”とアトー大大阪時代を読 み直すことで未来を展望する	銭屋ホール	銭屋塾 おおさか講座	2019 年 12 月

学内の各種委員等

委員会あるいはWG名	就任年月	退任年月	継続/新規
大阪大学公開講座運営委員			継続
大阪大学アーカイブス運営委員			継続
豊中地区研究交流会委員	平成 29 年		継続

学外各種委員等（地方公共団体や学協会など）

委員会名	役職	期間	継続/新規
大正イマジュリイ学会	常任委員		継続
一般財団法人懐徳堂	評議員		継続
大阪市市民表彰審査会	臨時委員	各年毎に就任	継続
八尾市今東光記念館	展示アドバイザー		継続
NPO 大阪美術市民会議	理事		継続
大阪市中心公会堂	文化財保護アドバイザー		継続
田辺市立美術館協議会	協議会委員	2017 年～	新規
吹田市立博物館協議会	協議会委員		継続
財団法人・天門美術館評議委員会	評議員	2016 年～	継続

【教育活動】

担当授業

学期・学部・学年	科目名
通年・文学部・2、3、4年	博物館学（学内実習）
春～夏学期・文学部・文学研究科・2、3、4年	演劇学講義・演劇学特殊講義
博士前期課程・博士前期課程	芸術環境論講義

学外での教育活動（集中講義等）

授業科目名	機関名	期間
映画の歴史	大手前大学	2019年9月～2020年3月

【研究活動】

著書

著書名	著者名	出版社	頁数	発行年月
大阪大学社会学共創叢書3 記憶の劇場 大阪大学総合学術博物館の試み	永田靖, 山崎達哉 編	大阪大学出版会	248 ページ	2020年3月

【共同研究および外部資金獲得状況】

科学研究費補助金およびその他の外部資金

補助金の種類および研究題目	研究代表者	期間	継続/新規
科学研究費補助金 基盤研究 (C) 「人形資料に基づく乙女文楽の芸能史的発展研究」	林公子	2019年度～ 2021年度	新規

【教育活動】

担当授業

学期・学部・学年	科目名
通年・文学部・3回生以上	博物館学(学内実習)
1回生	基礎セミナー「博物館体験コース」

【研究活動】

学術論文

論文名	著者名	雑誌	号・巻・頁	発行年月
An SERS analytical protocol for characterizing native Japanese plant extracts	K. ITO, Brunetto G. Brunetti, et.al	The Journal of Raman Spectroscopy	In Press	February 2020

著書

著書名	著者名	出版社	頁数	発行年月
はたらく浮世絵 大日本物産図会	伊藤謙、橋爪節也ほか	青幻舎	256	2019年12月

【共同研究および外部資金獲得状況】

科学研究費補助金およびその他の外部資金

補助金の種類および研究題目	研究代表者	期間	継続/新規
錦からみる学際融合研究 - 織物のマルチ・ディメンショナル・研究の確立 -	代表	2017-2020	継続
木村兼葭堂“知”のネットワークの解析－絵画・本草学資料から探る歴史文化の再構成－	分担	2017-2020	継続
カンキツの分類と種の起源・伝播の解明-田中標本の解析と人文・社会学的調査-	分担	2016-2019	継続

12. 資料

掲載項目

- ・ 2019 年度の主な活動一覧
- ・ 入館者数及びアンケート集計結果一覧
- ・ 団体見学一覧
- ・ 関連記事一覧
- ・ 寄贈図書一覧
- ・ 館内配置図

2019年度の主な活動一覧

期 間	主 な 活 動
2019年	
4月27日	「第21回植物探検隊@春の待兼山を訪ねて」【1回目】が開催された。(主催：大阪大学21世紀懐徳堂 協力：大阪大学社会学共創本部 / 総合学術博物館)
4月26日～7月20日	大阪大学総合学術博物館 第22回企画展「四國五郎展～シベリアからヒロシマへ～」を開催した。(主催：大阪大学共創機構社会学共創本部 / 総合学術博物館、豊中市 共催：豊中市市民ホール指定管理者、大阪大学大学院文学研究科 協力：かんさい・大学ミュージアム連携、北大阪ミュージアム・ネットワーク、大阪大学21世紀懐徳堂 会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
5月19日	企画展関連イベント 国際シンポジウム「詩画人 四國五郎の歩んだ道～シベリアからヒロシマへ～」を開催した。(登壇者：オーバリン大学 教授 アン・シェリフ氏、広島大学准教授 川口 隆行氏、原爆の凶丸木美術館学芸員 岡村 幸宜氏、近現代史研究者 小沢 節子氏 会場：大阪大学会館アセンブリー・ホール)
5月11日	「第21回植物探検隊@春の待兼山を訪ねて」【2回目】が開催された。(主催：大阪大学21世紀懐徳堂 協力：大阪大学社会学共創本部 / 総合学術博物館)
6月22日	企画展関連イベント 講演と朗読 四國五郎と『絵本 おこりじぞう』を開催した。講演：『四國五郎と峠三吉』 大阪大学文学研究科 教授 宇野田 尚哉氏 朗読：『おこりじぞう』 俳優 木内 みどり氏 対談：『四國五郎を語る』俳優 木内 みどり氏 × 四國五郎・長男 四國 光氏(会場：豊中市立文化芸術センター多目的室)
8月21日	2019年体験！こどもミュージアム@大阪大学「浮沈子 時計反応(ヨウ素液)」を開催した。(主催：大阪大学共創機構社会学共創本部 / 総合学術博物館、株式会社新興出版社啓林館 後援：豊中市教育委員会、池田市教育委員会、箕面市教育委員会、大阪市教育委員会 協力：大阪大学21世紀懐徳堂 講師：箕面自由学園中学校・教育顧問 十河 秀敏氏 会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
8月22日	2019年体験！こどもミュージアム@大阪大学「シロクロワールド～水墨×うちわをつくらう！～」を開催した。(主催：大阪大学社会学共創本部 / 総合学術博物館、株式会社新興出版社啓林館 後援：豊中市教育委員会、池田市教育委員会、箕面市教育委員会、大阪市教育委員会 協力：大阪大学21世紀懐徳堂 講師：大阪大学文学研究科 文化表現論専攻 博士前期課程1年 日本・東洋美術史研究室 都築 茉莉氏、佐藤 優氏 会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
8月23日	2019年体験！こどもミュージアム@大阪大学「簡単リニアモーターカーを作ろう」を開催した。(主催：大阪大学社会学共創本部 / 総合学術博物館、株式会社新興出版社啓林館 後援：豊中市教育委員会、池田市教育委員会、箕面市教育委員会、大阪市教育委員会 協力：大阪大学21世紀懐徳堂 講師：大阪大学社会学共創本部 / 総合学術博物館 准教授 豊田 二郎 会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
8月31日～9月7日	大阪大学美術部 夏部展2019「園～ここは現実か?～」を開催した。(主催：大阪大学美術部 共催：大阪大学社会学共創本部 / 総合学術博物館 会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
9月24日～10月18日	「衣と生活 Kimono and Life」かんさい・大学ミュージアム連携プロジェクト『ゴージャスとモダニズム - 船場の美意識探訪、塩野家コレクションとその周辺 -』ミニ展示を開催した。(主催：大阪大学社会学共創本部 / 総合学術博物館、武庫川女子大学附属総合ミュージアム設置準備室 共催：かんさい・大学ミュージアム連携実行委員会 協力：大阪大学21世紀懐徳堂)
10月5日	シンポジウム 大大阪モダニズム再考を開催した。プログラムタイトル：「塩野家コレクションと船場の美意識」1.「船場のくらしについて思うこと」大阪天満宮文化研究所 / 船場大阪を語る会 顧問 近江 晴子氏、2.「モダン大阪のおもかげ」地方独立行政法人大阪市博物館機構 学芸員 船越 幹央氏、3.「塩野家コレクションとその周辺」武庫川女子大学名誉教授 / 附属総合ミュージアム設置準備室長 横川 公子氏、4.「船場の画家と美意識」大阪大学共創機構社会学共創本部 / 総合学術博物館 教授 橋爪 節也 会場：大阪大学アセンブリー・ホール)

期 間	主 な 活 動
10月5日	「第22回植物探検隊@秋の待兼山を訪ねて」【1回目】が開催された。(主催：大阪大学21世紀懐徳堂 協力：大阪大学総合学術博物館)
10月19日	「第22回植物探検隊@秋の待兼山を訪ねて」【2回目】が開催された。(主催：大阪大学21世紀懐徳堂 協力：大阪大学総合学術博物館)
10月25日～12月26日	大阪大学総合学術博物館 第13回特別展「大阪が生んだ稀代の経営者 佐治敬三 “百面相”」を開催した。(主催：大阪大学共創機構社会学共創本部／総合学術博物館／適塾記念センター 共催：大阪大学理学研究科化学専攻 協力：尚醸会、大阪大学21世紀懐徳堂 特別協力：サントリーホールディングス(株) 会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
11月2日	大阪大学総合学術博物館 ミュージアム・レクチャー「佐治敬三と有機化学」を開催した。(講師：大阪大学大学院理学研究科 教授 深瀬 浩一氏 会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
11月9日	大阪大学総合学術博物館・啓林館コラボレーション企画「2019～繋げる・拓げる～わくわく学習教室 with Osaka University」を開催した。(主催：株式会社新興出版社啓林館、大阪大学共創機構社会学共創本部／大阪大学総合学術博物館 コース①「トンボの大冒険～プログラミングに必要な考え方を体験しよう～」講師：大阪青山大学 健康科学部子ども教育学科 教授 萩原 憲二氏 コース②「考古学者になってみよう！」講師：大阪大学大学院文学研究科 助教 上田 直弥氏 会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
11月14日	大阪大学総合学術博物館 スペシャルトーク+ワークショップ「佐治敬三の起業家精神」を開催した。(講師：元サントリー文化財団専務理事 伊木 稔氏 ワークショップ(ビール試飲あり) 会場：大阪大学会館アセンブリーホール)
11月16日	大阪大学総合学術博物館 ミュージアム・レクチャー「大阪大学の醸造学・発酵工学研究とサントリー～ビール酵母の神泡的なお話～」を開催した。(講師：大阪大学大学院工学研究科 教授 大政 健史氏、大阪大学大学院工学研究科 特任研究員 金子 嘉信氏 会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
11月21日～12月10日	2019年度実習展 阪大生がつくった展覧会 2019 ベスト「台詞が見た戦争～森本薫『女の一生』から～」を開催した。(主催：総合学術博物館 協力：大阪大学21世紀懐徳堂 会場：大阪大学会館 歴史展示室)
11月30日～12月7日	大阪大学総合学術博物館・豊中市教育センター コラボレーション企画「豊中市立小中学生理科展サテライト展示」を開催した。(主催：大阪大学共創機構社会学共創本部／総合学術博物館 共催：豊中市教育委員会／豊中市教育センター 協力：大阪大学21世紀懐徳堂 後援：豊中市 会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
12月5日	大阪大学総合学術博物館 スペシャルトーク+ワークショップ「佐治敬三と“ものづくり”」を開催した。(講師：元サントリー生命科学財団理事長 柳 謙三氏 ワークショップ(ビール試飲あり) 会場：大阪大学中之島センター 佐治敬三メモリアルホール)
12月7日	大阪大学総合学術博物館・豊中市教育センター コラボレーション企画「豊中市立小中学生理科展 受賞者による発表会」を開催した。(主催：大阪大学共創機構社会学共創本部／総合学術博物館 共催：豊中市教育委員会／豊中市教育センター 協力：大阪大学21世紀懐徳堂 後援：豊中市 会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
12月14日	大阪大学総合学術博物館 ミュージアム・レクチャー「ジャパニーズ・ウイスキーのレジェンド3/4」を開催した。(講師：大阪大学共創機構社会学共創本部／適塾記念センター 准教授 松永 和浩氏 会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
2020年	
1月18日	サイエンスカフェ@豊中市立中央公民館 No.C-10「フィールド栄養学から考える食と健康」を開催した。(主催：大阪大学共創機構社会学共創本部／総合学術博物館 共催：豊中市立中央公民館 協力：大阪大学21世紀懐徳堂 講師：大阪大学大学院人間科学研究科 講師 木村 友美氏 会場：豊中市立中央公民館)
1月25日	サイエンスカフェ@待兼山 No.152「ブラジルと日本人一海を渡った人々の100年の歴史」を開催した。(主催：大阪大学共創機構社会学共創本部／総合学術博物館 共催：豊中市立中央公民館 協力：大阪大学21世紀懐徳堂 講師：大阪大学大学院人間科学研究科附属未来共創センター 講師 山本 晃輔氏 会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館3階セミナー室)

期 間	主 な 活 動
2月1日	サイエンスカフェ@待兼山 No.153「昆虫の交尾体位の進化」を開催した。(主催：大阪大学共創機構社会学共創本部 / 総合学術博物館 共催：豊中市立中央公民館 協力：大阪大学 21世紀懐徳堂 講師：大阪大学大学院理学研究科 教授 松野 健治氏 会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館3階セミナー室)
2月15日	サイエンスカフェ@豊中市立中央公民館 No.C-11「鉱物(いし)語り～採集(フィールド)から教育(ワークショップ)まで～」を開催した。(主催：大阪大学共創機構社会学共創本部 / 総合学術博物館 共催：豊中市立中央公民館 協力：大阪大学 21世紀懐徳堂 講師：大阪大学総合学術博物館研究員 藤浦 淳氏 会場：豊中市立中央公民館)

入館者数及びアンケート集計結果一覧

・2019年度 大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 入館者数

(単位：人)

第22回特別展

会期：4月26日(金)～7月20日(土)

入館者数：7,822人

第13回特別展

会期：10月25日(金)～12月26日(木)

入館者数：6,455人

休館日：日曜・祝日

ただし、下記の日は開館

5月2日(木)、3日(金)、11月3日(祝)・4日(月)

年末年始休業およびメンテナンス休館：

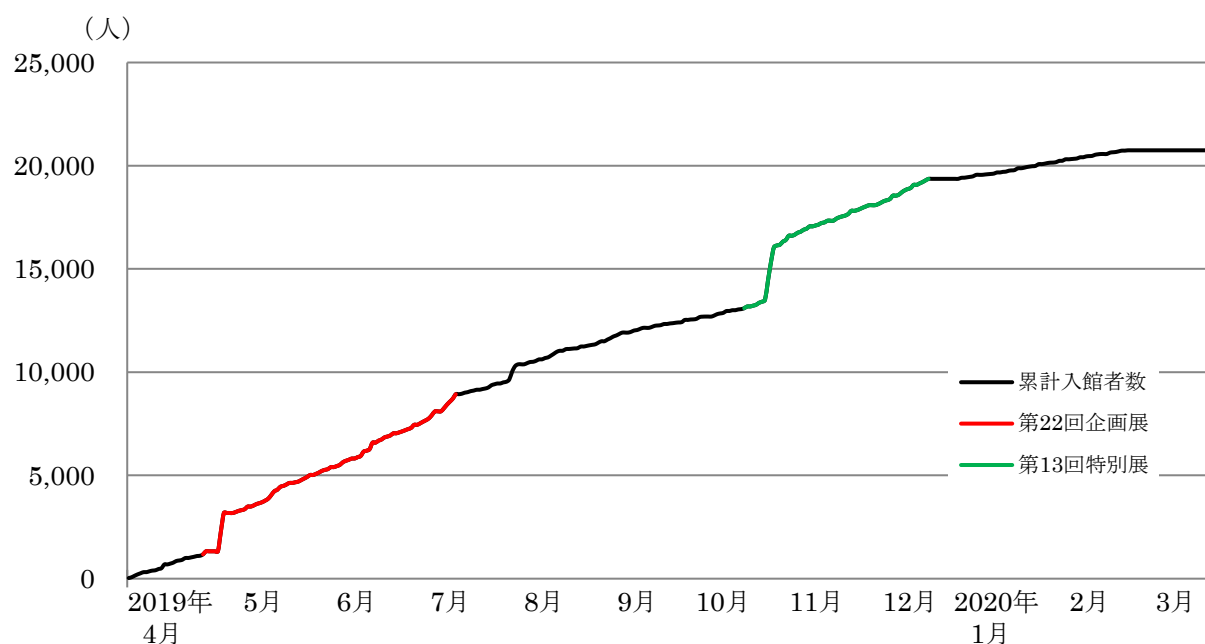
12月27日(金)・28日(土)

～2020年1月4日(土)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

3月3日より臨時休館

	入館者数
2019年4月	1,325
5月	3,597
6月	2,116
7月	2,200
8月	1,980
9月	1,128
10月	1,054
11月	4,402
12月	1,694
2020年1月	626
2月	740
3月	16
合計	20,878



※以下の内容のアンケート（任意記入）を実施した。

大阪大学総合学術博物館－待兼山修学館 アンケート

本日はご来館いただき誠にありがとうございます。今後の参考のため、皆様のご意見・ご感想をお聞かせください。以下の項目の該当する欄にチェック をつけてください。

- 来館日 _____年 _____月 _____日 ()
- 年齢 10代未満 10代 20代 30代 40代
50代 60代 70代以上
- 住所 大阪府 京都府 兵庫県 奈良県 和歌山県 滋賀県
その他 ()
- 学年 小学生未満 小学生 中学生 高校生 大学生・大学院生 (阪大)
大学生・大学院生 (阪大以外) 専門学校生 一般 ()
- 大阪大学総合学術博物館－待兼山修学館についてお尋ねします。

Q1 どのようにして当館をお知りになりましたか？（複数可）

- 通りがかり パンフレット ホームページ ガイドブック等
- 友人・知人より その他 ()

Q2 どの展示ゾーンが面白かったですか？（複数可）

- 1階 玄関ホールのマチカネワニ 世界にはばたく研究者
コンピュータの黎明期
- 2階 大阪大学の系譜 みる科学
- 3階 待兼山に学ぶ
- R階 自然教室
その他 ()

Q3 来館は何回目ですか？

- はじめて 2回目 3回目 4回目以上

Q4 その他ご意見・ご感想などをお書き下さい。

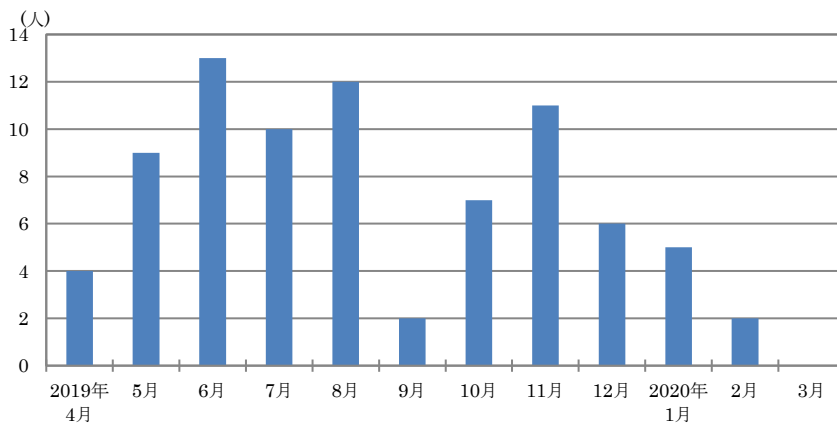
アンケートにお答え頂きありがとうございました。

貴重なご意見・ご感想などを今後の総合学術博物館発展のため、参考とさせていただきます。

大阪大学総合学術博物館

・アンケート集計結果

◆ アンケート回答総数



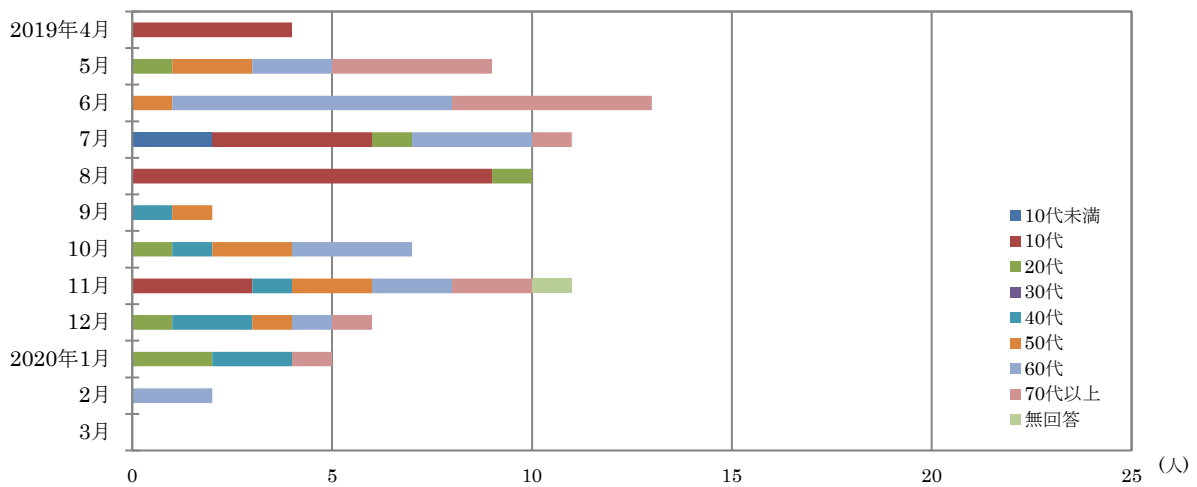
(単位：人)

2019年4月	4
5月	9
6月	13
7月	10
8月	12
9月	2
10月	7
11月	11
12月	6
2020年1月	5
2月	2
3月	0
合計	81

■ 年齢分布

(単位：人)

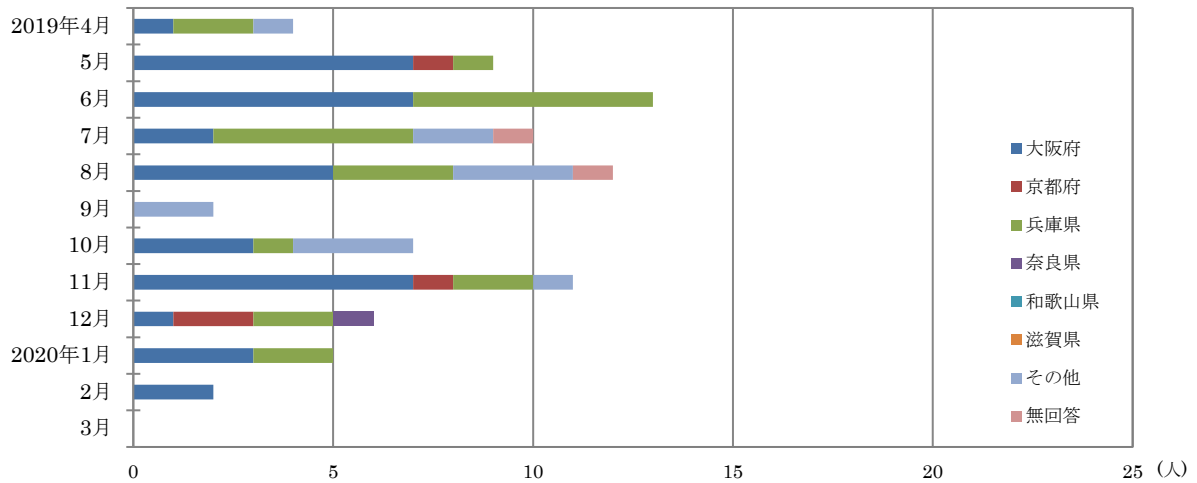
	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
2019年4月	0	4	0	0	0	0	0	0	4
5月	0	0	1	0	0	2	2	0	9
6月	0	0	0	0	0	1	7	0	13
7月	1	4	1	0	0	0	3	0	10
8月	2	9	1	0	0	0	0	0	12
9月	0	0	0	0	1	1	0	0	2
10月	0	0	1	0	1	2	3	0	7
11月	0	3	0	0	1	2	2	1	11
12月	0	0	1	0	2	1	1	1	0
2020年1月	0	0	2	0	2	0	0	1	0
2月	0	0	0	0	0	0	2	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	20	7	0	7	9	20	14	1



■ 住所分布

(単位：人)

	大阪府	京都府	兵庫県	奈良県	和歌山県	滋賀県	その他	無回答
2019年4月	1	0	2	0	0	0	1	0
5月	7	1	1	0	0	0	0	0
6月	7	0	6	0	0	0	0	0
7月	2	0	5	0	0	0	2	1
8月	5	0	3	0	0	0	3	1
9月	0	0	0	0	0	0	2	0
10月	3	0	1	0	0	0	3	0
11月	7	1	2	0	0	0	1	0
12月	1	2	2	1	0	0	0	0
2020年1月	3	0	2	0	0	0	0	0
2月	2	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	38	4	24	1	0	0	12	2



● その他 内訳

◎アンケート記載の内容を可能な限りそのまま転記。

2019年7月
・埼玉県

10月
・徳島県
・沖縄県
・岡山県

8月
・愛媛県
・山口県
・沖縄県

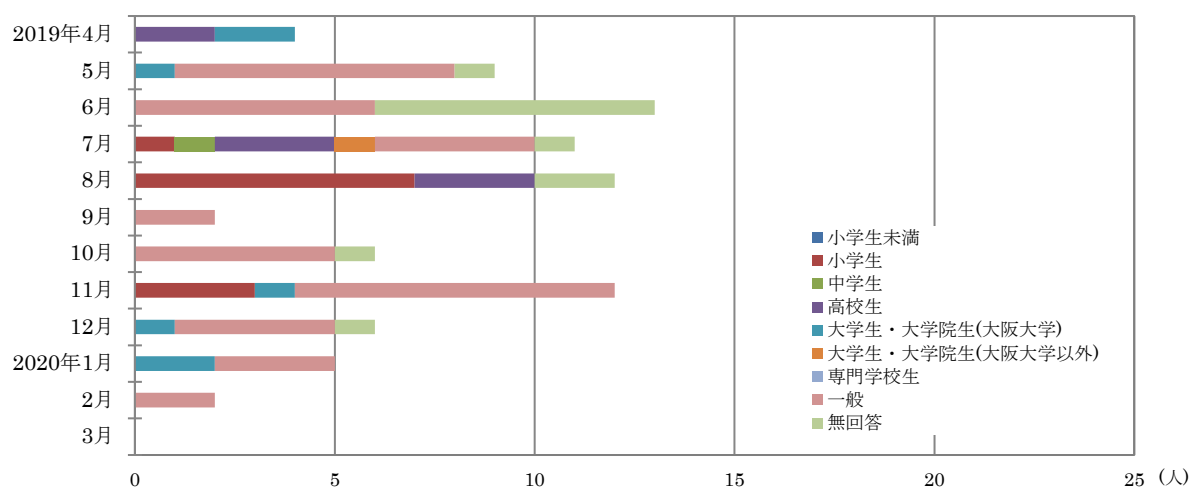
11月
・千葉県

9月
・東京都
・神奈川県

■ 入館者学年分布

(単位：人)

	小学生未満	小学生	中学生	高校生	大学生 大学院生 (大阪大学)	大学生 大学院生 (大阪大学以外)	専門 学校生	一般	無回答
2019年4月	0	0	0	2	2	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	1	0	0	7	1
6月	0	0	0	0	0	0	0	6	7
7月	0	1	1	3	0	1	0	4	1
8月	0	7	0	3	3	0	0	0	2
9月	0	0	0	0	0	0	0	2	0
10月	0	0	0	0	1	0	0	5	1
11月	0	3	0	0	0	0	0	8	0
12月	0	0	0	0	1	0	0	4	1
2020年1月	0	0	0	0	2	0	0	3	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	2	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	11	1	8	7	1	0	41	13



● 一般 内訳

◎アンケート記載の内容を可能な限りそのまま転記。

2019年6月

- ・会社員
- ・経営者

11月

- ・会社員

9月

- ・大学教員

12月

- ・元阪大生

10月

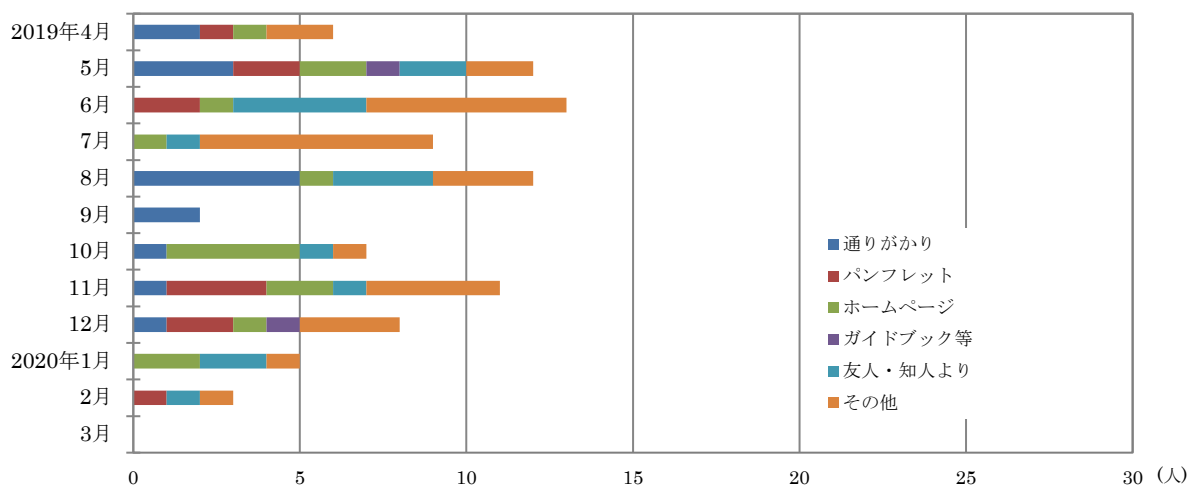
- ・高専教員

■ 大阪大学総合学術博物館 — 待兼山修学館についてお尋ねします。

Q1 どのようにして当館をお知りになりましたか？（複数可）

（単位：人）

	通りがかり	パンフレット	ホームページ	ガイドブック等	友人・知人より	その他
2019年4月	2	1	1	0	0	2
5月	3	2	2	1	2	2
6月	0	2	1	0	4	6
7月	0	0	1	0	1	7
8月	5	0	1	0	3	3
9月	2	0	0	0	0	0
10月	1	0	4	0	1	1
11月	1	3	2	0	1	4
12月	1	2	1	1	0	3
2020年1月	0	0	2	0	2	1
2月	0	1	0	0	1	1
3月	0	0	0	0	0	0
合計	15	11	15	2	15	30



● その他 内訳

◎アンケート記載の内容を可能な限りそのまま転記。

2019年4月

- ・学校行事

5月

- ・ポスター
- ・チラシ

6月

- ・新聞(4名)
- ・かなり以前より
- ・職員

7月

- ・キャンパスツアー

8月

- ・ひばりがおかたいけんスクールで
- ・オープンキャンパス
- ・お父さん、お母さん

10月

- ・以前より

11月

- ・自由見学
- ・先生(2件)

12月

- ・Google Map
- ・スター(西宮北口駅)
- ・チラシ

1月

- ・卒業生なので

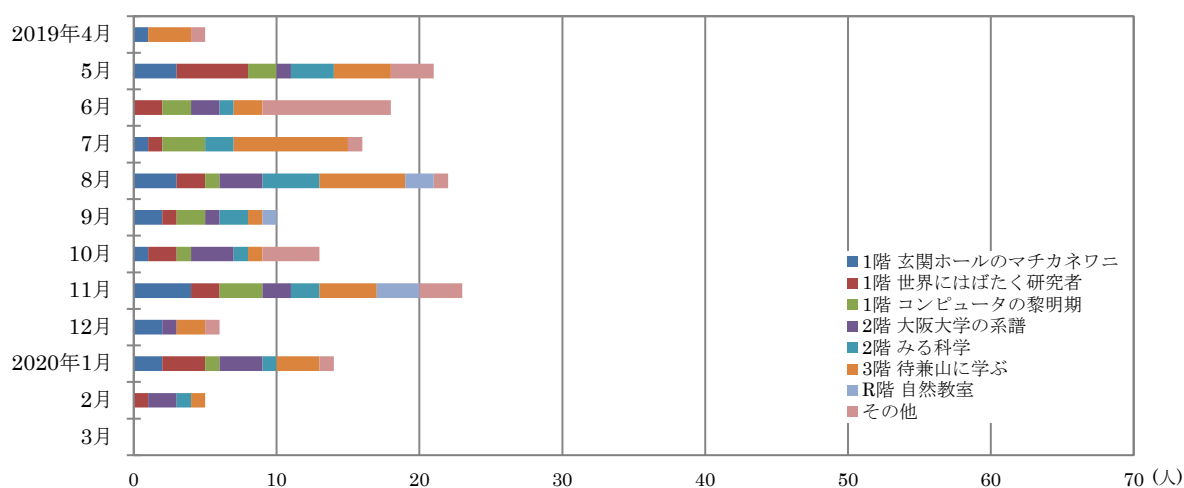
2月

- ・以前よりあることは知っていた

Q2 どの展示ゾーンが面白かったですか？（複数可）

（単位：人）

	1 階			2 階		3 階	R 階	その他
	玄関ホールのマチカネワニ	世界にはばたく研究者	コンピュータの黎明期	大阪大学の系譜	みる科学	待兼山に学ぶ	自然教室	
2019年4月	1	0	0	0	0	3	0	1
3月	3	5	2	1	3	4	0	3
6月	0	2	2	2	1	2	0	9
7月	1	1	3	0	2	8	0	1
8月	3	2	1	3	4	6	2	1
9月	2	1	2	1	2	1	1	0
10月	1	2	1	3	1	1	0	4
11月	4	2	3	2	2	4	3	3
12月	2	0	0	1	0	2	0	1
2020年1月	2	3	1	3	1	3	0	1
2月	0	1	0	2	1	1	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	19	19	15	18	17	35	6	24



● その他 内訳

◎アンケート記載の内容を可能な限りそのまま転記。

2019年4月

・屋上

7月

・四國五郎展

11月

・佐治敬三展(2名)

5月

・四國五郎展
・特別展示

8月

・英語のプリント

12月

・佐治敬三展

6月

・企画展(7名)

10月

・佐治敬三展(2名)

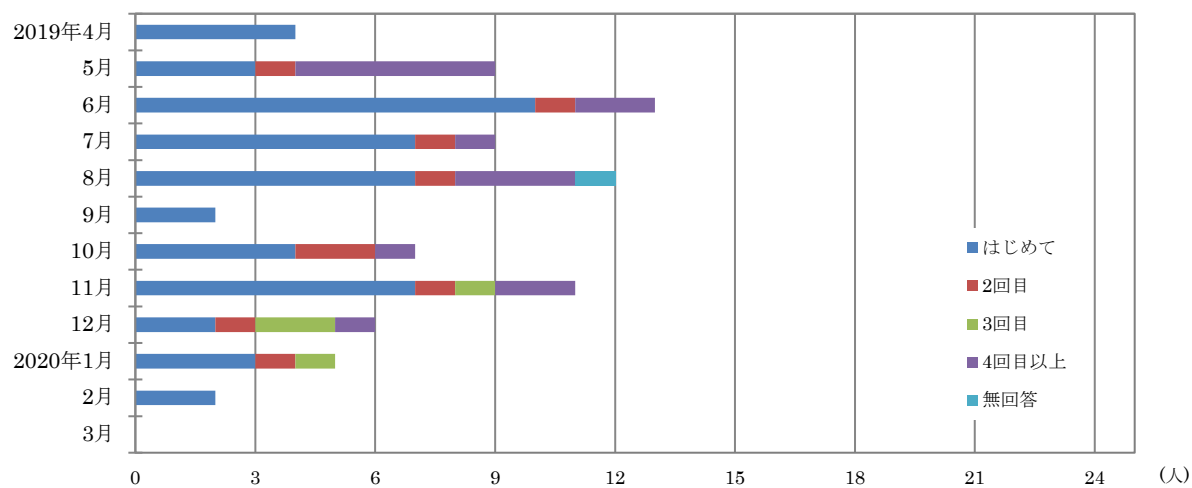
2020年1月

・屋上

Q3 来館は何回目ですか？

(単位：人)

	はじめて	2回目	3回目	4回目以上	無回答
2019年4月	4	0	0	0	0
5月	3	1	0	5	0
6月	10	1	0	2	0
7月	7	1	0	1	0
8月	7	1	0	3	1
9月	2	0	0	0	0
10月	4	2	0	1	0
11月	7	1	1	2	0
12月	2	1	2	1	0
2020年1月	3	1	1	0	0
2月	2	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0
合計	51	9	4	15	1



Q4 その他ご意見・ご感想などをお書きください。

◎ アンケート記載の内容を可能な限りそのまま転記。

● 2019年4月

- ・すごいいろんな事が分かり、とてもおもしろかったです。教えてくださった先生の説明も分かりやすくとても興味を持ちました。
- ・面白かったです。説明していただきありがとうございました。
- ・初心者に分かるようにお願いします。

● 5月

- ・ワニをみに寄ったのですが、四國五郎にジーンとききました。
- ・四國五郎展良かったです
- ・私が学部生のとき(1967-1970)大阪大学工学部に通っていた友人からコンピュータの話聞いたことを思い出しながらみました
- ・原爆画家の紹介が生々しかったです。少しも古びない気がしました。
- ・3Fの企画展を見にきました
- ・感動しました 特に湯川先生のコーナーとおがた先生のエリアです 次は友人と共に来館し、更に深耕したいです ありがとうございます
- ・近くに来る用事があったので、立ち寄りしました。知らない人だったので良い機会となりました。豊中とのかわりもわかりました。

● 6月

- ・「おこり地蔵」→ 読んでいておもわず泣きそうになった。
- ・学生さんの案内で、分り易かったです。ありがとうございます。
- ・四國五郎のまとまった展示を観たのは はじめて... とてもよかったです！
- ・四國五郎展を見にきました。とてもよかったです
- ・知人(兵庫県立美術館ボランティアでの)に勧められて参りました。 といいますのは兼田知明の解説をした私に勧めてくださったのです。四國五郎のことは知らない方なのであまり興味がなかったのですが、ふと 伺う気になりました。ほんとうに来館してよかったです、想偉の他でした。 帰りに思いがけず仁田勇先生の写真で 50年振り先生のお姿を拝見してひじょうに嬉しかったです。私は関西学院理学部で先生におめにかかっておりました。授業は受けてはいませんでしたが、ほんとうに嬉しく、しばし先生の写真の前でたたずんでおりました。 ありがとうございます。
- ・いつも常設展示以外の展示が力作だと思います。でも簡単なパンフレットがなく残念です。今後、特別展についてパンフレットを作っていただけませんか
- ・初めて伺いました。大変勉強になりました。またゆっくり来ます。ありがとうございました。
- ・たまたま「赤旗」紙で四國五郎展の記事を見て、本館のことを知って訪ねました。 四國五郎については「聞いたことがある名前」ではあっても その業績についての知識は皆無だった。被爆者運動に関わる1人として、しっかりまなばなければならないと実感した次第。この企画に感謝します。
- ・すばらしい展示をしていただき感謝します。四國五郎を知らずに来ました。シベリア抑留も映画で幾度か見聞はしていましたが、今回の説明で少しイメージが強くなりました。 今、この時に この博物館で展示していただけた事を心強く思います。平和な世界を望んでおります。身近な人、若い人にこの展示をピーアールしたいと思います。
- ・四國五郎の仕事を知る入り口となった。もっと時間をかけて知りたい人だ。
- ・ありがとうございました。
- ・四國五郎展をみさせていただきありがとうございました。はじめて知りました。 もっと知りたいと思います四國氏のことを。
- ・はじめてきましたが、よかったです

● 7月

- ・ワニの骨折のところがわかりませんでした
- ・科学はおもしろかったです
- ・ワニがかわいくて好きでした。
- ・アンケートの机に椅子を設置して、展示物前以外にも椅子を、
- ・めっちゃたのしかった。また行きたいです
- ・色々興味深い展示でした！

- 8月
 - ・もう少しさわれるものをふやした方が良いと思う。by小学6年生の受験生
 - ・もう少しさわれるのをふやしてほしい by小学6年生の受験生
 - ・たのしい勉強になる
 - ・豊中市のシンボルのマチカネワニがとても大きいことと、しらべるとことが多くてわかりやすかったところです。(原文のまま)
 - ・また来たいなと思いました。友達を連れて
 - ・人生は Wonderful.
 - ・とてもたのしいです。
- 9月
 - ・1Fの解説音声がまじります。が、とてもおもしろい展示です。
- 10月
 - ・アンケート机にイスを置いてほしい
 - 適塾等の歴史についてあまりにも簡単な紹介で…
 - 小さい施設なので仕方がないが、大学設立の経緯が京大時計台資料館の紹介とかなり異なっているのがおもしろい。
 - ・大変立派で観やすいことに感激しました。QRコードが展示室内で、撮影禁止エリアのためipadを取り出すのはばかれました。QRコードは撮影可のような表示が欲しいです。
 - ・1989年の法学部卒業生です。本当に30年ぶりにきました。おもしろかったです。
 - ・阪大なのに、なぜ外国語学部関連の展示がないの？
- 11月
 - ・こどもが けんびきょうや展示物をみるのに ふみ台などあるとうれしい。
 - ・たのしみかった
 - ・すごいはく力 こんなに発見できたなんてすごい！！けんきゅう頑張ってください！楽しみにしています！
 - ・ワークショップ、講演にきました。再度来てゆっくり見たい 12/14(土) 予定です
 - ・マチカネワニについての資料などあればうれしいです
 - ・今回は時間が足りなかったのも、また伺いたいと思います。
 - ・久しぶりに来ましたが、仲々良い企画だと思います。 関西から世界へ。まるで阪大ではないですか。
 - ・ミュージアム・レクチャーに参加したい。
- 12月
 - ・人間としての佐治敬三の魅力がよく伝わりました。最近開高健のエッセイを読んだので合わせておもしろかったです。
 - ・いつも、ありがとうございます。
 - ・佐治敬三の特別展はとても勉強になりました。
↑酒類以外のことも手がけてたことは知りませんでした。
 - ・企画展を見にきました。サントリーのことがとてもうまくまとまっていて勉強になりました。
 - ・佐治敬三”百面相“を観にきました。書籍などの展示が多く、実物資料が少ないのが残念でした。柳原良平の原画などみてみたかった気がします。展示環境が整わないためかと思いますが。サントリーにも実物ポスターなど残っていないのでしょうか。
- 2020年1月
 - ・孫が貴大学基礎工学卒業で現在は監査法人に勤務 孫の卒業した大学に来ていかに厂史の古い又有名人が数多くうれしく思います
 - ・3階のヘッドホンの音量が大きすぎるうえに調節できないので直された方が良いかと思えます。空調のききがよくない
 - ・内容が専門的すぎて初心者には理解できないと思えます。
- 2月
 - ・学生さん(?)がワニのことを詳しく説明して下さったのでとてもわかりやすかった
 - 阪大の歴史がよくわかった
 - もう一度学生時代に帰って勉強したくなりました！とってもよかったです！！

団体見学一覧

※事前に申し込みのあった団体のみを掲載

No.	月日	曜日	団体名	人数	説明館員
2019年					
1	4月13日	土	大阪大学理学部科学科	80	上田・MA
2	4月15日	月	大阪大学工学部溶接工学科昭和44年卒業生	22	豊田
3	4月16日	火	平成31年度大阪大学新入職員研修	27	高橋・高浦
4	4月17日	水	川西自然友の会「川西市高齢者大学りんどう学園（OB会）」	45	
5	4月19日	金	箕面観光ボランティアガイド	4	
6	4月26日	金	箕面観光ボランティアガイド	18	
7	4月27日	土	植物探検隊@春の待兼山を訪ねて	25	
8	5月11日	土	植物探検隊@春の待兼山を訪ねて	28	
9	5月14日	火	創志学園高等学校	37	
10	5月18日	土	植物探検隊@春の待兼山の自然を訪ねて	21	
11	5月20日	月	常翔学園高等学校一貫コース2年生	71	
12	5月20日	月	認定NPO法人 大阪府高齢者大学校 歴史に輝く先人たちの生き方に学ぶ科	40	
13	5月22日	水	「宇宙地球科学の考え方」	39	
14	5月22日	水	共通教育科目「学問への扉～阪大検定をつくろう!～」	21	伊藤
15	5月24日	金	大阪府北部コミュニティカレッジ	40	
16	5月29日	水	全学教育推進機構「学問への扉」	11	伊藤
17	6月1日	土	大学コンソーシアム大阪「大学で学ぶ歴史と文化」第3、第4講義	12	豊田・宮久保
18	6月5日	水	「宇宙地球の考え方」	40	
19	6月5日	水	全学教育推進機構「学問への扉」	11	伊藤
20	6月12日	水	「宇宙地球学の考え方」	41	
21	6月12日	水	大阪府立住吉高等学校 PTA 進路指導委員会	44	
22	6月17日	月	大阪大学体育会自動車部昭和44年卒業 OB50周年記念同期会	10	宮久保
23	6月19日	水	「阪神にシニアカレッジ」健康科学19期生	18	MA・宮久保
24	6月19日	水	「宇宙地球科学の考え方」	40	
25	6月19日	水	龍谷大学附属平安中学校	103	
26	6月20日	木	シニア自然大学 風車2014グループ	10	
27	6月22日	土	神戸ウォーキング協会	197	
28	6月24日	月	ベトナム県級行政幹部能力向上研修団	22	
29	6月26日	水	「宇宙地球科学の考え方」	33	
30	7月9日	火	徳島県立城北高等学校 PTA	29	
31	7月11日	木	金光八尾高等学校	43	MA・伊藤
32	7月12日	金	自然あそび工房	15	高浦
33	7月12日	金	大阪府立八尾高等学校	52	高浦
34	7月12日	金	一般社団法人色材協会 顔料物性研究会	5	
35	7月13日	土	茨木市退職教職員の会 学ぼう歩こう会	27	
36	7月16日	火	上宮高等学校	58	豊田・宮久保
37	7月17日	水	理学研究科・理学部 International Summer prgram	33	
38	7月18日	木	近畿大学付属高等学校	80	
39	7月19日	金	新和女子高等学校	23	
40	7月20日	土	近畿大学付属広島高等学校（高校一年生）	36	宮久保
41	7月22日	月	須磨学園高等学校	11	
42	8月1日	木	兵庫県立北摂三田高等学校	56	
40	8月5日	月	湯梨浜学園中学校・高等学校 PTA	31	豊田・MA
41	8月5日	月	徳島県立城ノ内中学校	20	豊田
42	8月21日	水	昭和薬科大学附属高等学校	30	高浦
43	9月6日	金	三重県立津西高等学校	41	
44	9月9日	月	日越学生交流促進プログラム	15	宮久保
45	9月18日	水	水曜クラブ	10	
46	9月20日	金	とよなか・歴史と文化の会	32	
47	9月28日	土	宝塚医療生協	10	
48	10月5日	土	第32回植物探検隊@秋の待兼山を訪ねて	25	

No.	月日	曜日	団体名	人数	説明館員
49	10月10日	木	広島新庄高等学校スーパー特進コース1年生	24	
50	10月11日	金	日本画像学会 電子写真技術部会	10	宮久保
51	10月15日	火	島根県隠岐高等学校	26	
52	10月16日	水	豊中市蛍池公民館講座「秋の待兼山の自然を訪ねて」 (21世紀懐徳堂)	20	
53	10月19日	土	第22回植物探検隊@待兼山(21世紀懐徳堂)	18	
54	10月23日	水	大阪教育大学付属平野校舎 大学訪問	21	豊田
55	10月25日	金	電子工学科8期生(昭和44年学部卒)有志	19	宮久保
56	10月29日	火	山東省行政学院	19	宮久保
57	10月30日	木	大阪信愛学院高等学校	18	
58	11月5日	火	溶接工学科S34年同窓会	10	
59	11月5日	火	仙台高等専門学校広瀬キャンパス知能エレクトロニクス工学科	33	
60	11月7日	木	豊中市立第八中学校3年生	106	
61	11月8日	金	春日丘高等学校	41	
62	11月9日	土	適塾見学会	19	松永
63	11月11日	月	広東省開放大学	20	
64	11月12日	火	兵庫県立宝塚北高等学校グローバルサイエンス科	41	豊田
65	11月13日	水	基礎工学部材料工学科4期生関東同窓会	8	宮久保
66	11月14日	木	大阪府北部コミュニティカレッジ	41	豊田
67	11月25日	月	奈良市立一条高等学校 数理科学科	34	上田
68	11月25日	月	京都つくば開成高等学校	15	
69	11月25日	月	大阪府立茨木高等学校	9	上田(考古)
70	12月6日	金	タイ・スワンクラブ高校	13	高浦
71	12月7日	土	浪花地域子ども学習支援コスモス	10	伊藤
72	12月10日	火	学校法人奈良学園登美ヶ丘高等学校	32	高橋
73	12月17日	火	豊中市立とねやまこども園	61	
2020年					
74	1月22日	水	三田市民生委員児童委員協議会	27	

年間件数、参加のべ人数(事前に見学申込があった団体のみ)

- ・阪大の授業での見学件数12件
- ・高校関係者による見学件数16件、参加のべ人数758人
- ・中学校関係者による見学件数1件、参加のべ人数7名
- ・小学校関係者による見学件数0件、参加のべ人数0
- ・全体の解説件数22件、参加のべ人数664人

パンフレットを配ったオープンキャンパスの開催日(8/7～9)来館者数合計:763人

関連記事一覧

新聞

※教員関連の記事は「11. 専任教員活動報告」のそれぞれの教員の項に記載

No.	掲載日	曜日	掲載紙名	内 容
2019年				
1	4月12日	金	朝日ファミリー 4月12日号	第22回企画展「四國五郎展」
2	4月23日	火	朝日新聞（大阪）夕刊 「美術館・博物館」表欄	〃
3	4月24日	水	中国新聞朝刊	〃
4	4月26日	金	朝日新聞（大阪）夕刊 9面	〃
5	5月3日	金	毎日新聞（大阪）朝刊 18面	〃
6	5月19日	日	毎日新聞（大阪）朝刊 24面	〃
7	5月4日	土	大阪日日新聞 朝刊 21面	〃
8	6月3日	月	毎日新聞 夕刊 4面	〃
9	6月24日	月	しんぶん赤旗 7面	〃
10			連合通信	〃
11	10月5日	土	朝日新聞 夕刊 6面	公開シンポジウム「博学連携事業の展望と課題—多様な所蔵資料とその可能性—」
12	10月5日	〃	朝日新聞 夕刊 6面	岐路の風景「70年万博と小松左京（橋爪節也 コメント掲載）」
13	11月6日	水	大阪日日新聞	第13回特別展「佐治敬三 “百面相”」
2020年				
14	2月13日	木	読売 KODOMO 新聞	日本の化石特集にて県の化石としてマチカネワニ紹介

その他 刊行物

※教員関連の記事は「6. 専任教員活動報告」のそれぞれの教員の項に記載

No.	掲載誌 / 発行	発行日 / 巻 / 号 他	内 容
1	はろーあさひ 阪田新聞舗 川西山下店 ときわ台店	2019年4月29日	第22回企画展「四國五郎展」
2	広報とよなか	2019年5月号 / Vol.829	5月のおしらせ（くらし・案内一般） 四國五郎展 会期情報等
3	吹田市生涯学習情報 学びの情報	令和元年8月～11月	第13回特別展「佐治敬三」
4	ノーベル賞を知る（図書館専売） / 講談社	2020年2月1日	常設展示物「ライツ顕微鏡」
5	ザ・淀川	第463号 2019/12	Information 第13回特別展「佐治敬三」
6	広報とよなか	2019年12月号 / Vol.836	文化・にぎわい サイエンスカフェ@待兼山
7	学びの情報（吹田市）	令和元年12月～ 令和2年3月	第13回特別展「佐治敬三 “百面相”」
8	ともも No.179	2019～2020冬	とももメッセージボード 第13回特別展「佐治敬三 “百面相”」
9	広報とよなか	2020年1月号 / Vol.837	文化・にぎわい サイエンスカフェ@待兼山
10	橋爪節也の大阪百景	2020年2月20日	マチカネワニ化石

インターネット

No.	掲載ホームページ	内 容
1	阪急電鉄	第22回企画展「四國五郎展」
2	豊中市	〃
3	Artscape	〃
4	ほとんど0円大学	〃
5	図書出版 文学通信	〃
6	岸ぶら	総合学術博物館 紹介
7	阪急電鉄	百舌鳥・古市古墳群と野中古墳
8	FM千里	総合学術博物館 紹介
9	HYOGO ODEKAKE PLUS+	〃
10	阪急宝塚線ミュージック駅伝 MOT! YouTube「箕面有馬電車唱歌 令和元年 ver.」	沿線風景を唱歌と映像で紹介（マチカネワニ）
11	神戸新聞 NEXT	総合学術博物館 常設展

ラジオ・テレビ等

No.	番組名 / 放送局	放送日時	内 容
1	BS1 スペシャル NHK BS 1	2019年8月6日 22:00～23:49	「“広島”の画家 四國五郎が伝える戦争の記憶」
2	イマなま / RCC 中国放送	2019年8月6日 15:00～16:50	「ひろしまモグリ～原爆詩人峠三吉のかつての仲間へ会いに行く」
3	デポルトナビゲーション / FM千里	2019年9月27日	総合学術博物館（マチカネワニ）紹介
4	NHK ニュース / NHK 関西 放送局	2019年10月30日	佐治敬三展 展示風景他
5	NHK 歴史秘話ヒストリア	2020年2月12日	「ニッポン鉄物語 “奇跡の金属” が列島を変えた」（野中古墳出土品）

寄贈図書一覧

No.	寄贈者	書名
1	和歌山県立博物館	西行
2	大阪城天守閣	戦国の祈り
3	国立民族学博物館	子どもおもちゃの博覧会
4	関西大学なにわ大阪研究センター	なにわ大阪学研究
5	大阪市立大学大学史資料室編	大阪市立大学の歴史
6	大阪市立住まいのミュージアム (大阪くらしの今昔館)	研究紀要・館報
7	西南学院大学	西南学院大学博物館研究紀要
8	和歌山県立博物館	和歌山市立博物館研究紀要 第33号
9	小樽市総合博物館	小樽市総合博物館紀要
10	金沢大学資料館	金沢大学資料館紀要
11	佛教大学宗教文化ミュージアム	研究紀要
12	立命館大学国際平和ミュージアム	立命館平和研究 国際平和ミュージアム紀要
13	和歌山市立博物館	和歌山市史研究 47
14	立命館大学国際平和ミュージアム	資料研究報告 第3号
15	熊本大学五高記念館	昭和期の第五高等学校 調査報告(一)
16	長野県松本建設事務所長野県 埋蔵文化センター	朝日村 山鳥場遺跡・三ヶ組遺跡
17	国土交通省中部地方整備局 天竜川上流河川事務所	飯田市 川原遺跡 下川原遺跡
18	同志社大学歴史資料館	相国寺旧境内発掘調査報告書
19	福岡女子大学	福岡女子大学アートマネジメント人材育成事業活動報告書
20	福岡女子大学	みんな寄って百円寄席調査報告書
21	文化庁	H30年度文化庁「大学における文化芸術推進事業」実施報告書
22	九州大学総合研究博物館	九州大学総合研究博物館研究報告
23	京都歴史文化施設クラスター 実行委員会	ミュージアムの課題と可能性を考えるワークショップ第2回「まちづくりと博物館」 報告書
24	国立民族学博物館	開館40周年記念事業報告 みんぱく2017
25	文化庁・東京藝術大学美術学部・金沢美 術工芸大学	障害者の芸術活動を支援する新進芸術家育成事業とその育成を大学において行う基 盤構築のための調査事業
26	西南学院大学	西南学院大学博物館年報
27	幕末明治福井150年博実行委員会	幕末明治福井150年博 講演録
28	椋山女学園歴史文化園	椋山女学園 裁縫雛形コレクション
29	関西大学博物館	徳山喜昭コレクション展 高札をみる、よむ 2019年度春季企画展
30	太子町立竹中街道歴史資料館	観音開帳 竹内街道と西国巡礼の歴史
31	堺市博物館	堺・経典をめぐる文化史
32	関西学院大学博物館	アンデスの布 一条があやなすチャンカイ・レース
33	関西・大阪21世紀協会	なにわ大阪をつくった100人 その素顔を探し求めて
34	広島大学総合博物館	広島大学 総合博物館研究報告10
35	鹿児島大学総合研究博物館	Bulletin of the Kagoshima University Museum No.10
36	東北大学総合学術博物館	Bulletin of the Tohoku University Museum 2019
37	大東市立歴史民俗資料館	進化系アーカイブと旅するミュージアム H30年度 事業報告書
38	茨木市教育委員会	H30年度 茨木市埋蔵文化財発掘調査概報
39	太子町教育委員会	国指定史跡二子塚古墳発掘調査報告2019
40	太子町教育委員会	国指定史跡二子塚古墳保存活用計画
41	堺市博物館	堺市博物館研究報告 第38号
42	関西大学博物館	関西大学博物館紀要 第25号
43	茨木市立文化財資料館	茨木市立文化財資料館 館報
44	太子町立竹内街道歴史資料館	太子調律竹内街道歴史資料館 館報19号
45	太子町立竹内街道歴史資料館	太子調律竹内街道歴史資料館 館報20号
46	山口大学埋蔵文化財資料館	山口大学埋蔵文化財資料館年報 H26年度
47	鹿児島大学総合研究博物館	鹿児島大学総合研究博物館年報2017
48	宗像市史編集委員会	新修宗像市史 うみ・やま・かわ -地理・自然-

No.	寄贈者	書名
49	大阪狭山市立郷土資料館	南海高野線 120 年のあゆみ－はじまりは大小路－狭山間－ 2018
50	吹田市立博物館	H31 年度春季特別展 音楽家貴志康一生誕 110 年 ～吹田市に生まれた若き天才～
51	大阪狭山市教育委員会	狭山池シンポジウム 2017 記録集 狭山に行基がもたらしたのもの
52	京都大学総合博物館	京都大学総合博物館収蔵資料目録 第 6 号 台湾民族資料
53	奈良大学博物館	謎の大寺 奈良県山添村毛原廃寺跡 - 史跡保存の 100 年 -
54	吹田市立博物館	館報 19 平成 29 年度
55	京都大学総合博物館	京都大学総合博物館収蔵資料目録 第 5 号 比企鉞物標本
56	京都市学校歴史博物館	京都市学校歴史博物館研究紀要 第 7 号
57	和歌山県立博物館	和歌山県立博物館研究紀要
58	滋賀大学経済学部附属資料館	研究紀要
59	島本町教育委員会	島本町文化財調査報告書 広瀬遺跡発掘調査概要報告
60	島本町教育委員会	島本町文化財調査報告書 桜井地区・百山地区
61	鳥取大学	事業報告書
62	和歌山市立博物館	中畑艸人展
63	奈良大学博物館	大和川水系の水生動物 - 22 年間の長期的な変化 -
64	公益財団法人美術院	美術院紀要 第 11 号
65	信修宗像市史編集委員会	宗像市史研究 第 2 号
66	大阪狭山市教育委員会事務局	旧河内国丹南郡岩室村 辻慶郎家文書目録
67	国立民族学博物館	脅威と怪異 想像界の生き物たち
68	九州国立博物館	太宰府学研究
69	美術工芸資料館	図案家の登場 近代京都と染色図案Ⅲ
70	和歌山県立博物館	特別展 仏像と神像へのまなざし
71	柏原市立歴史資料館	安宿郡の古墳と寺院
72	柏原市立歴史資料館	玉手山古墳群
73	西宮市立郷土資料館	すなどりの具 ～西宮の漁具～
74	和歌山市立博物館	雑賀衆と鷲ノ森遺跡 - 紀州の戦国 -
75	須田国太郎美術振興会	須田記念 視覚の現場
76	大阪大学大学院言語文化研究科	言語文化研究 45
77	九州国立博物館	全国高等学校考古名品展 2018
78	九州国立博物館	平戸松浦家伝来の伊能図
79	人間文化研究機構	国立歴史民俗博物館 要覧
80	茨木市教育委員会	郡遺跡・倍賀遺跡 1
81	東京外国語大学大学院 総合国際学研究員	研究成果報告書
82	熊本市熊本博物館	熊本博物館館報 2018 年度報告
83	長野県埋蔵文化財センター	柳沢遺跡
84	仙台市博物館	仙台市博物館調査研究報告
85	立教大学社会デザイン研究所	手作り文化交流はじめます 成果報告書
86	柏原市立歴史資料館	柏原市立歴史資料館館報 2018 年度
87	神奈川県立生命の星・地球博物館	神奈川県立生命の星・地球博物館 年報 2018
88	東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館	東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館 年報 2018
89	たばこと塩の博物館	たばこと塩の博物館 年報
90	西宮歴史調査団	西宮歴史調査団 年報 2017
91	柏原市立歴史資料館	南西尾家文書目録 IV
92	西宮市教育委員会	文化財資料目録
93	九州国立博物館	ビュールレ・コレクション至上の印象派展
94	九州国立博物館	京都・醍醐寺真言密教の宇宙
95	九州国立博物館	オークラコレクション
96	九州国立博物館	坂本五郎コレクション 名品図録
97	九州国立博物館	国宝銅鐸絵図
98	九州国立博物館	平成 14-17 年度 文化財修理報告
99	九州国立博物館	東風西声 紀要
100	狭山池博物館	樹木年輪と古代の気候変動
101	狭山池博物館	狭山池博物館研究報告

No.	寄贈者	書名
102	大阪城天守閣	特別展 豊臣外交
103	西南学院大学博物館	明治に日本とキリスト教 蒔かれた種
104	刈谷市歴史博物館	初代刈谷藩主水野勝成典～「鬼日向」のいくさとまちづくり～
105	刈谷市	中条遺跡発掘調査報告書4(平成12年度調査)
106	国土交通省関東地方整備局 長野県埋蔵文化財センター	長野県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 佐久市内
107	国土交通省関東地方整備局 長野県埋蔵文化財センター	長野県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 佐久市内
108	神戸大学大学院海事科学研究科	海事博物館研究年報(平成30年度調査)
109	北海道大学埋蔵文化財センター	考古学からみた北大キャンパスの5,000年
110	関西学院大学博物館	関西学院の130年 1889-2019
111	京都国立博物館	京都 大報恩寺 快慶・定慶のみほとけ
112	京都市芸術文化協会	芸文京 2019 秋
113	吹田市立博物館	令和元年度秋季特別展 大塩平八郎展 四海困窮いたし候らばば
114	茨木市立文化財資料館	上皇を支えた村々 -撰津国島下郡の仙洞料-
115	八尾市立歴史民俗資料館	令和元年特別展 由義寺発見!
116	八尾市立歴史民俗資料館	八尾市内と他地域との交流及び比較の史的研究
117	福井県立若狭歴史博物館	海と山の美しもの -食がつなぐ若狭と都-
118	福井県立若狭歴史博物館	福井県立若狭歴史博物館 館報 平成30年度
119	大学共同利用機関法人 人間文化研究機構	総合地球環境学研究所 要覧 2019
120	三重県総合博物館	三重県総合博物館研究紀要
121	三重県総合博物館	三重県総合博物館資料叢書
122	八尾市立歴史民俗資料館	館報 -平成30年度-
123	National Institutes for the Humanities	Research Institute For Humanity and Nature
124	大山崎町歴史資料館	国衆からみた光秀・藤孝 -丹波・乙訓と織田権力-
125	池田市立歴史民俗資料館	クレハトリ ・ アヤハトリ 『池田に伝わる機織りの伝承』
126	池田市立歴史民俗資料館	没後50年 富貴のひと 鍋井克之
127	龍谷大学文学部	祝 -喜びの心を形に- 龍谷大学文学部博物館実習十二月展
128	和歌山県立博物館	徳川頼宣と紀伊徳川家の名宝
129	松原市民ふるさとプラザ	令和元年度特別展 村人たちの祈り
130	和歌山県立博物館施設 活性化事業実行委員会	まもって、そだてる 和歌山県の博物館活動
131	京都・大学ミュージアム 連携運営委員会事務局	京都の近代化と伝統の形成 -歴史資料の保存と活用
132	一般財団法人 きょうと視覚文化振興財団	須田記念 視覚の現場 特集 関西の洋画
133	南山大学人類学博物館	南山大学人類学博物館紀要 第38号
134	公益財団法人阪急文化財団	阪急文化研究年報 第八号
135	大阪歴史博物館	大阪歴史博物館年報 平成30年度
136	東京藝術大学美術学部大学院美術研究科 修士課程	令和元年度 東京藝術大学卒業・修了制作作品集
137	たばこと塩の博物館	たば塩コレクションに見る ポスター黄金時代
138	長野県教育委員会文化財課	真田宝物館収蔵品目録 佐久間象山 遺墨コレクション 象山
139	松代文化施設等管理事務所	松代 第32号
140	和歌山大学紀州経済史文化史研究所	紀州経済史文化史研究所紀要 第40号
141	大阪市立大学大学史資料室	大阪市立大学史紀要 第12号
142	大阪中之島美術館	SAKURA サラ・モリス
143	伊丹市埋蔵文化財センター	「伊丹郷町って?」
144	徳川美術館	葵 No.113
145	西南学院大学	西南学院大学博物館ニュース
146	大津市歴史博物館	大津歴博だより
147	関西・大阪21世紀協会	文化力
148	富山大学和漢医薬学総合研究所	民族薬物資料館ニュースレター
149	東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター	画像史料解析センター通信

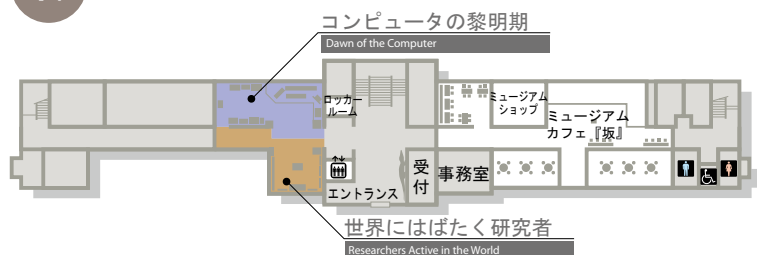
No.	寄贈者	書名
150	紀州経済史文化史研究所	きのみなと
151	紀州経済史文化史研究所	七宝龍寺と志一上人 - 葛城修験二十八宿の世界 -
152	奈良大学博物館	法華経曼荼羅図の世界
153	上郡郷土資料館	郷愁の昭和、激動の平成
154	同志社大学歴史資料館	同志社大学歴史資料館 館報



「知」を軸に人・モノ・情報が出会い、交流し、新たな「知」の創造を目指す。

大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館のご案内

1F



コンピュータの黎明期 Dawn of the Computer

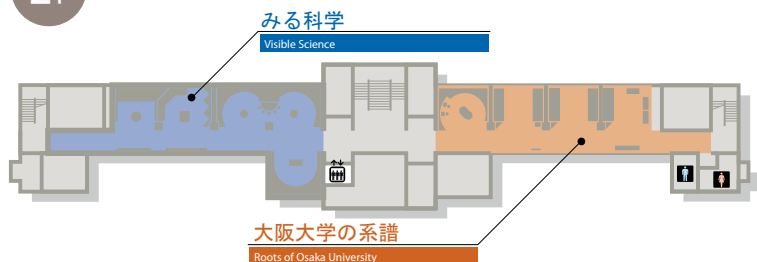
阪大では、第二次世界大戦後まもなく真空管式コンピュータの研究と試作を始めました。その当時誕生したばかりの真空管式コンピュータと、時代の先駆を担った研究者たちを紹介しています。

世界にはばたく研究者 Researchers Active in the World

ノーベル物理学賞を受賞した湯川秀樹が、中間子論を着想した大阪大学物理学教室。当時、日本の科学の中心といわれた理学部の自由な研究環境、そこに関わりのある様々な研究者を紹介しています。

ミュージアムカフェ「坂」 Museum Café「SAKA」

2F



みる科学 Visible Science

光学顕微鏡、電子顕微鏡、超高圧電子顕微鏡のしくみや、細胞より小さい分子の構造や、仕組みを明らかにするX線構造解析などの技術と、それらを利用した研究の一端を紹介しています。

大阪大学の系譜 Roots of Osaka University

かつての懐徳堂、適塾といった大坂市民の学問からの流れを継承し、今日まで受け継がれてきた大阪大学。その学問や研究活動と、社会との関わりの歴史を紹介しています。

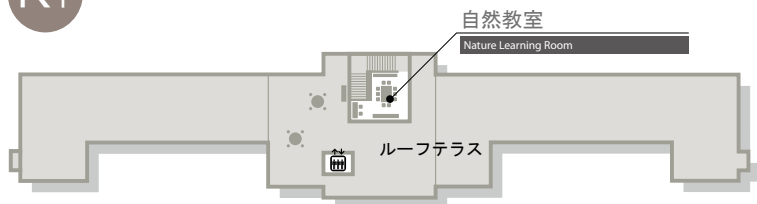
3F



待兼山に学ぶ Learning from Machikaneyama

阪大豊中キャンパスが位置する待兼山。古代の生物や、地形の変遷から、現在の豊かな自然の中で棲息する生き物の営みまで、地域に根ざしその変化を解明する研究を紹介しています。

R F



自然教室&ルーフテラス Nature Learning Room

阪大キャンパスは豊中、吹田共に自然がいっぱいです。自然教室内に設置されたPCでは「阪大キャンパスに咲く花」を検索することができます。また、ルーフテラスに出れば背後の待兼山の息吹を感じることができます。

大阪大学総合学術博物館
年報 2019

2020年12月発行

編集・発行 大阪大学総合学術博物館
〒560-0043 豊中市待兼山町1-13

印刷 株式会社 セイエイ印刷
〒536-0016 大阪市城東区蒲生2-10-33

表紙デザイン 辻村紀子（アトリエツジムラ）

